

かみ の さこ
上 ノ 迫 遺 跡

東九州自動車道建設（西都～清武間）に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅵ

2001年3月

宮崎県埋蔵文化財センター

宮崎県埋蔵文化財センター発掘調査報告書 第40集

かみ の さこ
上 ノ 迫 遺 跡

東九州自動車道建設（西都～清武間）に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅵ

2001年3月

宮崎県埋蔵文化財センター

報告書の補足

(宮崎県埋蔵文化財センター発掘調査報告書第40集 佐土原町上ノ迫遺跡)

P47~54 表4 上ノ迫遺跡出土遺物計測表

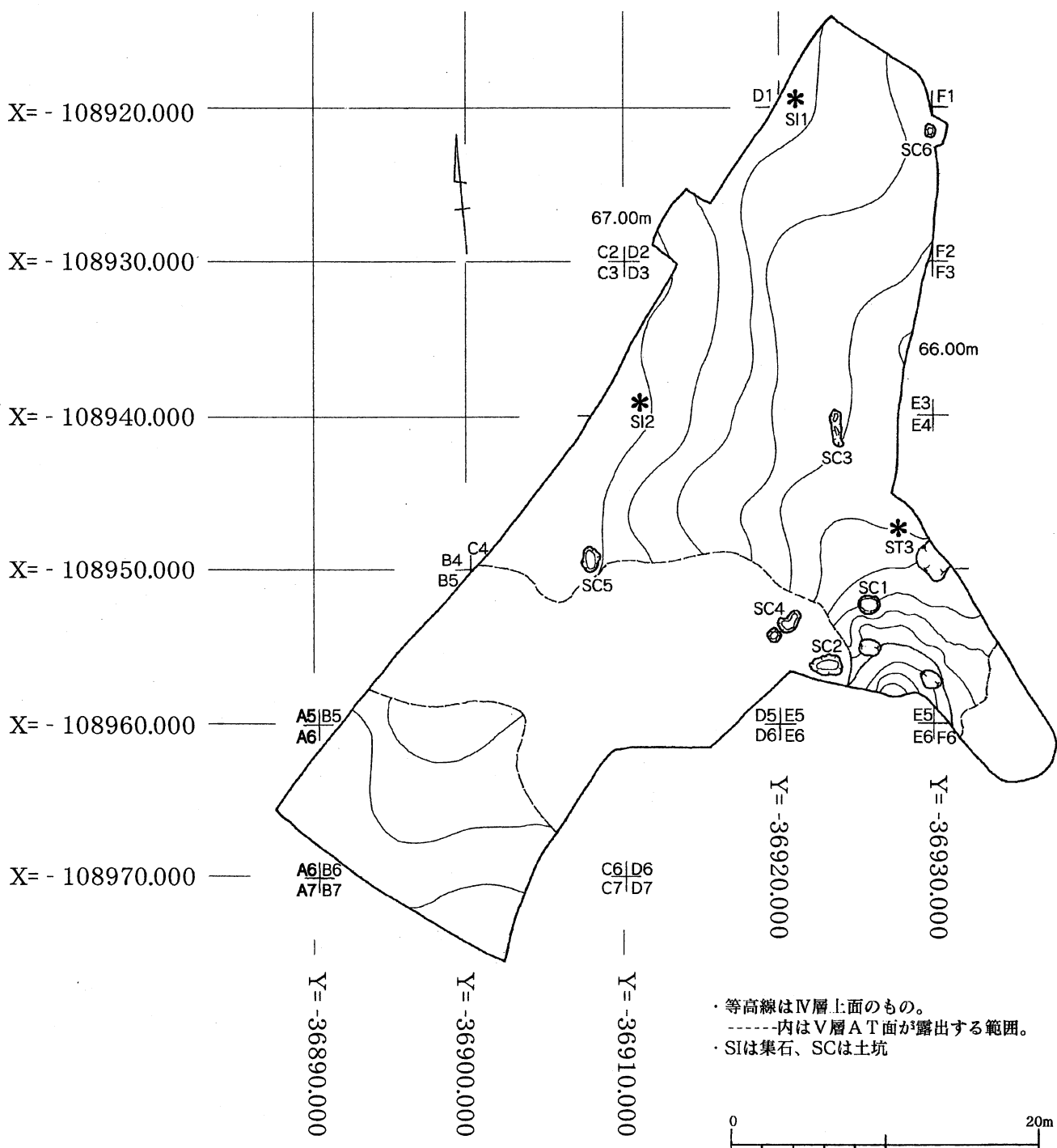
※ 計測表中のX座標・Y座標は上ノ迫遺跡石器分布図1~11のA1左隅を座標頂点(0.0 0.0)とする。

X座標は、A→Fに増加し、Y座標は1→7に増加する。

※ 座標単位はm。

P9 第5図 上ノ迫遺跡遺構分布図

※ 国土座標を追加(下図)



序

宮崎県教育委員会では、東九州自動車道西都～清武間建設予定地にかかる埋蔵文化財の発掘調査を平成7年度から10年度にかけて実施してまいりました。本書は、東九州自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書であります。

本書に掲載した上ノ迫遺跡は平成8年度に発掘調査を行ったものです。調査によって、旧石器時代と弥生時代終末期から古墳時代にかけての時期の遺構・遺物を確認することができました。

これらの遺構・遺物は、今後、当地域の歴史を解明する上で貴重な資料となるでしょう。ここに報告する内容が、学術資料としてだけでなく、学校教育や生涯学習の場などで活用され、また、埋蔵文化財保護に対する理解の一助になることを期待しています。

最後になりましたが、調査にあたって御協力いただいた関係諸機関・地元の方々、並びにご指導・ご助言を賜った先生方に対して、厚くお礼申し上げます。

平成13年3月

宮崎県埋蔵文化財センター

所長 矢野 剛

例 言

- 1 本書は、東九州自動車道(西都～清武間)建設に伴い、宮崎県教育委員会が実施した佐土原町所在の上ノ迫遺跡の発掘調査報告書である。
- 2 発掘調査は、日本道路公団の依頼により宮崎県教育委員会が調査主体となり、宮崎県埋蔵文化財センターが実施した。
- 3 現地での実測等の記録は、大坪博子・園田和宏・柳田益宏が行なった。
- 4 本書で使用した写真は、現地写真を大坪博子及び園田和宏が、遺物写真を藤木聡が撮影した。現地写真の一部は(株)スカイサーベイに委託した。
- 5 自然科学分析は、(株)古環境研究所に委託した。
- 6 土層断面の色調については、「新版標準土色帖」に拠った。
- 7 石材同定は、松田清孝が行なった。
- 8 本書に使用した位置図は、国土地理院発行の1/50000図をもとに、また、遺跡周辺地形図等は、日本道路公団宮崎工事事務所から提供の1/1000図をもとに作成した。
- 9 整理作業は、宮崎県埋蔵文化財センターで行ない、図面の作成、遺物実測、トレースは草薙良雄、崎田一郎、新町芳伸、菅付和樹、都成 量、松田清孝、山下健一、渡部誠一郎、整理作業員の協力を得て、藤木ほかが行なった。
- 10 本書に使用した記号は以下の通りである。
SC…土坑 SI…集石
- 11 本書に使用した方位は、主に磁北(M.N)であり、位置図などの一部は、座標北(G.N)である。また、レベルは海拔絶対高である。
- 12 出土遺物・その他諸記録類は、宮崎県埋蔵文化財センターで保管している。
- 13 本書の執筆は、第I章第1・2・3節を長津宗重、第I章第4・5節、第II章、第IV章を藤木聡が行ない、編集は山田洋一郎・藤木聡が行なった。

本文目次

第I章 はじめに

第1節 調査に至る経緯	1
第2節 調査の組織	1
第3節 遺跡の位置と環境	2
第4節 調査の概要	4
第5節 基本土層と調査区内の土層堆積	7

第II章 旧石器時代から古墳時代までの遺構と遺物

第1節 遺構検出状況と遺構	8
1 集石	8
2 土坑	8
第2節 遺物出土状況と遺物	13
1 土器	13
2 石器	14
(1) 流紋岩 f 製石器	16
(2) 流紋岩 g 製石器	26
(3) 流紋岩 c 製石器	29
(4) チャート製石器	30
(5) 敲石・磨石	31
(6) 流紋岩 a 製石器	32
(7) 流紋岩 b 製石器	34
(8) 黒曜石製石器	36

第III章 上ノ迫遺跡の自然科学分析

第1節 上ノ迫遺跡の土層とテフラ	41
(1) T-1	41
(2) T-6	41
(3) 小結	42
第2節 上ノ迫遺跡2号集石の ¹⁴ C年代測定	42

第IV章 まとめ

1 上ノ迫遺跡の縄文～古墳時代について	44
2 上ノ迫遺跡の2号集石の時期について	44
3 上ノ迫遺跡の旧石器時代石器群について	44

挿 図 目 次

第1図	上ノ迫遺跡西側畑地採集石器	4
第2図	東九州自動車道の遺跡分布図	5
第3図	上ノ迫遺跡周辺地形図および調査区	6
第4図	上ノ迫遺跡基本土層図	7
第5図	上ノ迫遺跡遺構分布図	9
第6図	上ノ迫遺跡遺構実測図(1)	10
第7図	上ノ迫遺跡遺構実測図(2)	11
第8図	上ノ迫遺跡遺構実測図(3)	12
第9図	上ノ迫遺跡出土土器実測図	13
第10図	上ノ迫遺跡石器分布図1(流紋岩f)	16
第11図	上ノ迫遺跡石器分布図2(流紋岩f拡大)	17
第12図	上ノ迫遺跡石器実測図1(流紋岩f)	18
第13図	上ノ迫遺跡石器実測図2(流紋岩f)	19
第14図	上ノ迫遺跡石器実測図3(流紋岩f)	20
第15図	上ノ迫遺跡石器実測図4(流紋岩f)	21
第16図	上ノ迫遺跡石器実測図5(流紋岩f)	22
第17図	上ノ迫遺跡石器実測図6(流紋岩f)	23
第18図	上ノ迫遺跡石器実測図7(流紋岩f)	24
第19図	上ノ迫遺跡石器実測図8(流紋岩f)	25
第20図	上ノ迫遺跡石器分布図3(流紋岩g)	26
第21図	上ノ迫遺跡石器実測図9(流紋岩g)	27
第22図	上ノ迫遺跡石器実測図10(流紋岩g)	28
第23図	上ノ迫遺跡石器分布図4(流紋岩c・e)	29
第24図	上ノ迫遺跡石器分布図5(チャート)	30
第25図	上ノ迫遺跡石器実測図11(流紋岩c、チャート、敲石類)	31
第26図	上ノ迫遺跡石器分布図6(流紋岩a)	32
第27図	上ノ迫遺跡石器実測図12(流紋岩a)	33
第28図	上ノ迫遺跡石器分布図7(流紋岩b)	34
第29図	上ノ迫遺跡石器実測図13(流紋岩b)	35
第30図	上ノ迫遺跡石器分布図8(黒曜石)	36
第31図	上ノ迫遺跡石器実測図14(黒曜石)	37
第32図	上ノ迫遺跡石器分布図9(ホルンフェルス、頁岩、砂岩)	38
第33図	上ノ迫遺跡石器分布図10(石材別)	39
第34図	上ノ迫遺跡石器分布図11(器種別)	40

表 目 次

表 1	上ノ迫遺跡遺構一覽表	8
表 2	上ノ迫遺跡出土石器群組成表	44
表 3	石器石材分類表 (流紋岩系)	46
表 4	上ノ迫遺跡出土遺物計測表	47

図 版 目 次

図版 1	上ノ迫遺跡遠景	55
	上ノ迫遺跡調査区	55
図版 2	上ノ迫遺跡近景	56
	SC 2 半裁	56
	SC 1 完掘	56
	SC 4 完掘	56
	SC 3 検出	56
	SC 6 完掘	56
	SI 2 検出	56
	III b 層中の遺物出土状況	56
図版 3	縄文土器	57
	土師器甕	57
	流紋岩 f 製石器 (1)	57
	流紋岩 f 製石器 (2)	57
	流紋岩 f 製石器 (3)	57
	流紋岩 g 製石器	57
	流紋岩 a・b・c・e、チャート製石器	57
	黒曜石製石器、敲石類	57

第1章 はじめに

第1節 調査に至る経緯

東九州自動車道延岡～清武間は平成元年2月に基本計画がなされ、平成3年12月には西都～清武間は整備計画路線となった。西都～清武間は、平成5年11月に建設大臣から日本道路公団へ施工命令が出され、公団では平成6年度から事業に着手している。その間、県教育委員会では、平成3年度に西都～清武間の遺跡詳細分布調査を行ない、それに基づき埋蔵文化財の保護について関係機関と協議した結果、工事施工によって影響を受ける部分について工事着手前に発掘調査を実施することとなった。調査は、平成7年度については文化課で行なったが、平成8年度は埋蔵文化財センターの総合博物館からの分離・独立に伴って、宮崎県埋蔵文化財センターで行なっている。

佐土原町大字西上那珂字上ノ迫の工事区内には、舌状台地上に広がる上ノ迫遺跡がある。本調査に先だって平成8年8月1日から5日にかけて確認調査を行なった結果、T5で小林軽石層の前後で剥片が2点出土した。小林軽石層の前後に後期旧石器時代の包含層が確認されたことから、本調査を実施することとなった。本調査は舌状台地の東側を調査対象（上ノ迫2666-1、2666-2、2667-3、面積3,225㎡）として平成8年8月19日に着手し、同11月29日に終了した。

第2節 調査の組織

上ノ迫遺跡の調査組織は次のとおりである。

調査主体 宮崎県教育委員会

教育長	田原 直廣（平成8年度）
	岩切 重厚（平成9年度）
	笹山 竹義（平成10～12年度）
文化課長	江崎 富治（平成8年度）
	仲田 俊彦（平成9～11年度）
	黒岩 正博（平成12年度）
埋蔵文化財係長	面高 哲郎（平成8年度）
	北郷 泰道（平成9～11年度）
	石川 悦雄（平成12年度）
主査（調整担当）	永友 良典（平成8年度）
主査（調整担当）	柳田 宏一（平成9年度）
主任主事（調整担当）	重山 郁子（平成10・11年度）
主任主事（調整担当）	飯田 博之（平成12年度）

宮崎県埋蔵文化財センター

所長	藤本 健一（平成8・9年度）
	田中 守（平成10・11年度）
	矢野 剛（平成12年度）
副参事	木幡 文夫（平成8年度）
副所長	岩永 哲夫（平成8～9・12年度）

	江口 京子 (平成11年度)
	菊地 茂仁 (平成12年度)
調査第一課長	面高 哲郎 (平成12年度)
調査第一係長	岩永 哲夫 (平成8年度兼務)
	面高 哲郎 (平成9～11年度)
	面高 哲郎 (平成12年度兼務)
主事 (調整担当)	飯田 博之 (平成8年度)
主査 (調整担当)	菅付 和樹 (平成9～11年度)
主査 (整理作業調整担当)	倉永 英季 (平成12年度)
主査 (調査担当)	園田 和宏 (平成8年度)
主事 (調査担当)	大坪 博子 (平成8年度)
主事 (報告書担当)	藤木 聡 (平成12年度)

第3節 遺跡の位置と環境

1 遺跡の位置

上ノ迫遺跡は、宮崎平野の南西部に位置し、佐土原町大字西上那珂字上ノ迫に所在する（第2図）。遺跡は、南北に伸びた標高68mの舌状台地上に立地し、台地の東西には、比高30mほどの谷が入り込む。台地上には平坦面が広がるが、調査以前に畑地として削平されたためである。調査を行なった箇所は、旧地形の残る台地の縁辺部にあたり、東の谷に向かって傾斜している。また、遺跡から北に向かって一つ段丘崖を上がると広大な台地が展開し、長藺原遺跡などが立地する。

2 歴史的環境

佐土原町内は地形上、船野台地・一ツ瀬低地・佐土原丘陵・年居原台地・広瀬海岸低地・鹿野田上田島丘陵に分かれ、遺跡は点在する⁽¹⁾。遺跡の発掘調査は短期間の小規模な緊急調査に限られていたが、近年の開発や東九州自動車道（西都～清武間）建設に伴う発掘調査によって面的な調査が行なわれ、各時代のことが次々と明らかにされている。

旧石器時代

町内においては従来、船野型細石刃核で有名な船野遺跡⁽²⁾（大字西上那珂）が知られていた。船野遺跡は標高84～87mの台地に立地し、細石器を伴わない小型のナイフ形石器とスクレイパーからなる第一文化層、黒曜石製の細石器に流紋岩製の細石器が伴い、ナイフ形石器・台形様石器・尖頭器からなる第二文化層、そして流紋岩製の細石器と小形のナイフ形石器が主体となる文化層に変化した。ナイフ形石器文化から細石器文化へ移行する過渡期に遺跡は形成されたと考えられている。

東九州自動車道建設に伴って船野台地では当遺跡以外にも、長藺原遺跡⁽³⁾・下屋敷遺跡⁽⁴⁾・上ノ原遺跡⁽⁵⁾（大字西上那珂）、都於郡・仲間原台地の別府原遺跡⁽⁶⁾（西都市大字鹿野田）などで調査されている。長藺原遺跡では小林軽石層（V層）下でブロックが7基検出され、VI層からナイフ形石器・剥片等、VII層からナイフ形石器・剥片尖頭器・三稜尖頭器・剥片等が出土している。特にナイフ形石器・台形石器・スクレイパー等が出土したブロックには、剥片・石核等が共伴しているので石器製作の場が想定される。

下屋敷遺跡ではA T層（Ⅷ）上層のⅥ・Ⅶ層でブロックが33基検出されて、ナイフ形石器・剥片尖頭器・三稜尖頭器・剥片等が出土している。上ノ原遺跡では小林軽石層（Ⅶ層）下位のⅧ層で礫群6基、Ⅶ層上面で陥穴状遺構7基、土坑74基が検出され、陥穴状遺構5基の床面には逆茂木痕と推定される小穴も検出された。別府原遺跡では、A T層（Ⅸ層）下位のⅩ～Ⅺ層上面で礫群5基が検出され、石核・剥片等が出土している。小林軽石風成二次堆積層（Ⅵb層）下位のⅦ層では礫群14基、配石遺構1基、ブロック7基が検出され、ナイフ形石器・台形様石器・三稜尖頭器・スクレイパー・石核・剥片・台石等が出土している。Ⅵa層では陥穴状遺構18基、土坑4基、礫群1基、配石遺構2基等が検出され、細石刃核（船野型・野岳型）・細石刃等が出土している。Ⅹ～Ⅺ層がナイフ形石器文化期Ⅰに、Ⅶ層がナイフ形石器文化期Ⅱに、Ⅵa層が細石器文化期に比定されている。以上のように別府原遺跡でA T層下位の文化層が確認され、他の遺跡でも小林軽石層の上下で文化層が確認されるなど、後期旧石器時代の遺跡の様相が明らかになりつつある。

縄文時代

草創期は県内でも最近調査例が増え、隠山遺跡⁽⁷⁾（大字上田島）では爪形文を口縁部近くの隆帯文に施した土器が出土している。早期になると県内では遺跡の数が増大するが、町内でも同様である。別府原遺跡では竪穴状遺構15基、集石遺構58基、炉穴約300基、土坑約40基、配石遺構19基などが検出され、貝殻条痕文土器・打製石鏃・打製石斧・磨製石斧・磨石等が出土している。また石器組成では打製石鏃、局部磨製石斧が主体を占めている。特に炉穴の数の多さ、多種にわたる遺構が検出されことから早期の集落の様相を知る上では重要である。下屋敷遺跡では貝殻条痕文・押型文土器と共に集石遺構3基、上ノ原遺跡では貝殻条痕文土器と共に集石遺構11基・炉穴5基、西ヶ迫遺跡では押型文土器と共に集石遺構20基が検出されている。

約6,400年前の鬼界カルデラの火山活動によるアカホヤ火山灰が降った後、県内の遺跡は激減し、中期も希薄であり、後期になってようやく県内全域的に遺跡が増加し、大規模な環状集落も出現する。しかし、町内においては前期から後期の良好な遺跡の調査例がないため集落の様相を述べることはできない。晩期になると隠山遺跡では未貫通の孔列土器が出土している。

弥生時代

県内の前期の遺跡は数少なく、後期に遺跡の数が増大するが、町内でも後期になってようやく遺跡が見られる。特に下那珂遺跡⁽⁸⁾（大字下那珂字城ヶ峰）は複雑に蛇行しながら東流する石崎川左岸の標高54mの丘陵上に位置し、昭和42年の調査によって貝塚・土坑1基・方形の竪穴住居1軒が検出され、後期後半の土器と共に石包丁・石皿・磨石・磨製石鏃・鉄鏃・軽石製浮子などが出土した。特に絵画・記号文土器の中の「飛鳥（龍）」の線刻が施された壺が有名である。なお平成11・12年の調査で後期後半の方形プランの拠点集落である竪穴住居が100軒以上検出された。特に竪穴住居から出土した前漢鏡である亀龍文鏡の破鏡はマツリの役割を終えた後、竪穴住居に廃棄されたと推定され、畿内地方や大分県の大野川上・中流域に見られるもので、県内では4例目で注目される。また宮崎平野部では浮城遺跡⁽¹⁰⁾（宮崎市吉村町）で中期後半～後期前半の水田が調査されたが、調査範囲が狭かったため水田1枚の区画までは把握できなかった。海岸低地に位置する伊賀給遺跡⁽¹¹⁾（大字下那珂）では後期の小区画水田が検出され、弥生時代の水田の様相が一部明らかにされた。

古墳時代

町内には前方後円墳・円墳・横穴墓が分布しており、特に6～7世紀の横穴墓が年居原台地周縁部、佐土原丘陵南端部、鹿野田・上田島丘陵周縁部に分布している。その中でも土器田横穴墓群が数量的には調査されている。特に装飾横穴墓で有名な土器田東1号横穴墓⁽¹²⁾は玄室の奥壁に馬2・魚（鳥・イルカ?）2・人物2などを、奥・左・右壁にも5～7段の連続三角文を線刻し、6世紀中頃～7世紀前半に比定されるが、形象と三角文は時期差の可能性もある。東九州自動車道で調査された平田迫1号横穴墓（大字上田島）は丘陵の楕円状の高まりの裾に立地し、7世紀前半に造営されている。以上のように6～7世紀の後期から終末期の群集墳の時期については明らかになりつつあるが、前方後円墳・円墳が主体である前期・中期の時期については不明であり、造墓集団である集落についても未解明である。

以上のように、後期旧石器時代・縄文時代早期の様相が特に明らかになりつつある。

註

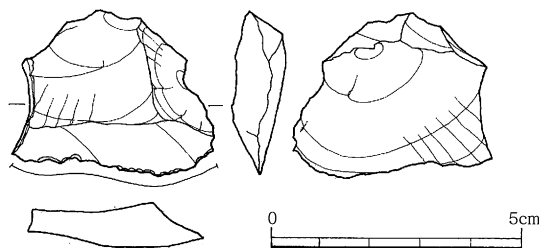
- (1) 佐土原町教育委員会「佐土原町遺跡詳細分布調査報告書」「佐土原町文化財調査報告書」第5集 1991
- (2) 橋昌信「宮崎県船野遺跡における細石器文化」「考古学論叢」3 1975
- (3)～(6) 宮崎県埋蔵文化財センター「東九州自動車道関係埋蔵文化財調査概要報告書Ⅱ」「宮崎県埋蔵文化財センター発掘調査報告書」第12集 1998
- (7) 佐土原町教育委員会「隠山遺跡概要報告書」「佐土原町文化財調査報告書」第8集 1993
- (8) 石川恒太郎・栗原文蔵「宮崎市佐土原町下那珂弥生遺跡」「九州考古学」33・34 1968
- (9) 宮崎県埋蔵文化財センターの甲斐貴充氏より教示。
- (10) 宮崎市教育委員会「浮ノ城遺跡」「吉村第2土地区画整理事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書」1986
- (11) 佐土原町教育委員会「伊賀給遺跡」「佐土原町文化財調査報告書」第14集 1999
- (12) 佐土原町教育委員会「土器田横穴古墳」「佐土原町文化財調査報告書」第1集 1981

第4節 調査の概要

調査区は、調査の都合上、3つの地区（N・S・NE区）に分けた（第3図）。N・S区は台地平坦面、NE区は東に下がる緩斜面にあたる。

調査は、まずS区から行なった。平成8年8月19日から重機により表土を剥ぎ、翌日から包含層の掘り下げを開始、同9月24日にAT面までを完掘した。また、(株)古環境研究所に火山灰の同定を依頼し、同9月20日にサンプル採取を行なった。S区終了後、N・NE区の表土を重機で剥ぎ、生じた土砂はS区に廃棄した。N・NE区の調査は、同9月24日から行ない、同11月27日にAT面までを完掘した。掘り下げと平行して、AT下位石器群の有無を確認する目的で、T1・T2において試掘を行なったが、何ら遺構・遺物は確認されなかった。同11月29日に調査全体を終了した。

なお、第1図は、調査区西側の畑地から採集された、二次加工ある剥片である。頁岩製で、最大長33mm、最大幅40mm、最大厚11mm、重量11.9gを計る。剥片末端には、微細剥離がある。

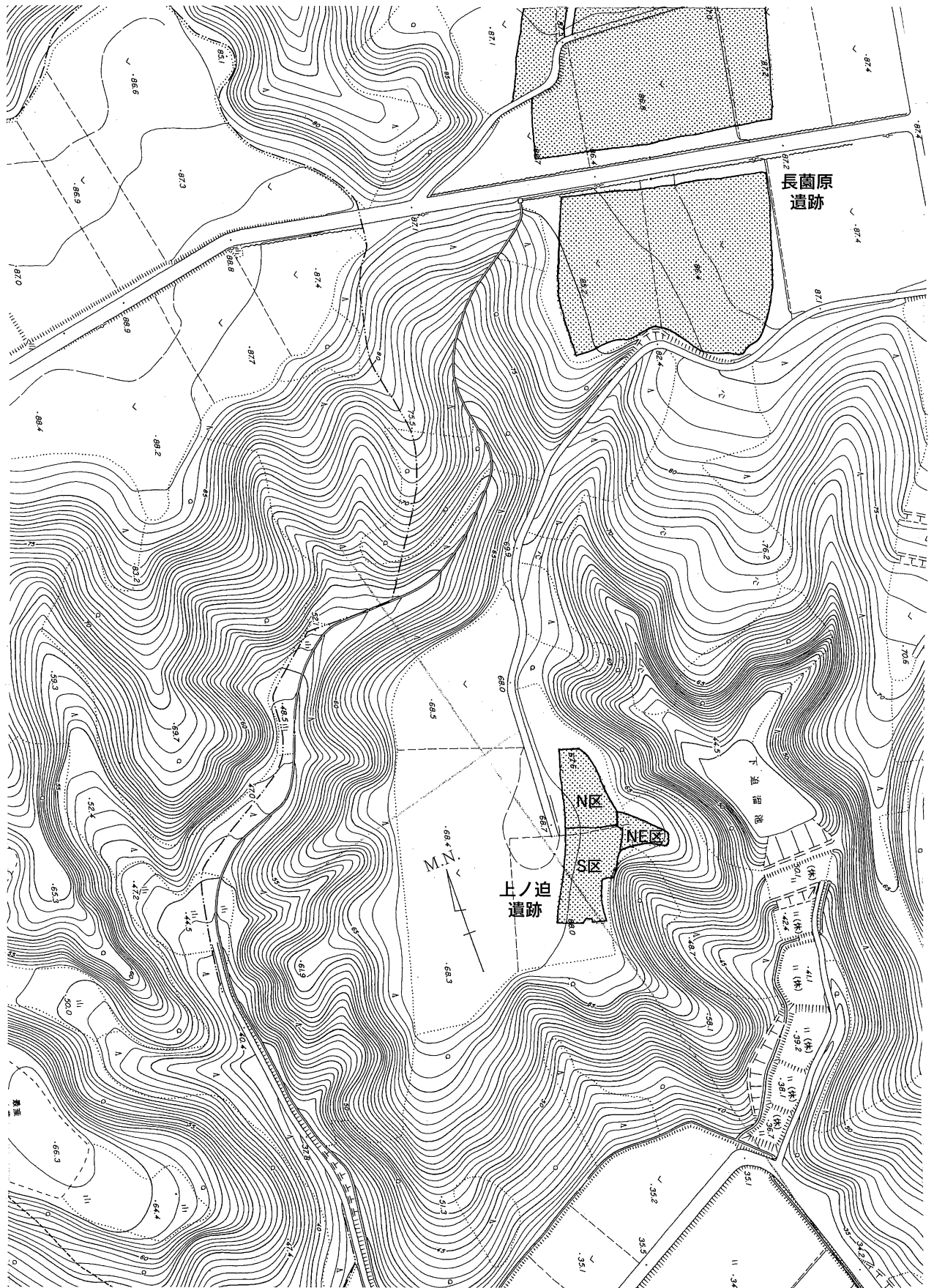


第1図 上ノ迫遺跡西側畑地採集石器



- | | | | |
|----------|---------|-------------|---------|
| 1 上ノ迫遺跡 | 2 長園原遺跡 | 3 待居廻遺跡 | 4 梅ヶ島遺跡 |
| 5 下屋敷遺跡 | 6 上ノ原遺跡 | 7 別府原・西ヶ迫遺跡 | 8 平田迫遺跡 |
| 9 大辻屋敷遺跡 | 10 蔵向遺跡 | | |

第2図 東九州自動車道の遺跡分布図 (1/50000)



第3図 上ノ迫遺跡周辺地形図および調査区 (1/2000)

第5節 基本土層と調査区内の土層堆積

(株)古環境研究所の分析報告(第Ⅲ章)および調査中の土層観察から、上ノ迫遺跡の基本土層は、Ⅰ～Ⅵ層に分けられる(第4図)。

Ⅰ層は耕作土である。70～80cm前後の堆積があり、調査開始時に重機で除去した。

Ⅱ層は黄褐色土(Hue10YR5/8)である。いわゆる二次アカホヤ層にあたり、細粒で、粘性が少しある。軟らかい。

Ⅲa層は黄褐色土(Hue10YR5/8)である。粒子の細かい部分と粗い部分とが混在し、前者は軟質で茶色土、後者は硬質で斑点状に混在する黒色土である。粘性が少しある。

Ⅲb層は黄褐色土(Hue10YR5/8)である。細粒で、粘性が少しある。小林軽石を含む。

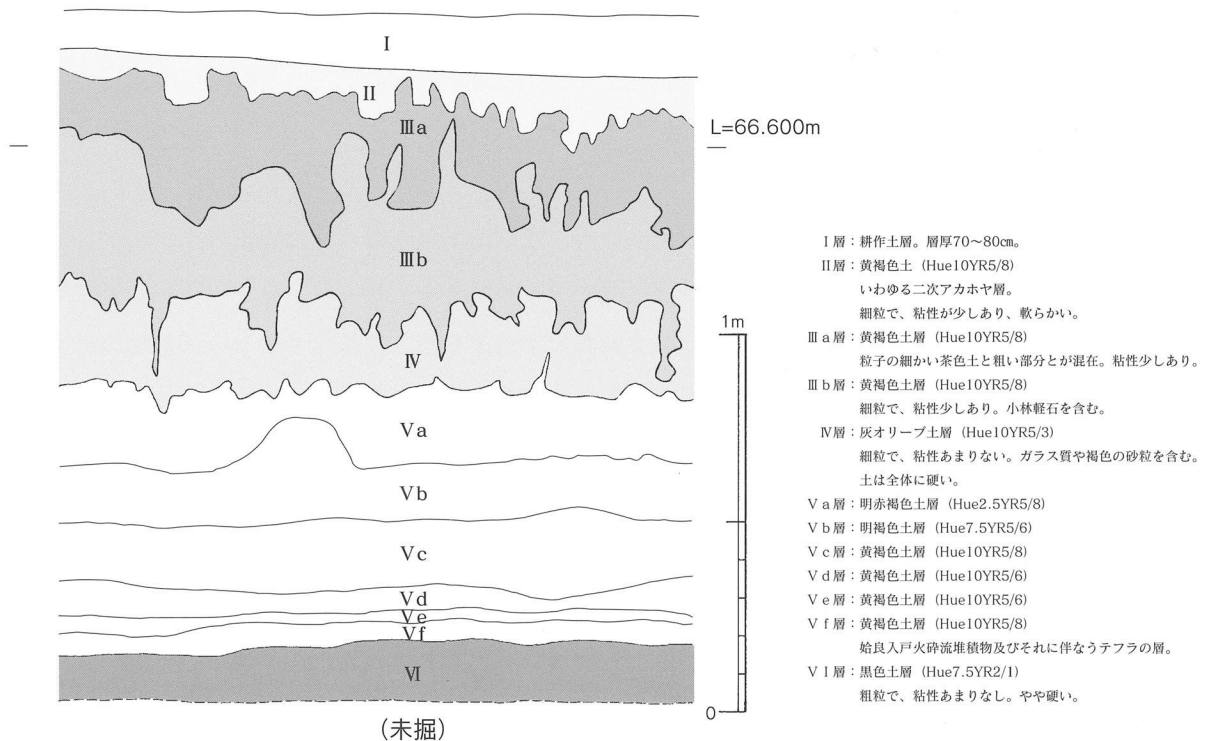
Ⅳ層は灰オリーブ土(Hue10YR5/3)である。細粒で、粘性はあまりない。ガラス質や褐色の砂粒を含む。土は全体的に硬い。

Ⅴ層は明赤褐色土(Hue2.5YR5/8)から黄褐色土(Hue10YR5/6)である。始良入戸火砕流堆積物およびそれに伴うテフラの層。(株)古環境研究所の分析により、Ⅴa～Ⅴfの6層に細分される。

Ⅵ層は黒色土(Hue7.5YR2/1)である。粗粒で、粘性はあまりない。やや硬い。

土層は、調査区全体にわたって、Ⅲ層より下位で均一な堆積状況を見せる。Ⅲ層より上位の堆積は良好でなく、NE区など標高の低い箇所、部分的にⅡ層(二次アカホヤ層)が残存するばかりであった。

遺物・遺構は、Ⅲa～Ⅳ層中に包含される。上ノ迫遺跡においては、縄文時代早期の包含層となる、いわゆる黒二ガの堆積は見られなかった。



第4図 上ノ迫遺跡基本土層図

第II章 旧石器時代から古墳時代までの遺構と遺物

第1節 遺構検出状況と遺構

遺構は、集石3基（1～3号）、土坑6基（1～6号）がある。1・2号集石、6号土坑を除き、すべて表土を取り除いた時点で検出した。遺構密度は散漫である（第5図）。

表1 上ノ迫遺跡遺構一覧表

	種類	検出面	プラン	備考（性格）
1号	集石	Ⅲb層(小林軽石層) 直下	69×54cm	掘り込みなし
2号	集石	Ⅲb層(小林軽石層) 直下	60×50cm	掘り込みなし
3号	集石	Ⅱ層(二次アカホヤ)	150×150cm	掘り込みなし
1号	土坑	Ⅱ層(二次アカホヤ)	132×122cmの楕円形. 深さ27cm	土師器出土
2号	土坑	Ⅱ層(二次アカホヤ)	196×132cmの長楕円形. 深さ10cm	
3号	土坑	Ⅲb層(小林軽石層)	243×63cmの長楕円形. 深さ22～34cm	(炉穴)
4号	土坑	Ⅲb層(小林軽石層)	85×77cmの不整形円形. 深さ26cm	(炉穴?)
5号	土坑	Ⅲb層(小林軽石層)	164×110cmの楕円形. 深さ38cm	
6号	土坑	Ⅳ層	83×77cmの楕円形. 深さ80cm	(陥し穴)
		Ⅱ層(二次アカホヤ)		(風倒木)

1 集石（第6・7図）

1・2号集石は、Ⅲb層小林軽石層直下で検出した。1号集石は69×54cm、2号集石は60×50cmの範囲で礫が集中し、その周辺にいくつかの礫が散らばる。掘り込みはなく、配石もない。礫は、長径15～20cmの亜角礫からなり、礫のほとんどが赤化していた。なお、2号集石中から検出した炭化物は、(株)古環境研究所に依頼して、年代測定を行なった。詳しくは、第III章（p42）で触れる。3号集石は、Ⅱ層二次アカホヤ中で検出した。掘り込みはなく、150×150cmの範囲に50点の礫が散在していた。礫は砂岩製の亜円礫が大半を占める。

2 土坑（第6・8図）

1号土坑は、Ⅱ層二次アカホヤ中で検出した。検出状況は、黒色土の周囲に黒褐色土が広がる状態であった。平面プランは132×122cmの楕円形で、深さ27cmである。埋土は、粒子の細かい黒色土・黒褐色土からなる。黒色土中からは、第9図5の土師器片が出土した。黒褐色土中からは遺物の出土がないため、土師器片は1号土坑が埋没する過程で混入したものと判断される。

2号土坑は、Ⅱ層二次アカホヤ中で検出した。検出面で、長径196cm、短径132cm、深さは10cmである。埋土は、上から黒色土と二次アカホヤに分けられる。遺物は出土していない。性格は不明。

3号土坑は、Ⅲb層中で検出した。平面プランは243×63cmの長楕円形となる。底面は平らでなく、深さは、検出面から、浅いところで22cm、深いところで34cmである。埋土は、硬質の灰黒色土ブロックを含む褐色土である。底面の中央部分からは、少量の炭化物を検出した。これらの状況から、3号土坑は炉穴と考えておきたい。

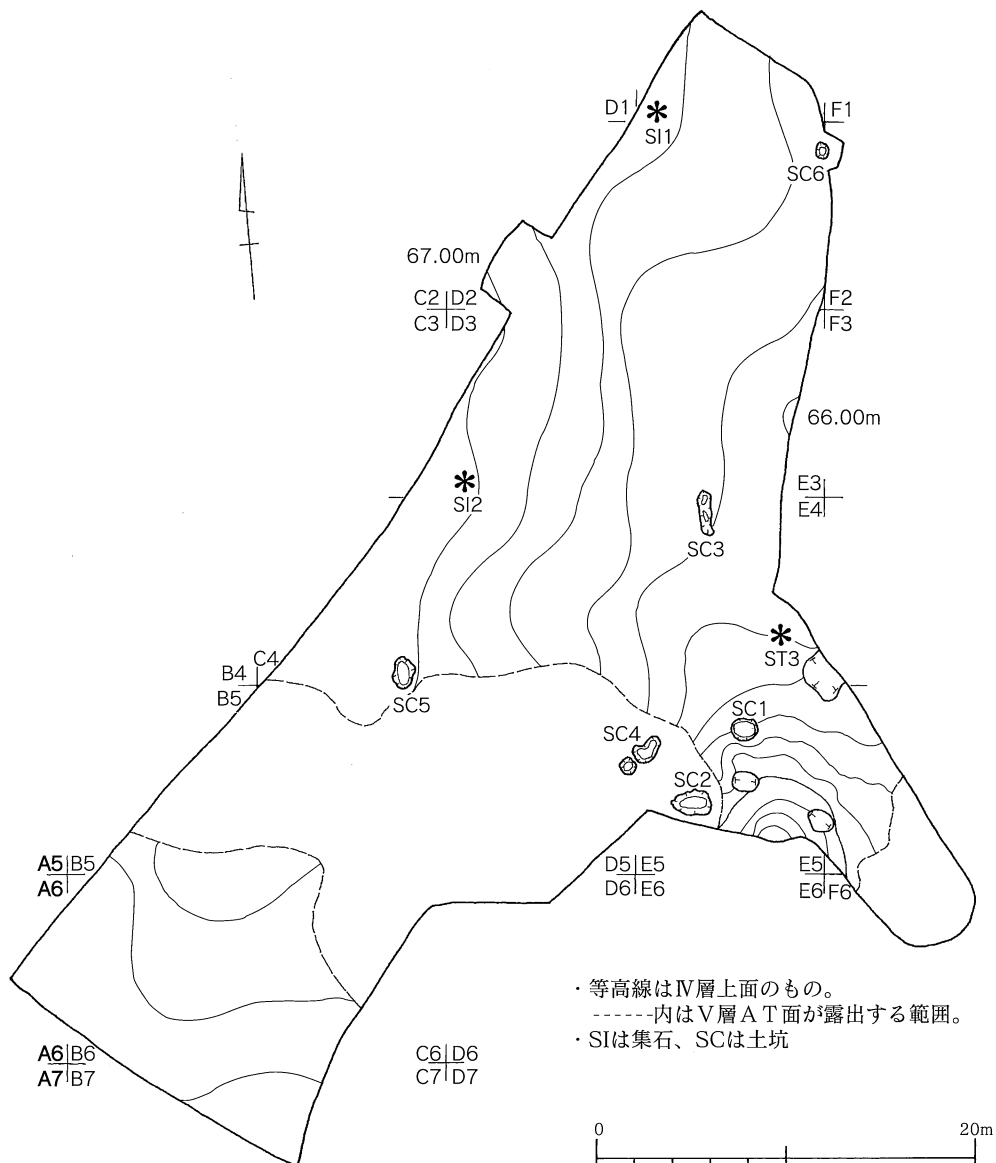
4号土坑は、2つの並んだ土坑群からなる。南側の土坑は、85cm×77cmの不整形円形で、深さは26cmである。埋土は、うすい黒色の斑点がシミ状に広がる褐色土で、炭化物粒を含む。北側の土坑は、

150×124cmの不整形なもので、深さは25cmである。埋土は小林軽石を含む褐色土で、硬質である。遺物は出土していない。これらの状況から、4号土坑は炉穴の可能性も考えられる。

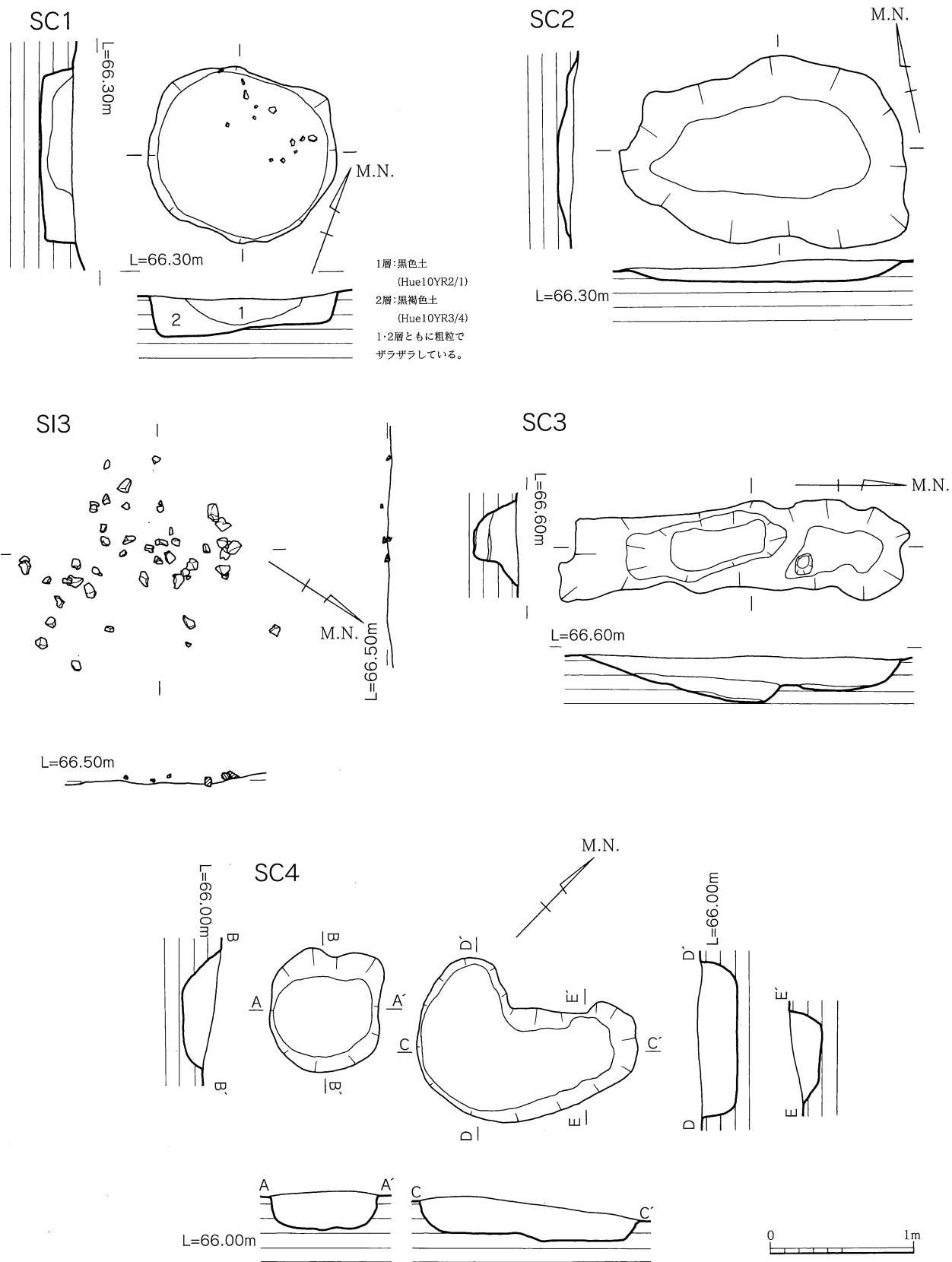
5号土坑は、Ⅲ b層中で検出した。平面プランは164×110cmの楕円形で、深さは38cmである。埋土は1～4層に分けられ、3層中に小林軽石を含む層がある。遺物は出土していない。性格は不明。

6号土坑は、Ⅳ層中で検出した。平面プランは83×77cmの楕円形である。埋土は、小林軽石を含み硬質である。土坑は、Ⅳ層からA T層にかけて掘り込まれ、断面図中位に引かれた横線は、Ⅳ層とA T層の境を示す。壁面は、ほぼ垂直に立ち上がり、また、底面中央には、径15cmほどの円形の掘り込み、幅10cmほどの溝がある。遺構の深さは、検出面から底面まで80cm近くあり、円形の掘り込みは底面からさらに25cmほど下がる。これらの状況から、6号土坑は陥し穴状遺構と判断される。

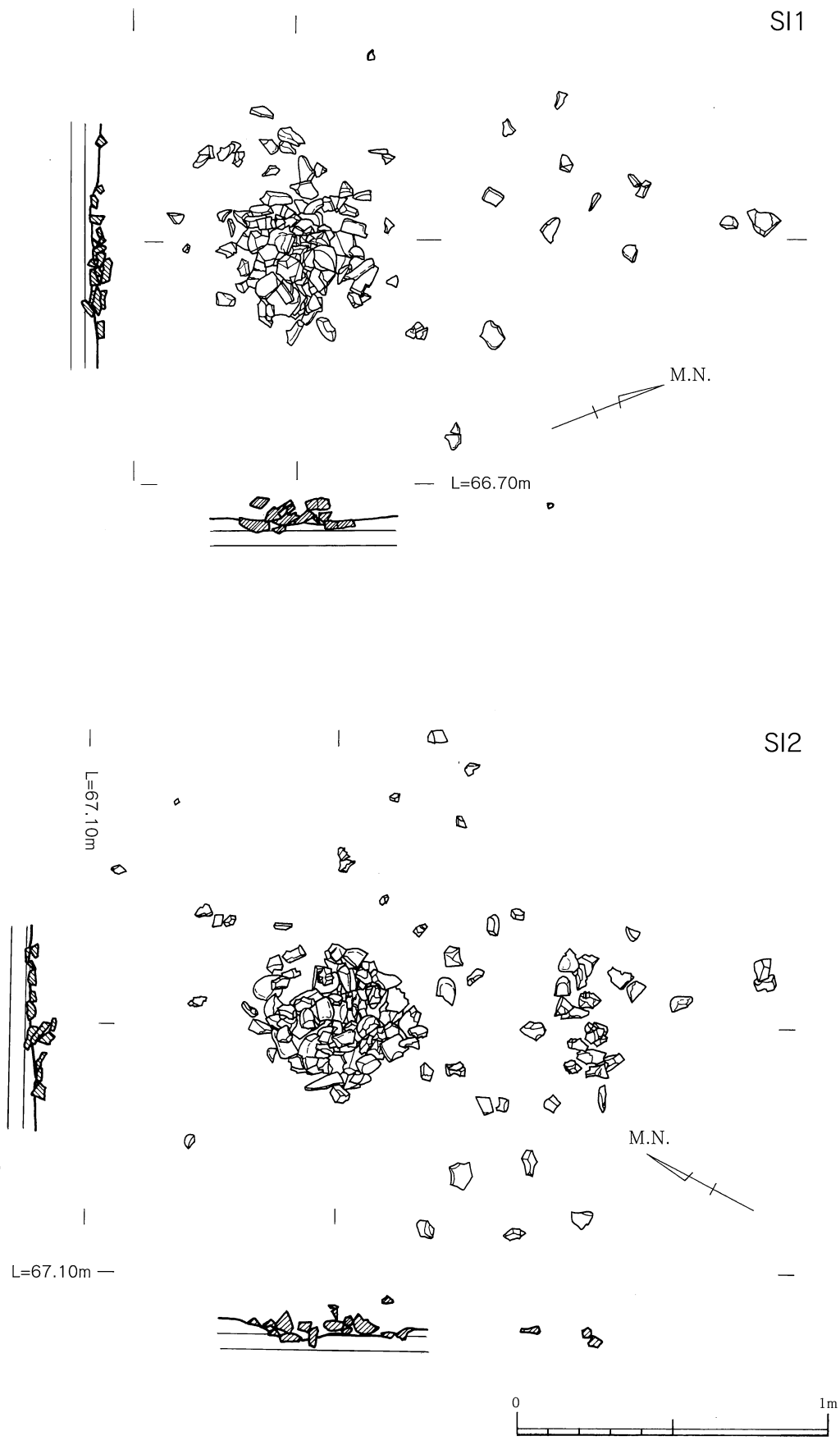
このほか、Ⅱ層二次アカホヤ面で、風倒木痕と考えられるものを3基検出した。



第5図 上ノ迫遺跡遺構分布図

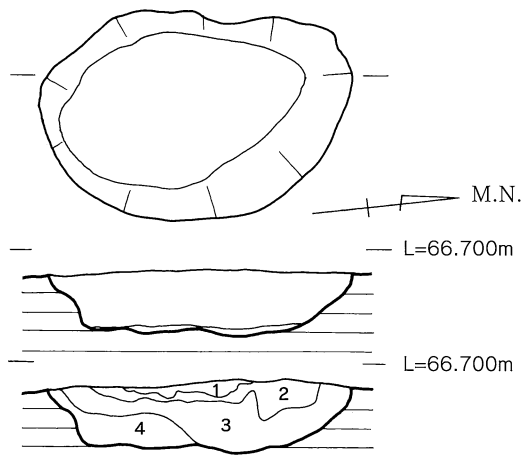


第6図 上ノ迫遺跡遺構実測図(1)

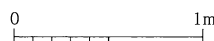


第7図 上ノ迫遺跡遺構実測図(2)

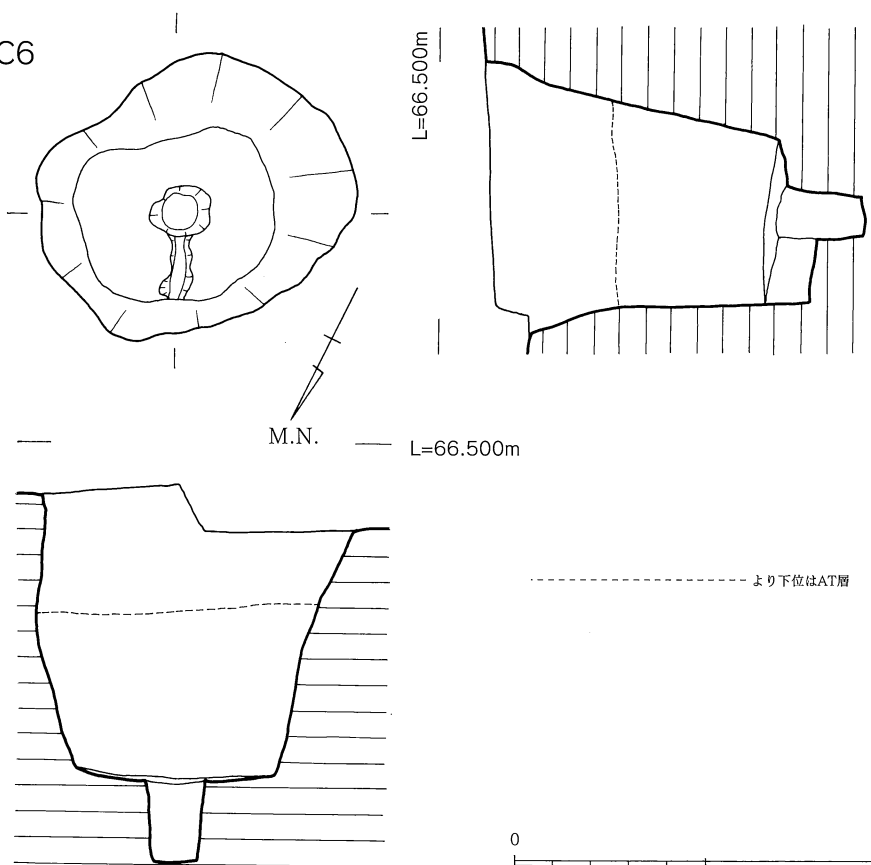
SC5



- 1層：黄褐色土 (Hue10YR6/6)
粒はサラサラで、やや淡い黄色味を帯びる。
- 2層：黄褐色土 (Hue10YR5/6)
粘性強い。
- 3層：褐色土 (Hue10YR4/6)
小林軽石を含む硬いブロックが混在。
- 4層：黄褐色土 (Hue10YR5/8)
粗粒で、硬質の黒色斑を含む。



SC6



より下位はA1層



第8図 上ノ迫遺跡遺構実測図 (3)

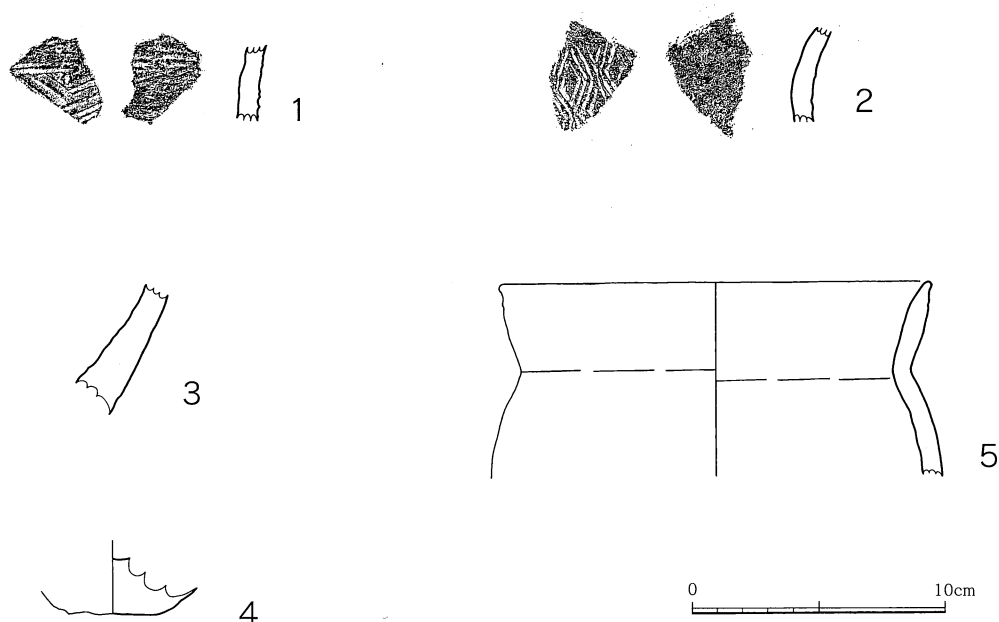
第2節 遺物出土状況と遺物

遺物は総数416点で、その内訳は土器33点、石器383点となる。遺物の大半は、包含層中からの出土であり、遺構に伴なうものはほとんどない。土器は縄文時代早期、弥生時代終末期から古墳時代初頭にかけてのもの、石器は後期旧石器時代のものである。

1 土器 (第9図)

土器のうち、土師器はその大半がE5・F6グリッド周辺から出土した。E5・F6グリッドは、谷に面した丘陵落ち際であり、II層二次アカホヤ層の残存が比較的良好な箇所である。下に報告する5の土師器は、E5グリッドに位置する1号土坑埋土、およびその周辺から出土した土器片からなる。縄文土器・弥生土器は、それぞれ多くても1~2個体分の土器のみの出土である。いずれも包含層中出土であり、遺構に伴なうものはない。

1は、内外面に貝殻条痕を持つ。胎土中に径0.1mmほどの黒色・白色の鉱物粒を含む。焼成は良好。色調は、外面が黒色、内面が褐色と、内外面で異なる。同一個体と考えられる土器片が、他に3点出土している。2は押型文土器で、外面に菱形文がある。胎土は1に近く、焼成は良好、色調は、内面が暗褐色、外面が橙褐色となる。器形は外反するものであり、文様の特徴と合わせ、手向山式土器と考えられる。3は弥生土器の胴部、4は底部である。胎土中には、径2~3mmの赤色・褐色の砂粒を多量に含む。器面の風化が著しい。胎土や器形から、弥生時代終末期のものと考えたい。5は土師器の甕である。胎土中には、3・4ほどではないものの、赤色・褐色の砂粒を多く含む。口縁は外傾し、胴部との境にゆるい段を持つ。胎土や器形から判断して、5C末頃のものであろう。同一個体と思われる土師器片が、数点出土している。小破片が大半で、2~3個体分と推測される。



第9図 上ノ迫遺跡出土土器実測図

2 石器

石器は、Ⅲb～Ⅳ層上半で、大きく2つの群に分かれて出土した。その出土層位や器種構成から判断して、ナイフ形石器段階後半のものである。石材別で石器の出土状況を提示し、その中で各石器の報告を行なう。流紋岩 a～g の分類は穴戸氏分類 (p46) による。

(1) 流紋岩 f 製石器 (第10図～第19図)

石器は調査区内からまんべんなく出土し、その総数は最も多い。それらの接合関係から、3ヶ所のまとまりを見出せる。

1は台形石器である。素材剥片を横位に用いる。右側縁の調整は、非常に細かい。2は円形の搔器である。礫面を大きく残す剥片素材で、周縁に調整を施して刃部とする。3はナイフ形石器である。左側縁にゆるい調整が入る。4・5は微細剥離ある剥片である。剥片の長辺に微細剥離がある。6は搔器である。厚手の剥片素材で、剥片端部を刃部とする。7は打面再生剥片である。右側縁に旧剥離面が見られる。

8・9はナイフ形石器と剥片の接合である。ナイフ形石器は横長剥片素材で、剥片打面側に急角度の調整を施す。剥片はその調整に伴なう。10・11は角錐状石器の成形段階の接合である。角錐状石器未製品に調整剥片が接合する。12・13、14・15は調整剥片どうし、16・17、28・29は剥片の折れ面、18・19、20・21、22・23、30・31は剥片どうしの接合である。24～27は剥片と石核の接合である。まず、27の石核から24・25・26の剥片を剥離し、その剥片端部を24→25の順で打ち欠く。24・25剥離の後、1枚の剥片剥離がなされるが、その目的は不明である。なお、24は剥離時に縦裂けを起こす。32～36もまた、剥片と石核の接合である。先後関係のわかるのは34→35のみである。34は作業面再生剥片であり、側縁に二次加工が見られる。

37～60は、総数24点の石器が接合する。剥片剥離は、まず、長径10cm程の垂円礫を分割する(37～45と46～60)。37～45は、38→39→40+41→42+43+44+45の順に剥離される。40+41、42+43+44+45は、本来、それぞれ1枚の剥片であり、剥片剥離の衝撃により節理に沿って割れたものである。最終的に石核37が残る。

46～60は、抜け落ちた剥片類が多く、剥片剥離の実態をつかみにくい。まず、46+47→49→48の順で、打面を90度近く入れ替えながら剥片剥離される。50～52は、46+47の剥離で生じた剥離面を打面とし、50→51→52の順で連続して剥離される。53・55は垂円礫分割面を打面とする。54・55は、垂円礫分割面よりやや下がった位置の打面から、54→55の順で連続して剥離される。53・56、54・55の剥離の間に打面再生のあった可能性があるが、打面再生剥片は接合していない。57+58・59、60は、垂円礫分割面とは反対の礫面から剥片剥離される。57+58・59は、少なくとも53の剥離後に剥離される。この母岩資料に伴なう、明確なツール類は確認できない。

(2) 流紋岩 g 製石器 (第20図～第22図)

石器は、流紋岩 f 製のものと近い分布をするが、点数は少ない。

61・62は搔器である。いずれも剥片末端に刃部を設定する。62の左側縁上肩は切断によって成形する。63・64は微細剥離ある剥片の折れ面が接合したものである。

65～67は円形の搔器とその調整剥片の接合である。円形の搔器は礫面を大きく残す、厚手の剥片素材で、重厚である。68～70は剥片と石核の接合である。石質によるのか、剥片表面はひどく波打って

いる。71・72は、剥離の早い段階で廃棄された、剥片と石核の接合である。節理が著しく、剥片は歪なものとなっている。

(3) 流紋岩 c 製石器 (第23・25図)

石器は、N～NE区にかけて出土する。総数は少ない。チャート製石器と分布が重なる。

73・74は剥片どうしの接合である。74を剥離した後、打面を替えて、73を剥離する。

(4) チャート製石器 (第24・25図)

石器は、N～NE区にかけて出土する。総数は少ない。75は搔器である。剥片末端に刃部を作り出す。76は剥片素材の石核である。剥片は両設打面の石核から剥離され、分厚い。

(5) 敲石・磨石 (第25図)

77・78は敲石、79は磨石である。77は丸餅状のチャート礫を用い、一端に敲打痕が残る。78は棒状のホルンフェルス礫を用いる。下端部の剥離は使用によるもので、剥離の周辺には敲打痕が残る。上端も使用の結果か、欠損する。79は尾鈴山酸性岩製で、上面に顕著な磨痕が残る。磨面は、部分的に赤化する。

(6) 流紋岩 a 製石器 (第26・27図)

石器は、N区に偏って出土する。80・81は台形石器である。80は甲高な断面三角形の剥片を横位に用いる。調整は、石質の粗さによるのか、粗雑である。81もまた、素材剥片を横位に用いる。基部側の背面は、整形のために剥離を加える。82～85は搔器である。82は素材剥片の打面側を刃部に、83・84は素材剥片末端部を刃部に設定する。85もまた搔器であるが、82～84とはやや趣を異にする。背面に大きく礫面を残す剥片素材で、平面形は円形に近い。

86・87は剥片どうしの接合である。調整剥片であろう。

(7) 流紋岩 b 製石器 (第28・29図)

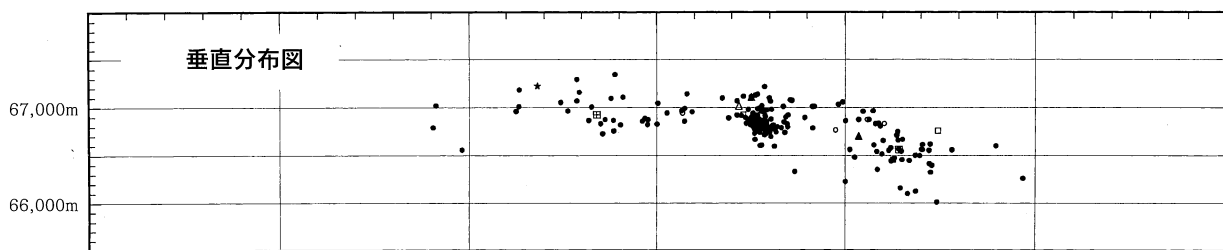
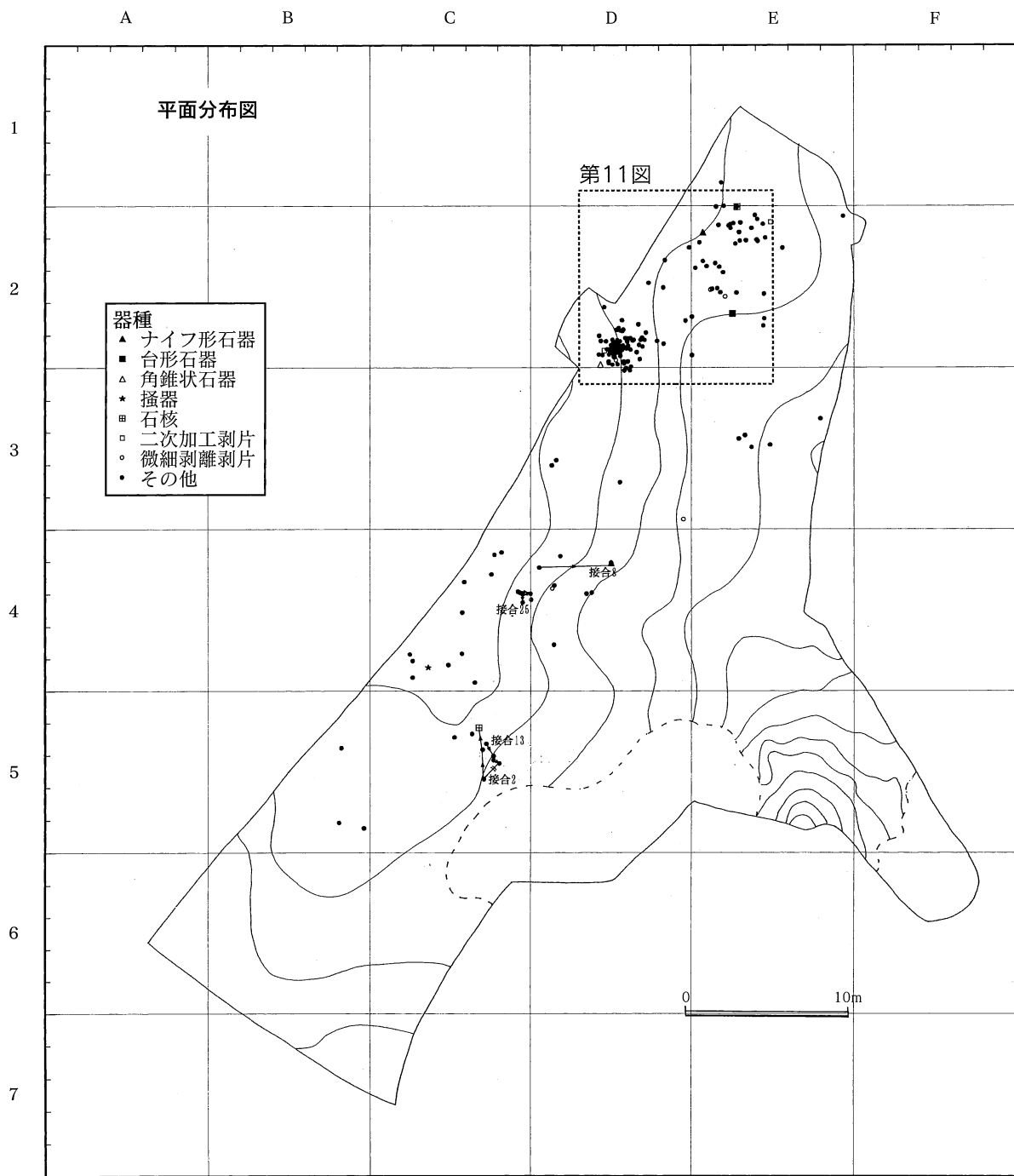
石器は、流紋岩 f 製のものと近い分布をするが、点数は少ない。88は台形石器である。断面三角形の厚手の剥片素材で、両側縁に調整を施す。

89～92は、搔器とその調整剥片などの接合である。91は搔器素材剥片獲得以前の剥片で、連続して縦長剥片剥離を行なったようである。搔器背面の稜成形を意図した可能性もある。搔器素材剥片は、その末端部に刃部が設定され、調整(90→89)の後、搔器(92)に仕上げられる。93・94は剥片どうしの接合である。95～98は剥片と石核の接合である。98は剥片素材の石核で、周縁より剥片剥離(95～97)がなされる。

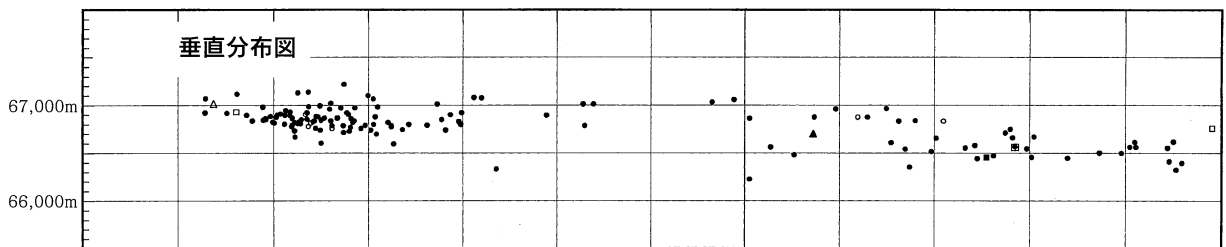
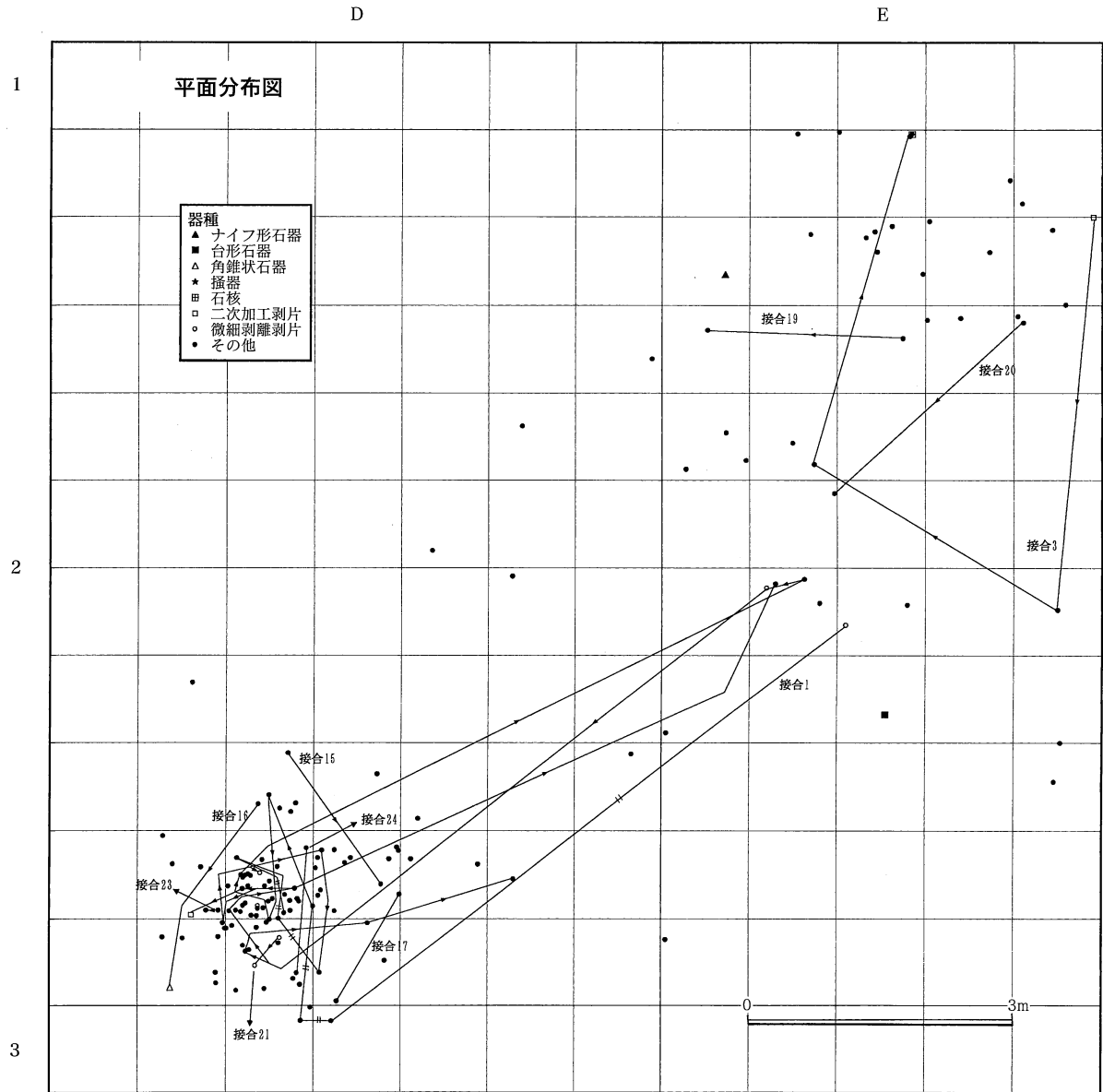
(8) 黒曜石製石器 (第30・31図)

石器は、N区を中心に出土する。99～102は台形石器である。99は寸詰まりの剥片素材で、剥片末端を刃部とする。左側縁に調整がある。刃部の欠損は新しい。100もまた、剥片末端を刃部とする。左側縁は腹面から、右側縁は背面から調整し、調整面から背面に平坦剥離を入れる。101は素材剥片を横位に用いる。102の刃角は、他に比べ急角度である。103はナイフ形石器である。小形の剥片素材で、左側縁は粗く調整した後、細かい調整を入れる。右側縁は平坦剥離に近い調整である。

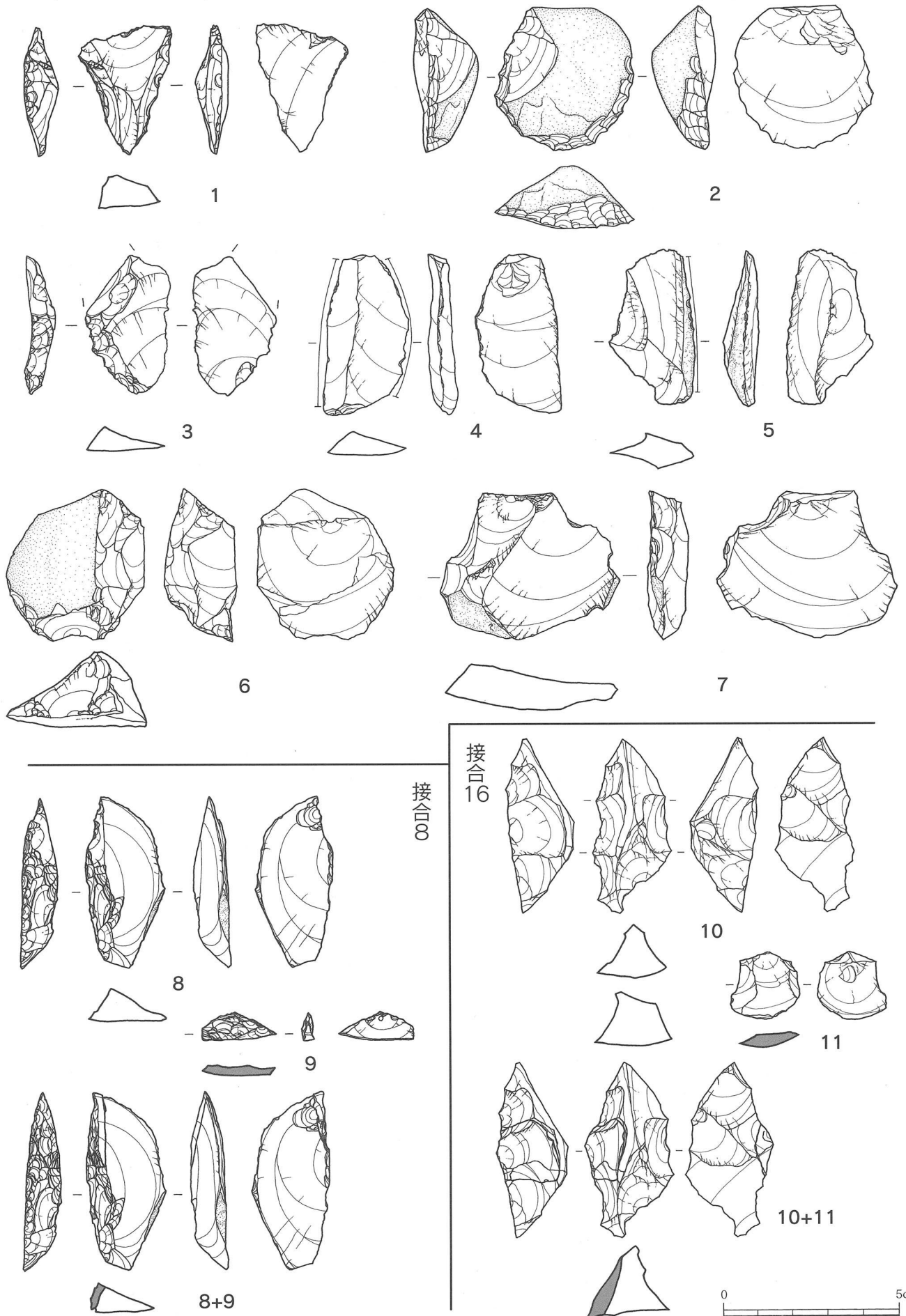
106～109は剥片どうしの接合、104・105、108・109、110～113は折れ面どうしが接合したものである。106～109は、106、108+109の順で連続剥離した後、その剥離面を打面として107を剥離する。



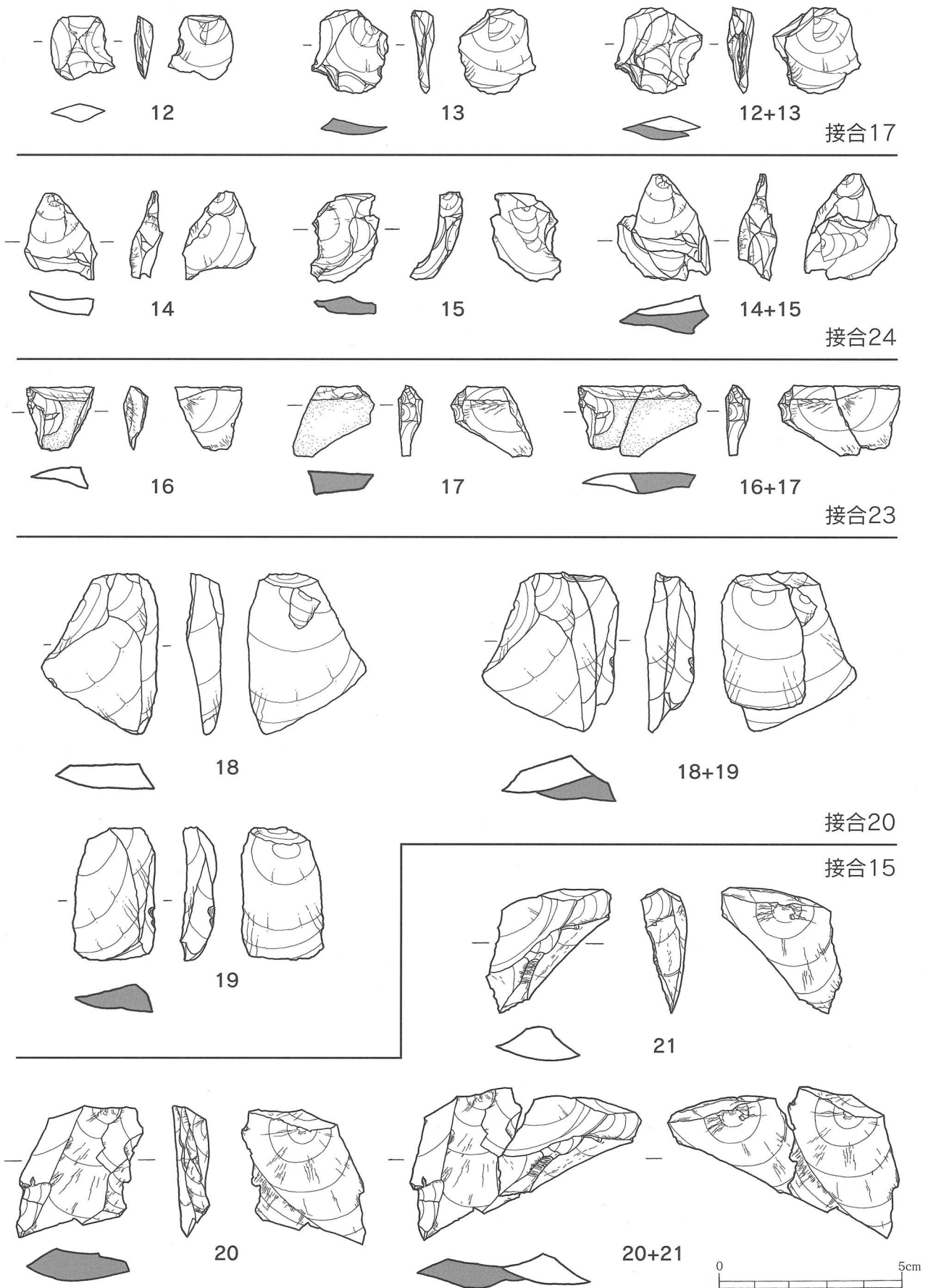
第10図 上ノ迫遺跡石器分布図1 (流紋岩 f)



第11図 上ノ迫遺跡石器分布図2 (流紋岩 f 拡大)

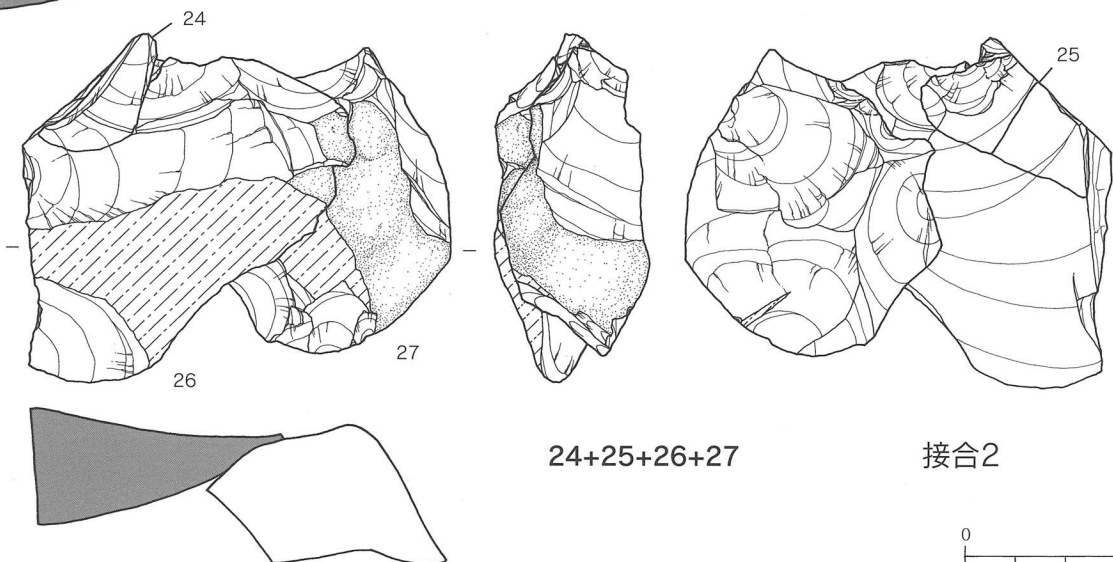
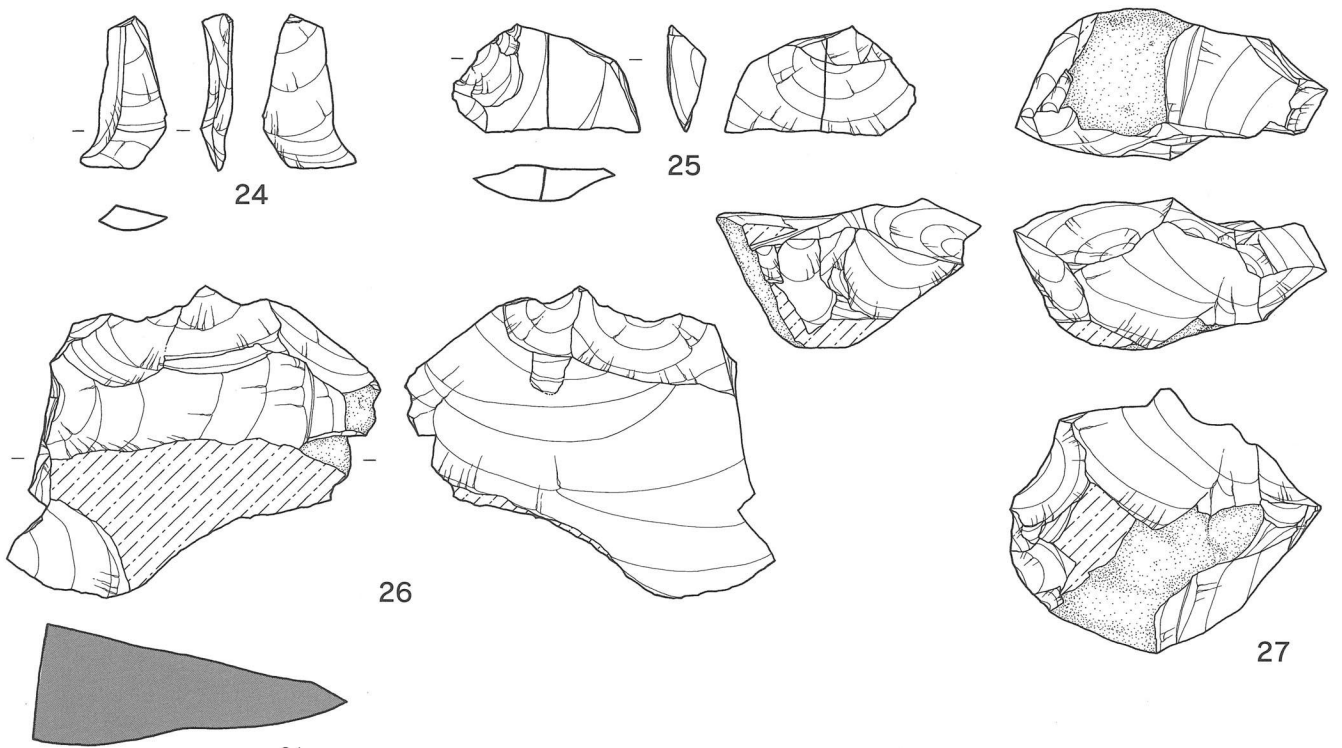
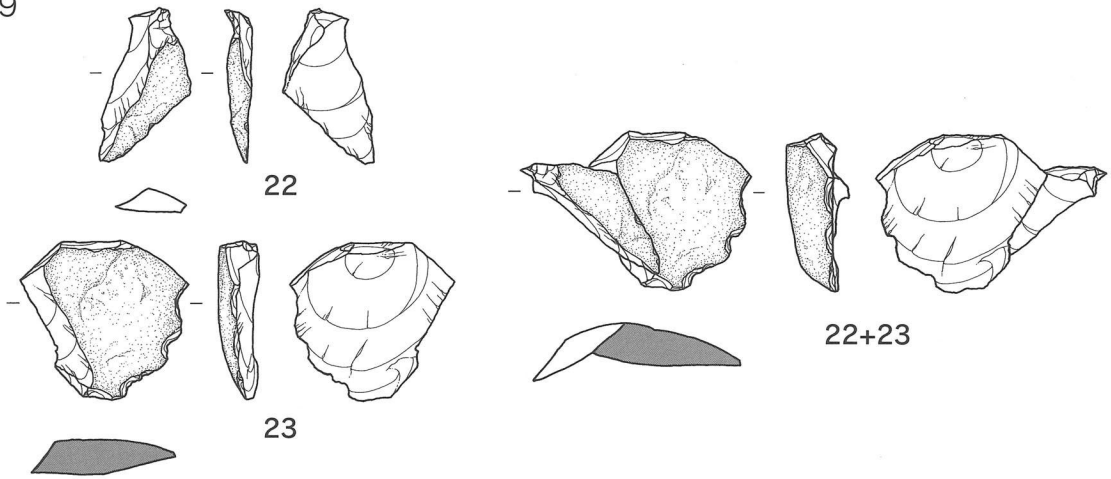


第12図 上ノ迫遺跡石器実測図1 (流紋岩 f)



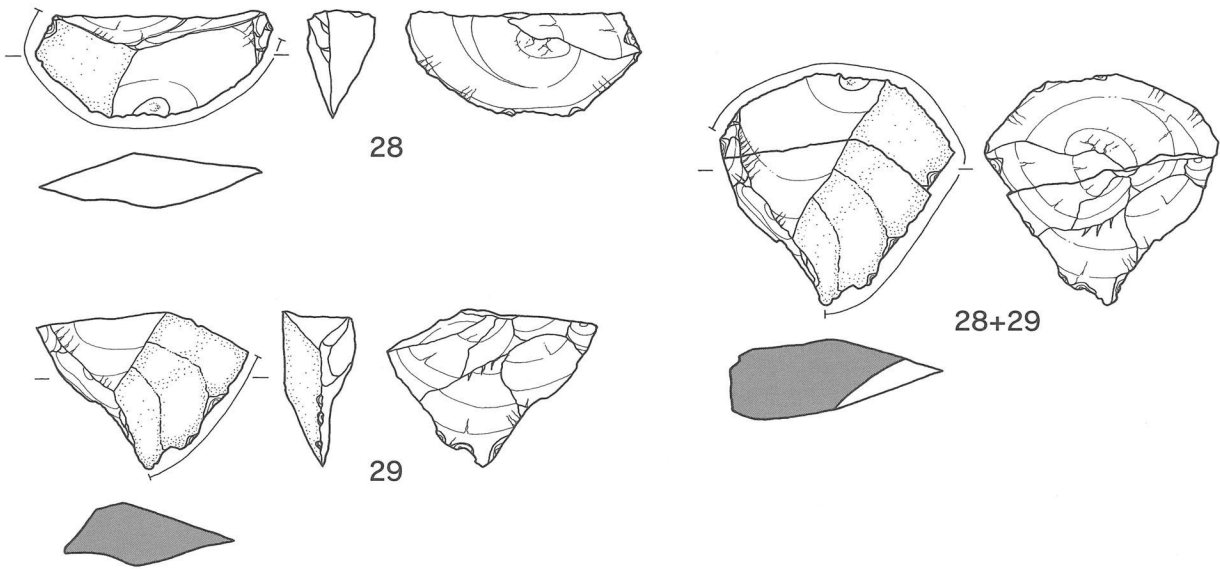
第13図 上ノ迫遺跡石器実測図2 (流紋岩 f)

接合19

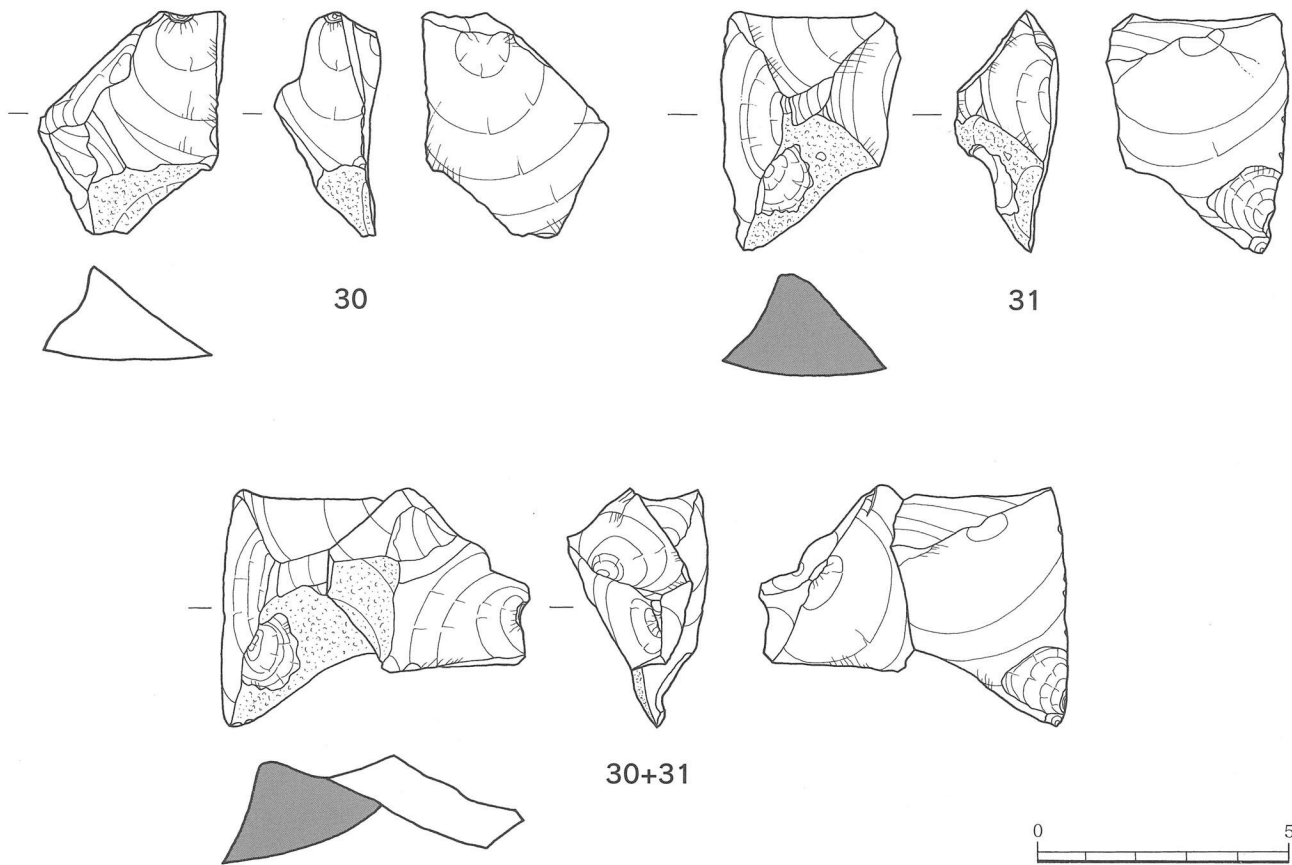


第14図 上ノ迫遺跡石器実測図3 (流紋岩 f)

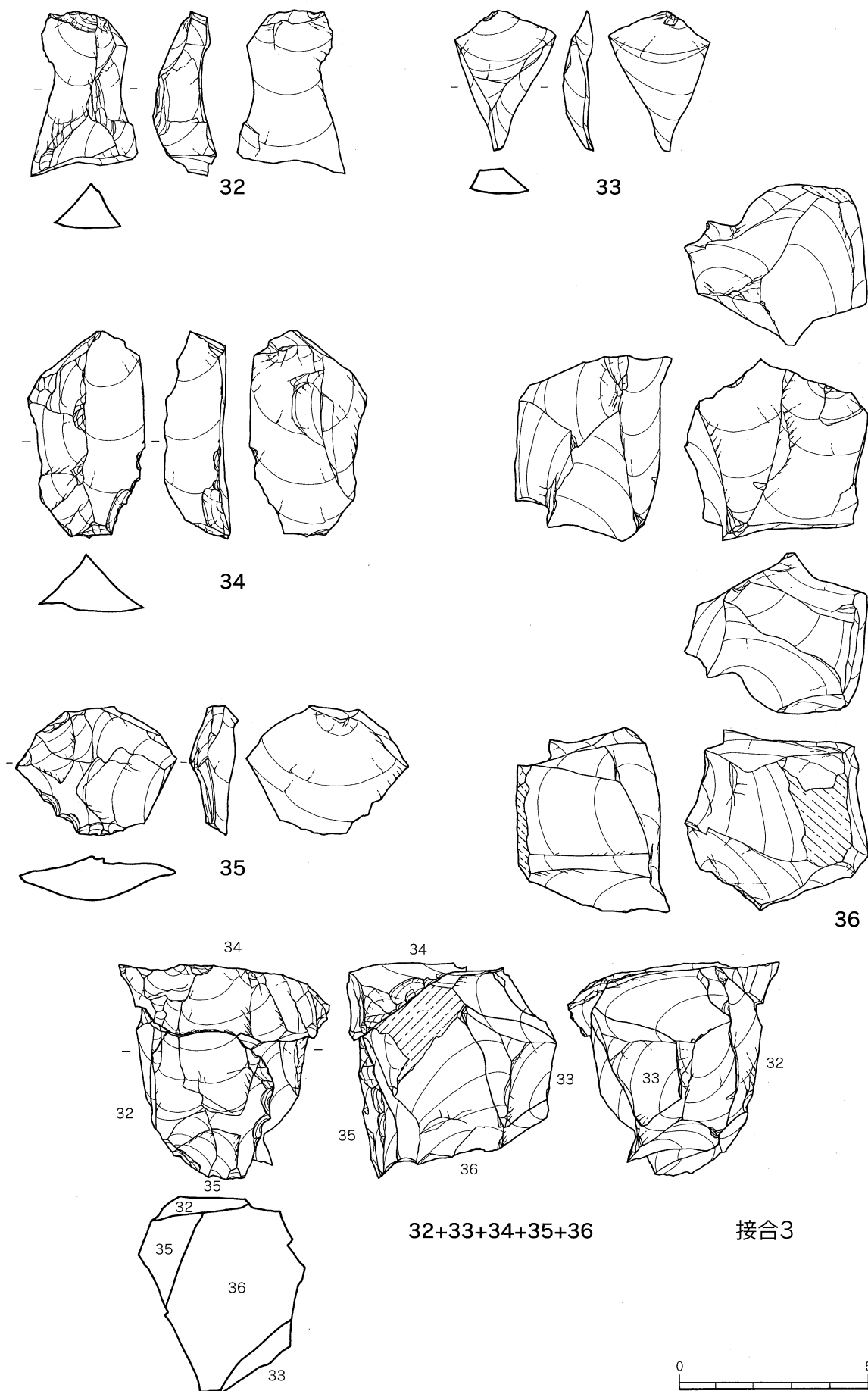
接合21



接合13

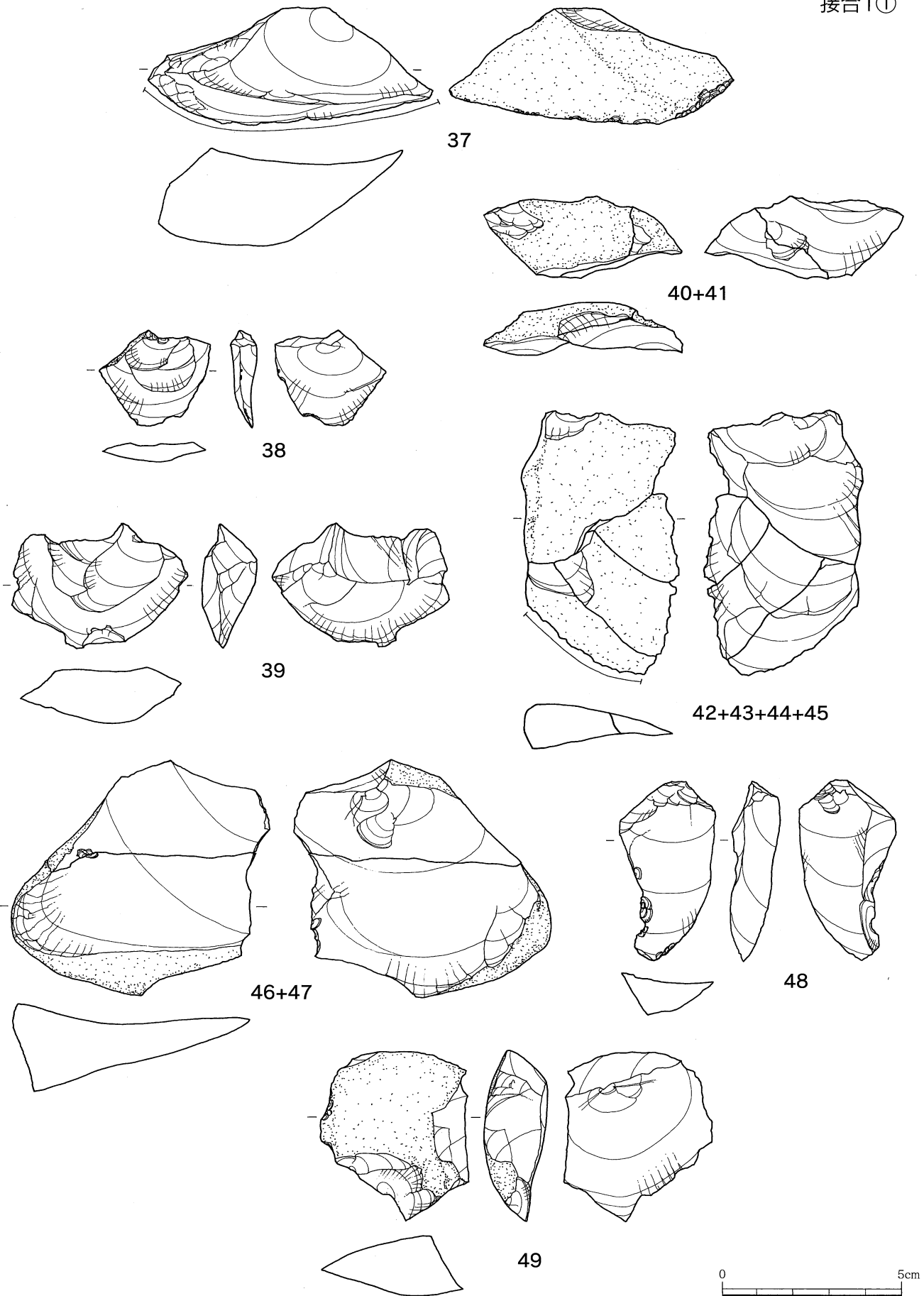


第15図 上ノ迫遺跡石器実測図4 (流紋岩 f)

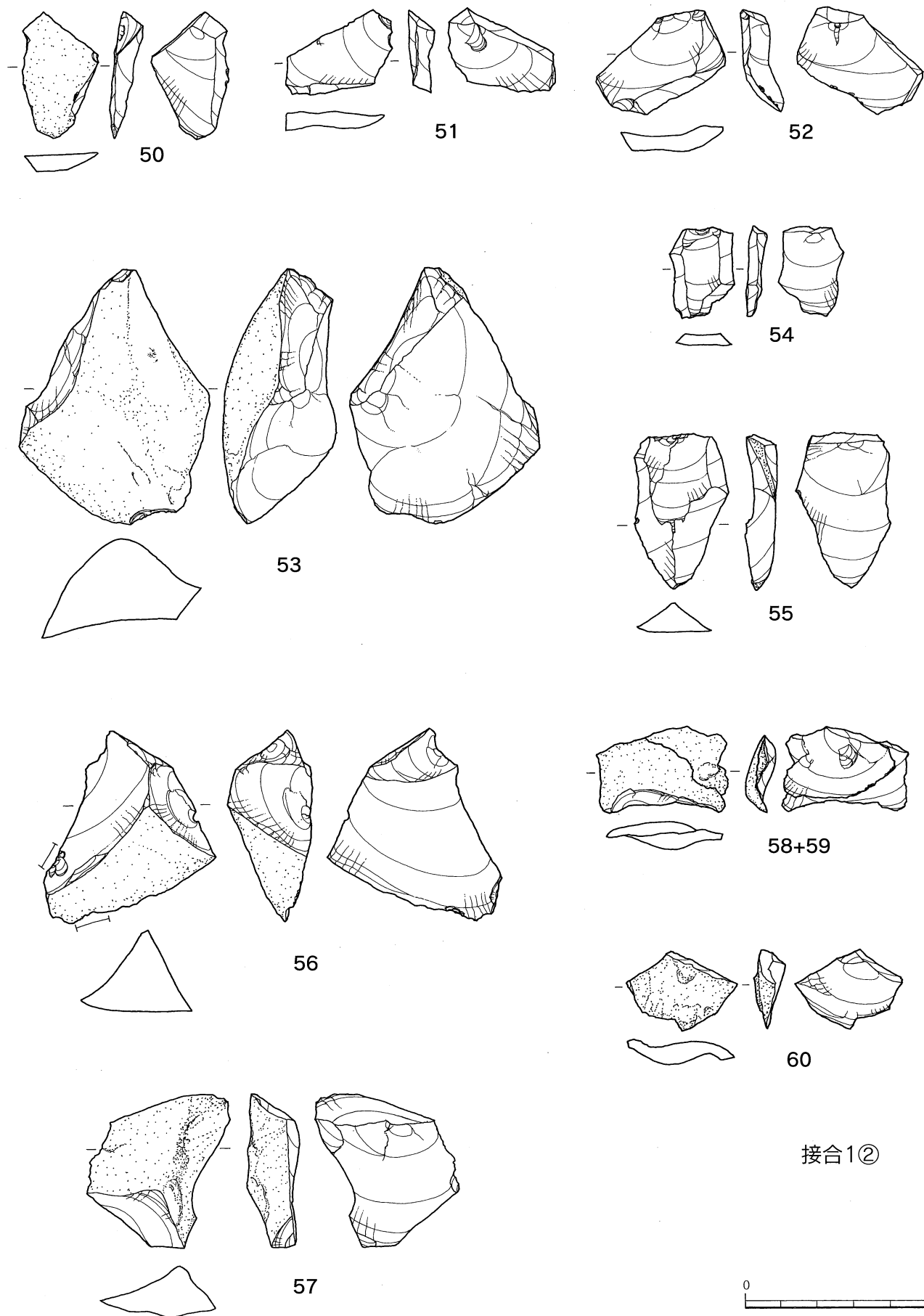


第16図 上ノ迫遺跡石器実測図5 (流紋岩 f)

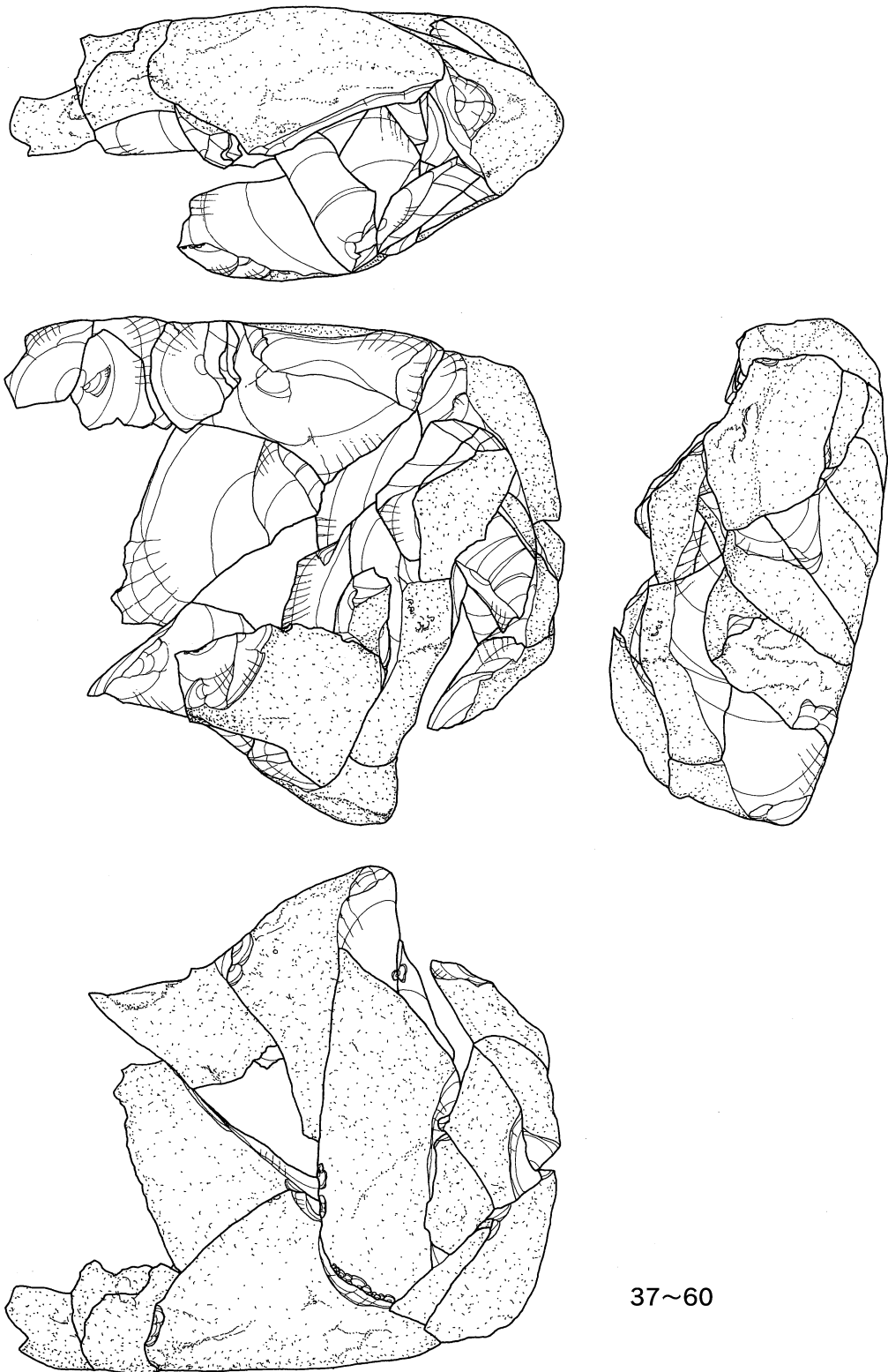
接合1①



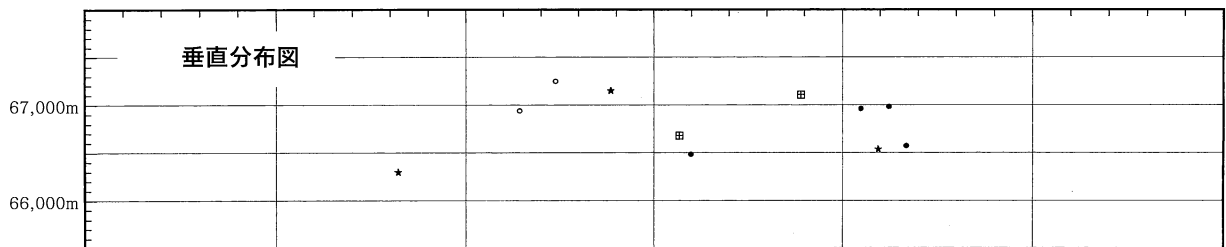
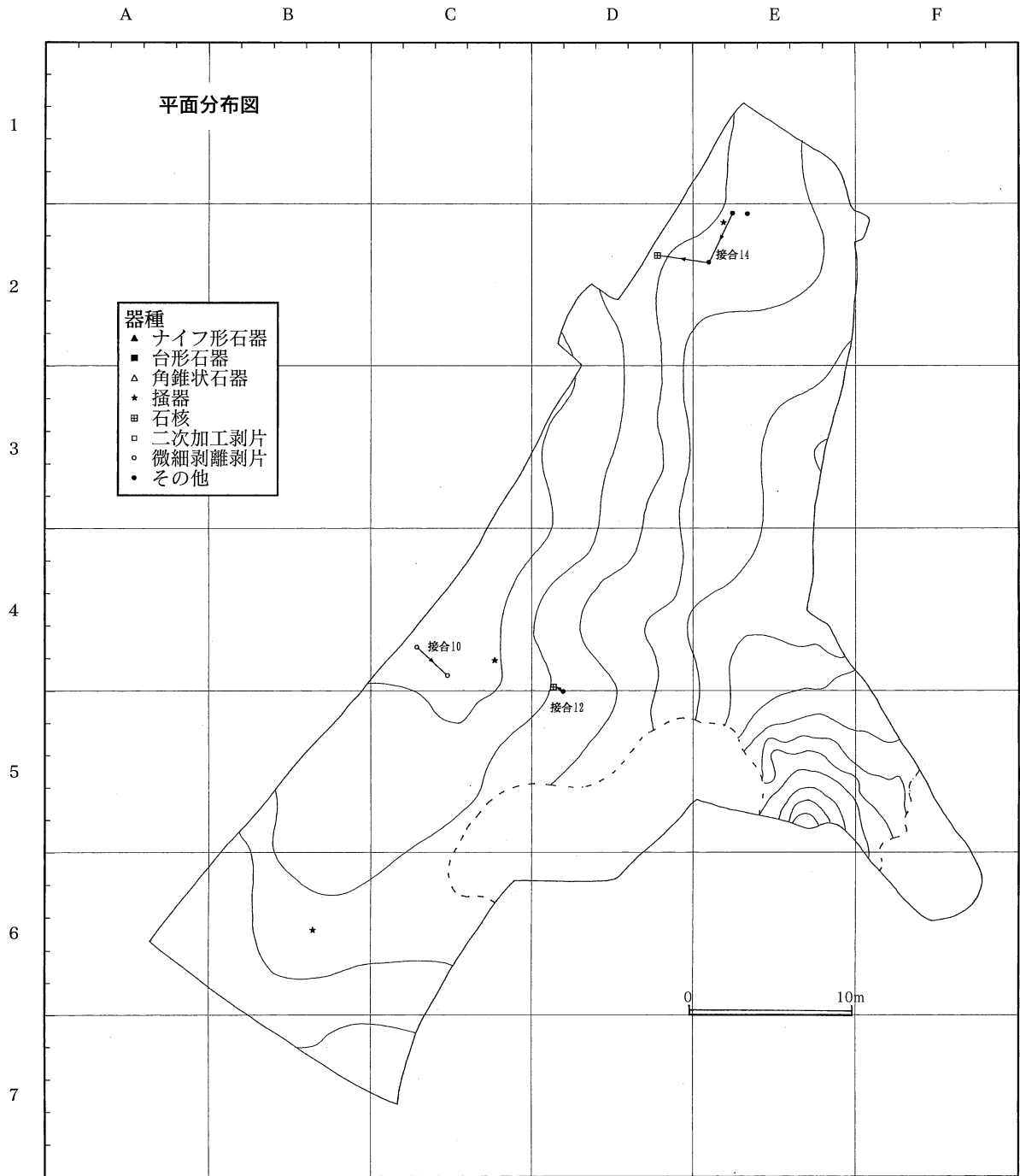
第17図 上ノ迫遺跡石器実測図6(流紋岩 f)



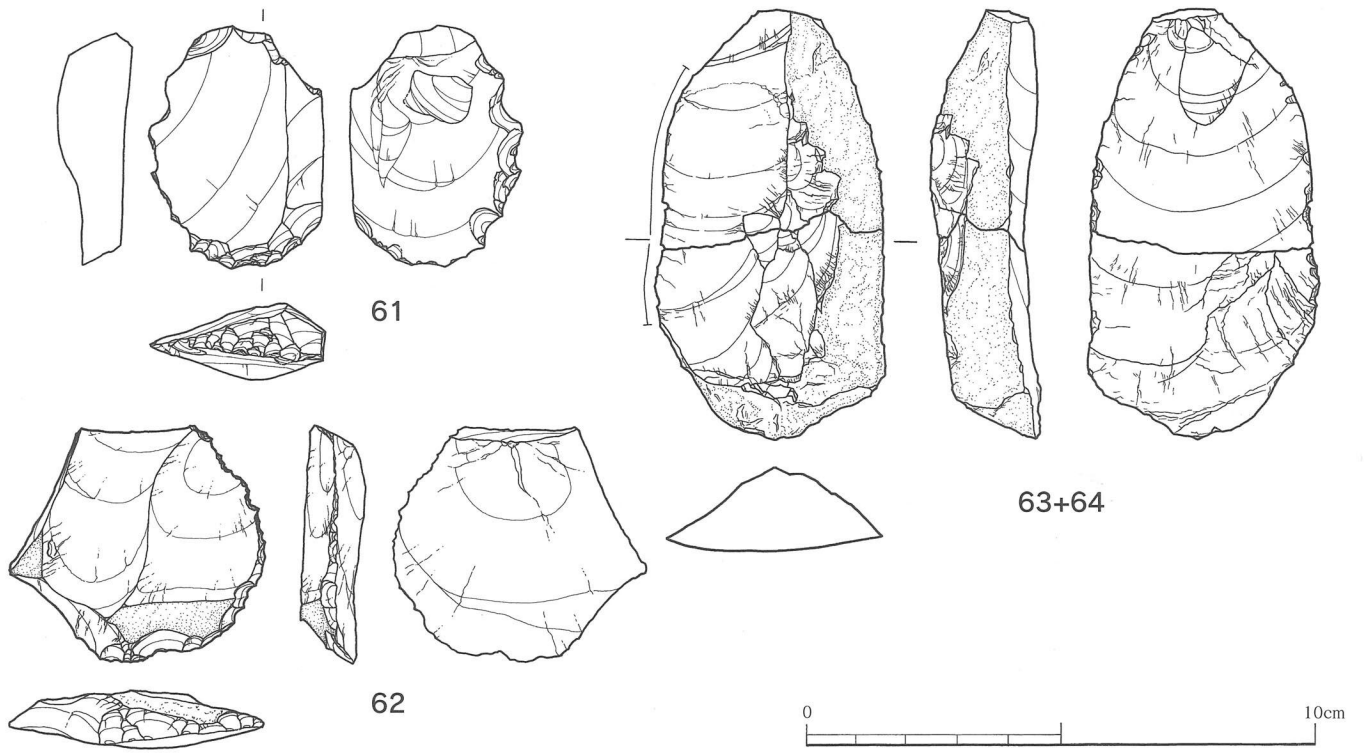
第18図 上ノ迫遺跡石器実測図7 (流紋岩 f)



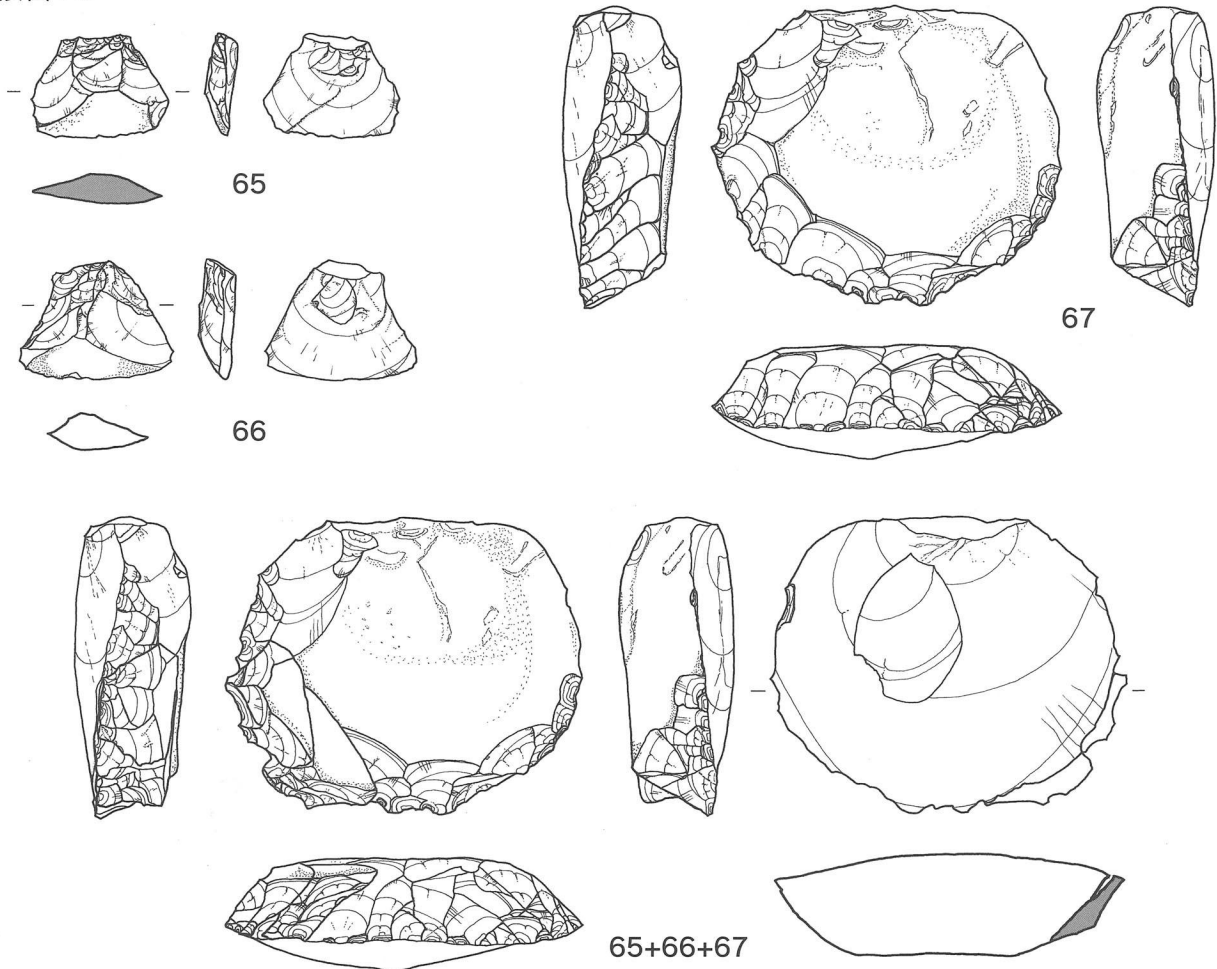
第19図 上ノ迫遺跡石器実測図8 (流紋岩 f)



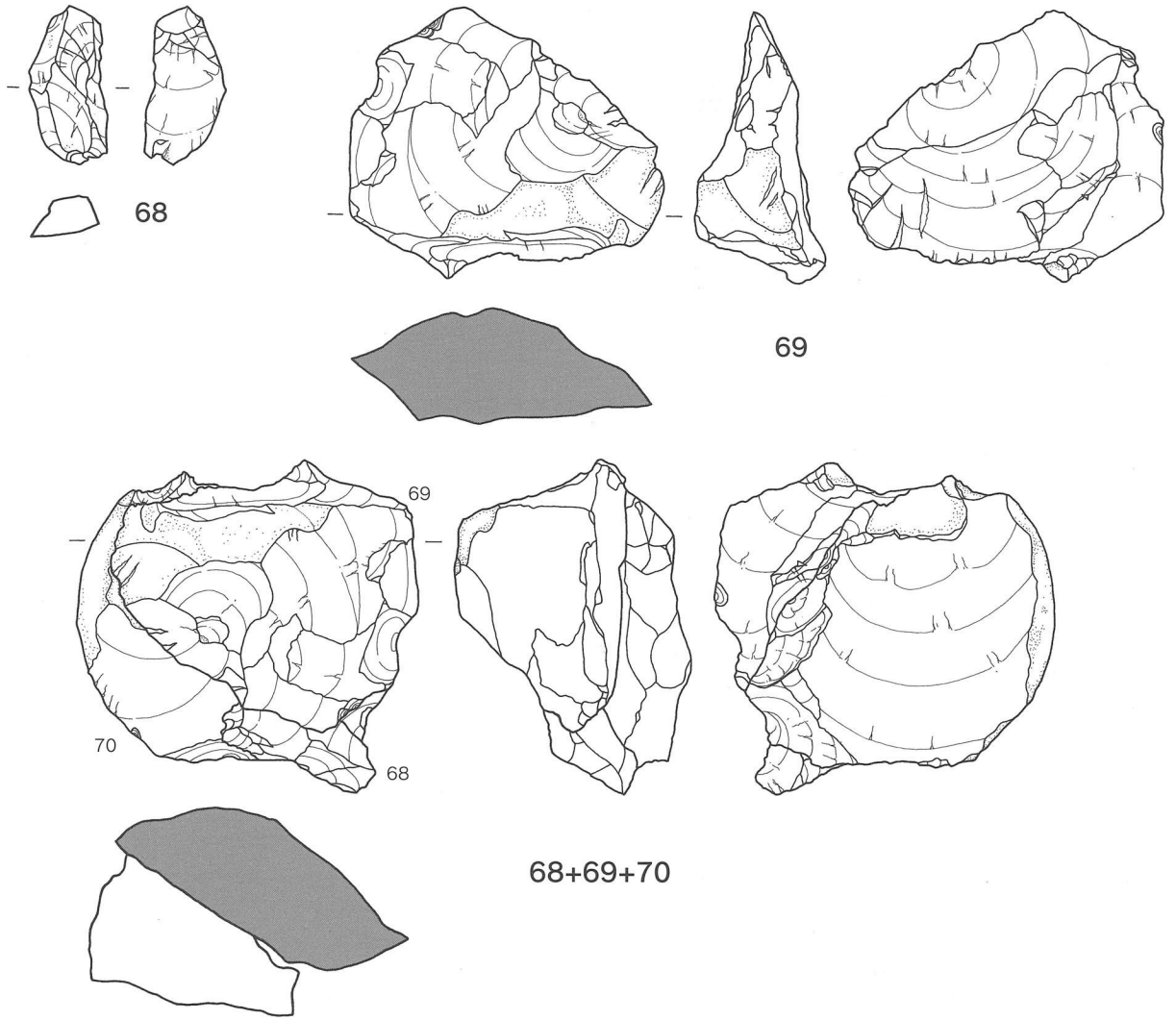
第20図 上ノ迫遺跡石器分布図3 (流紋岩 9)



接合10

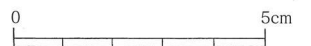
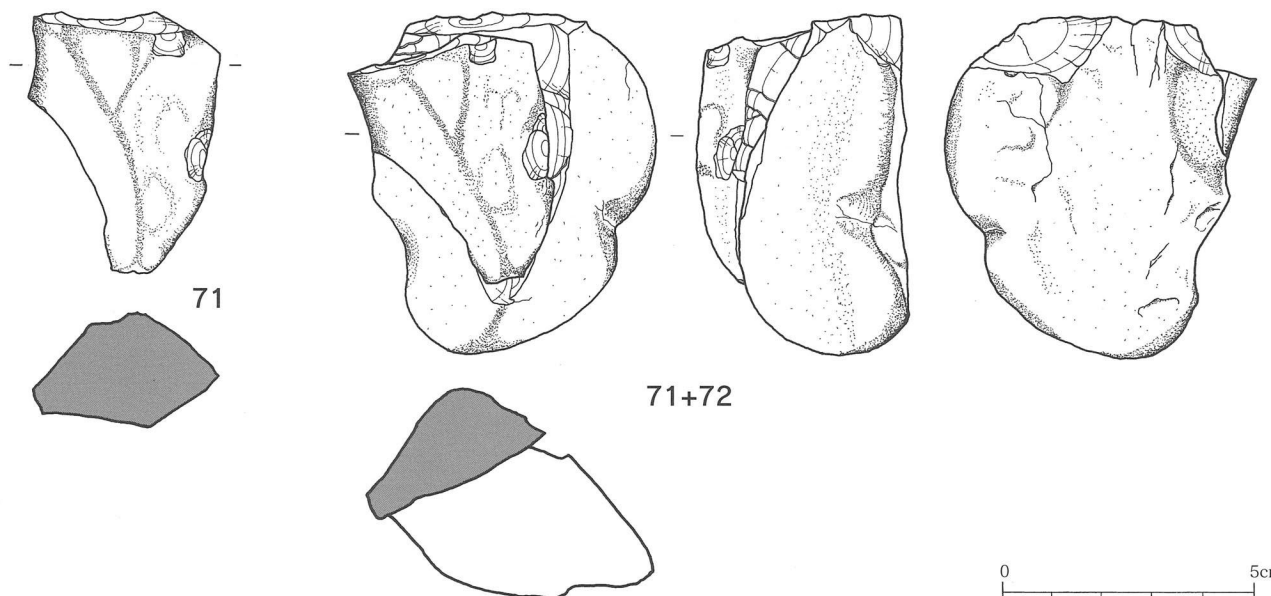


第21图 上ノ迫遺跡石器実測図9 (流紋岩 9)

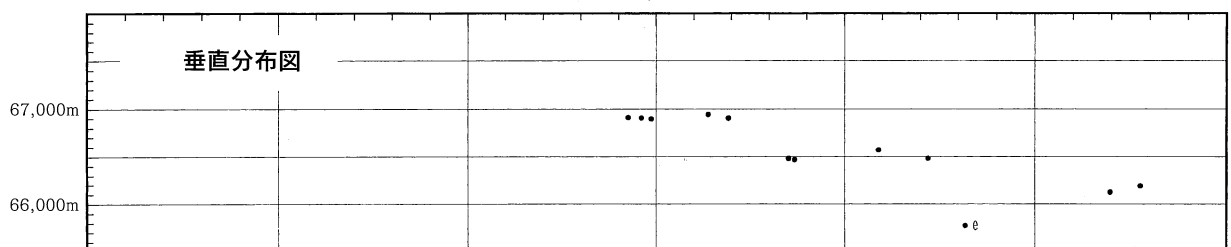
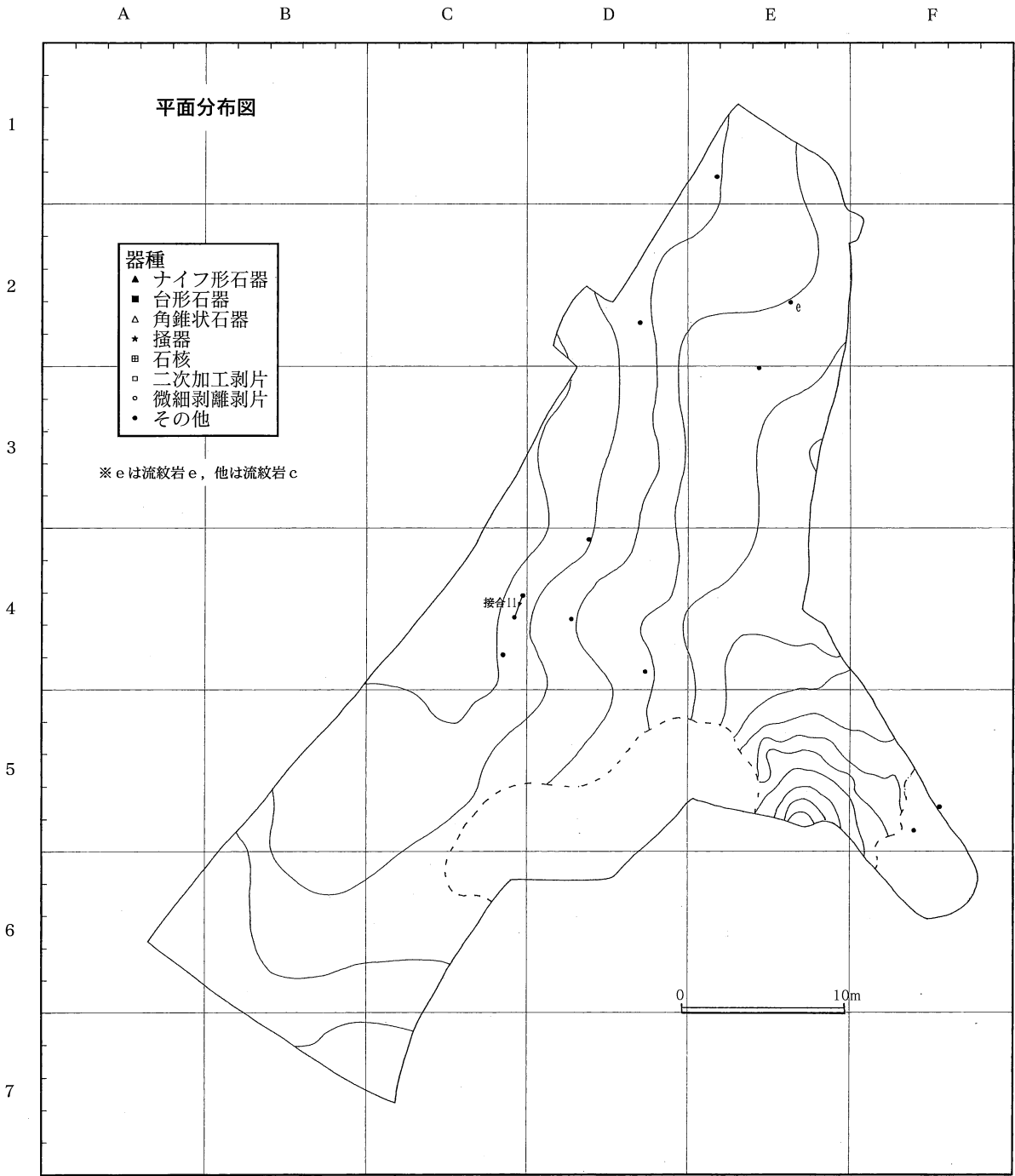


接合14

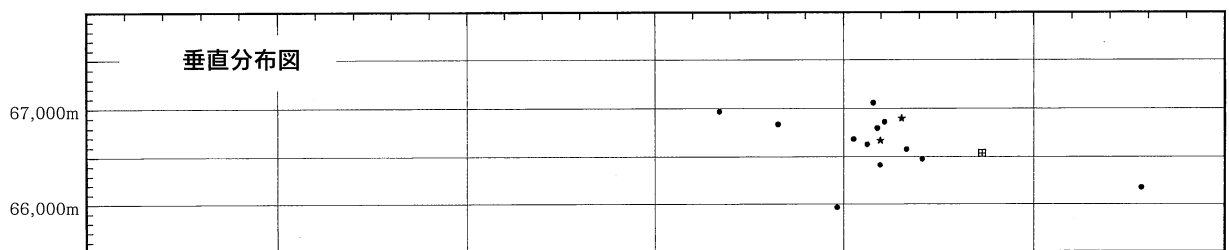
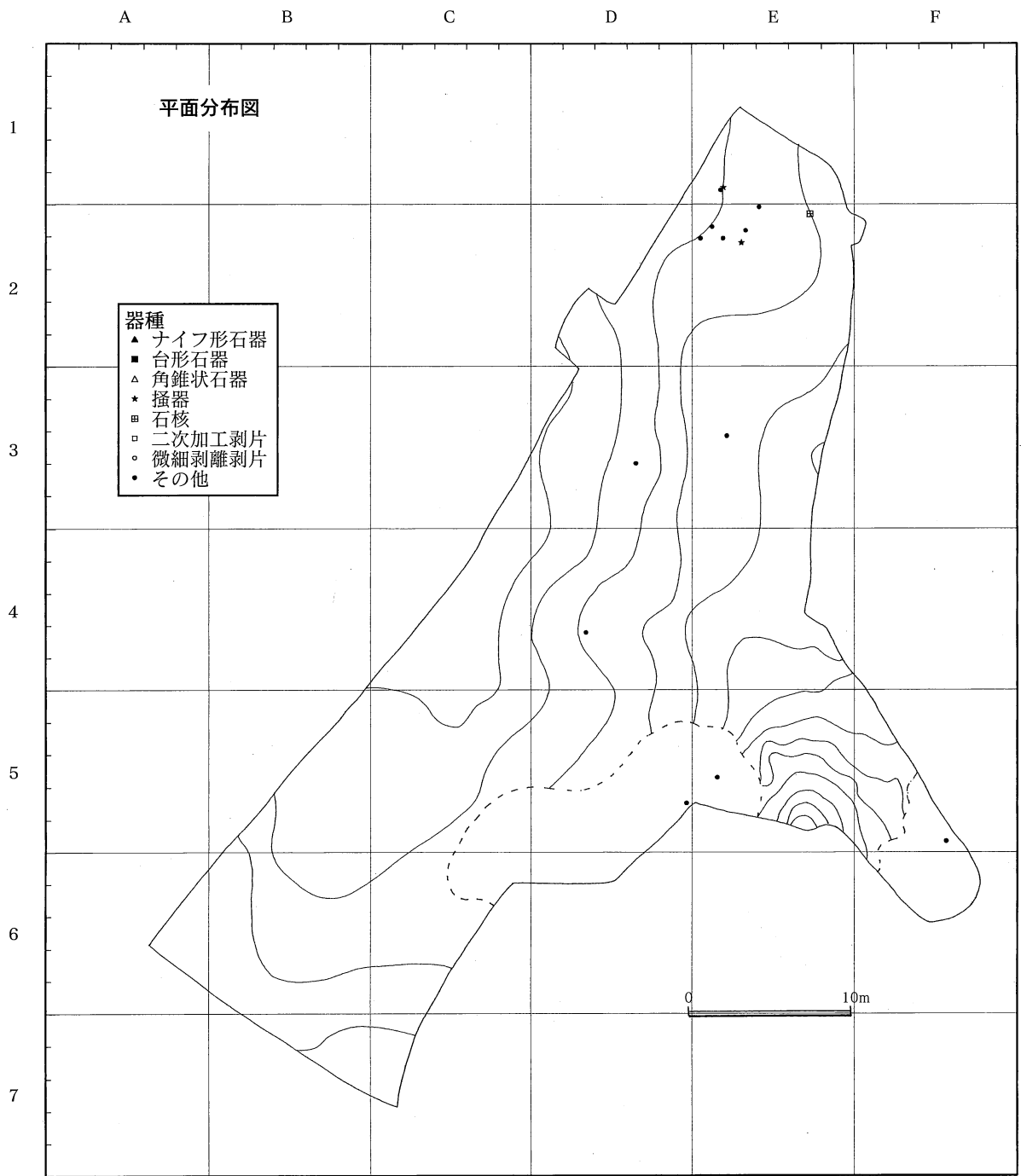
接合12



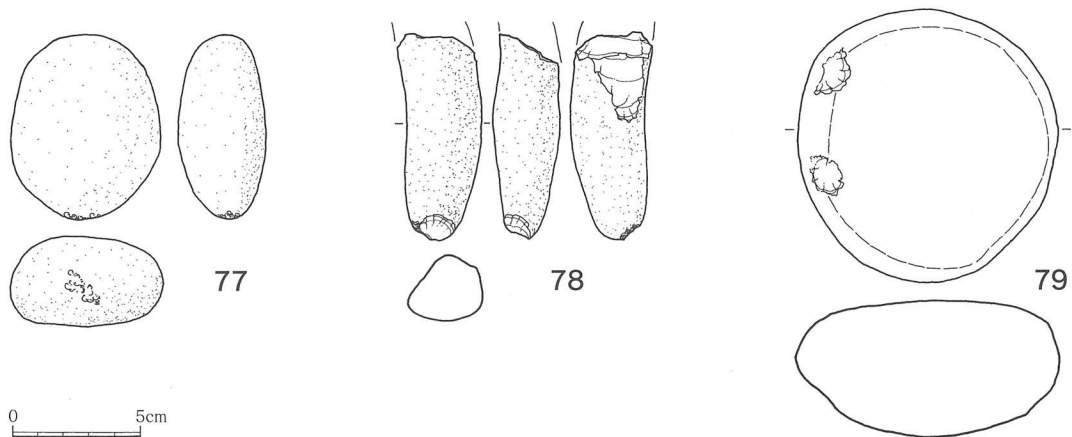
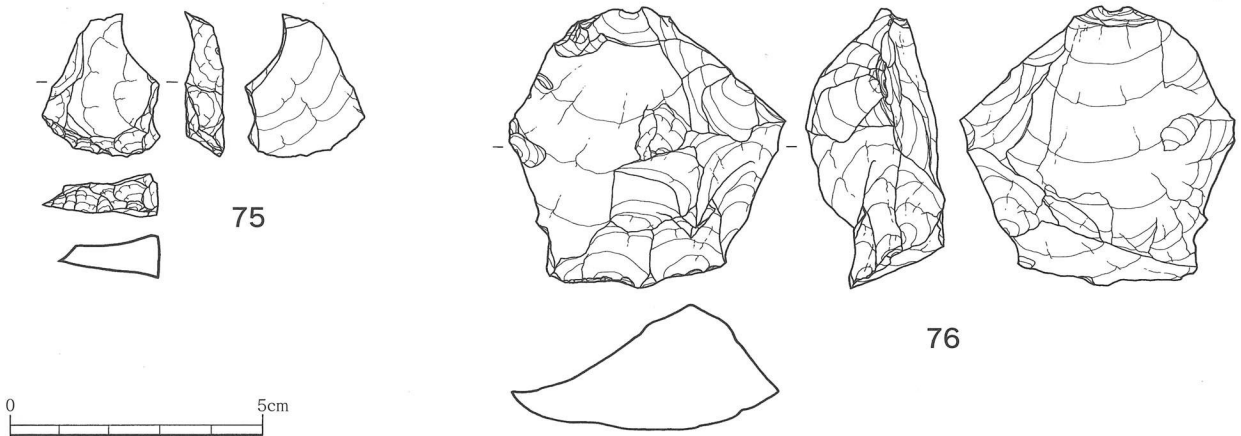
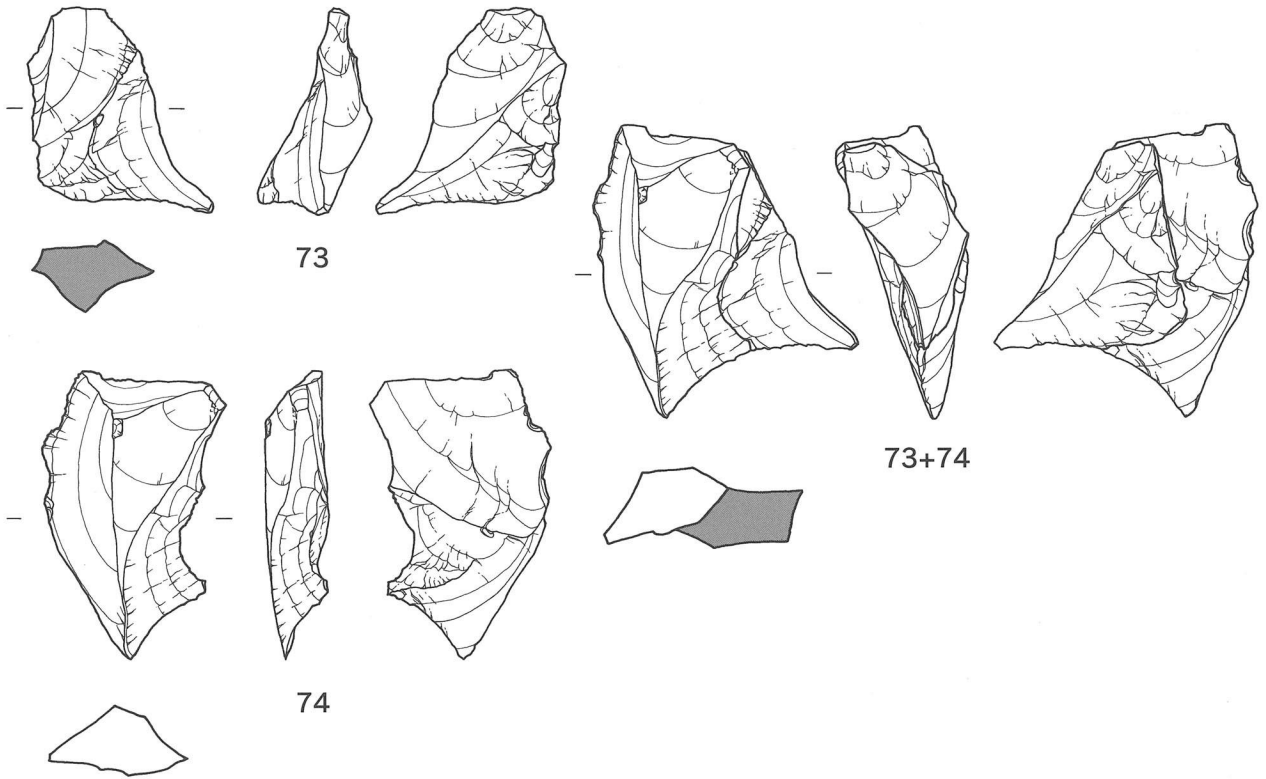
第22図 上ノ迫遺跡石器実測図10 (流紋岩 9)



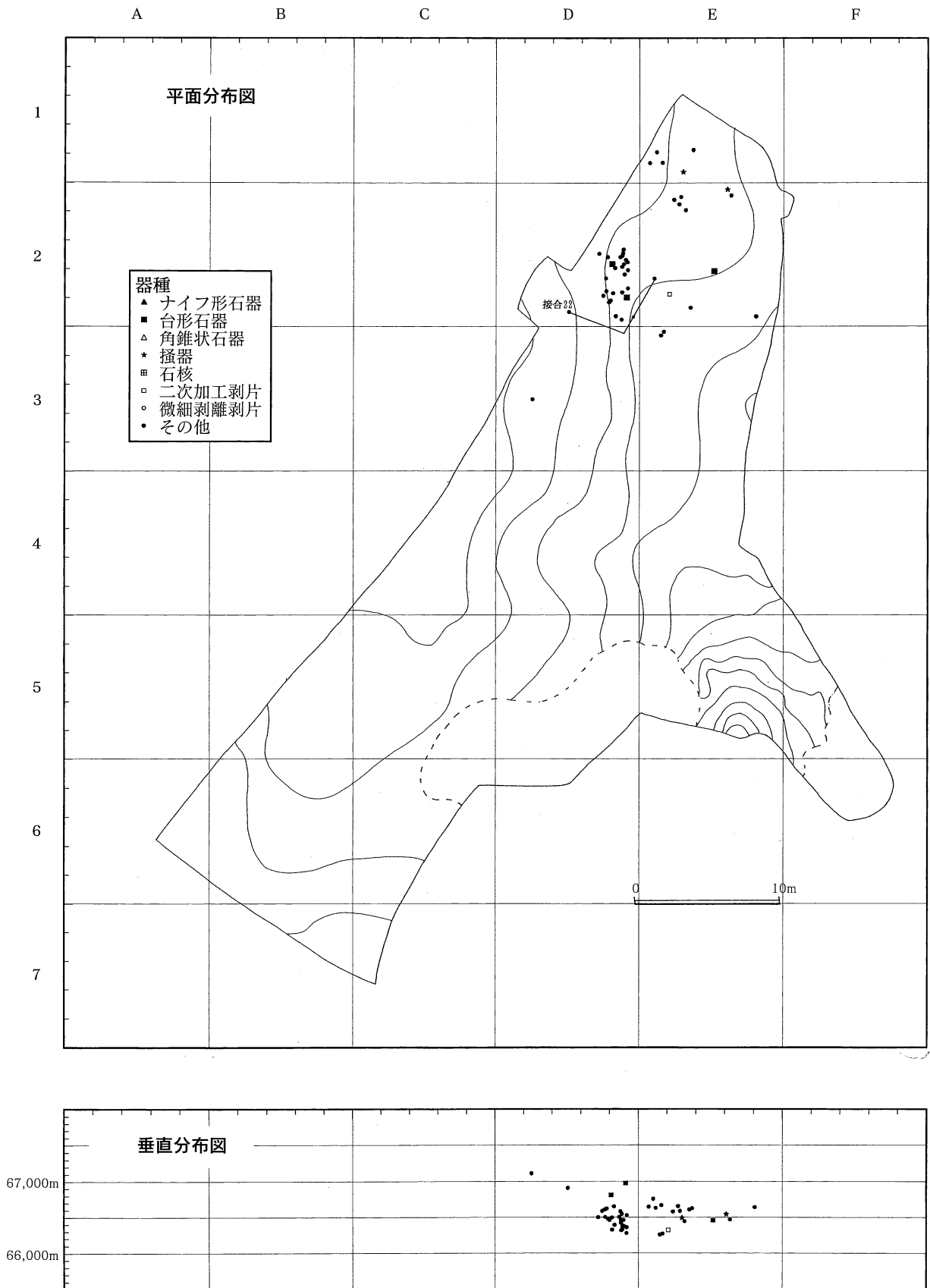
第23図 上ノ迫遺跡石器分布図4 (流紋岩 c・e)



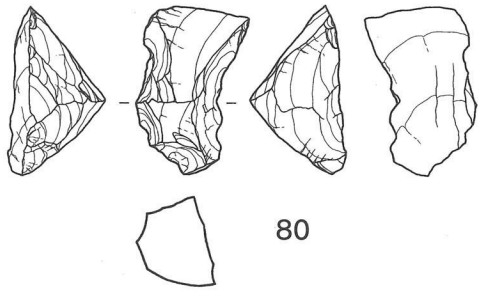
第24図 上ノ迫遺跡石器分布図5 (チャート)



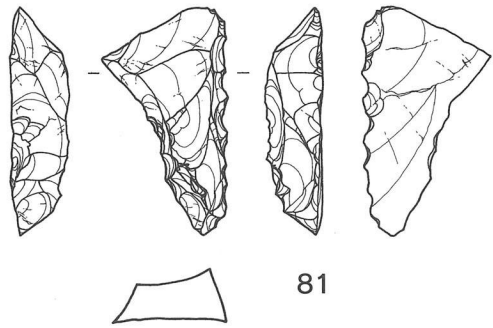
第25図 上ノ迫遺跡石器実測図11 (流紋岩c、チャート、敲石類)



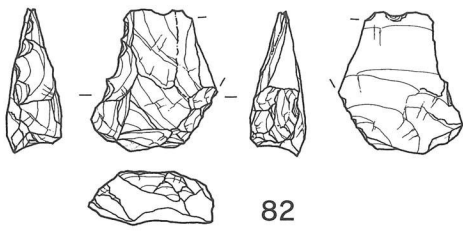
第26図 上ノ迫遺跡石器分布図6 (流紋岩 a)



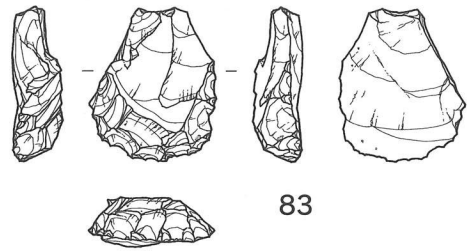
80



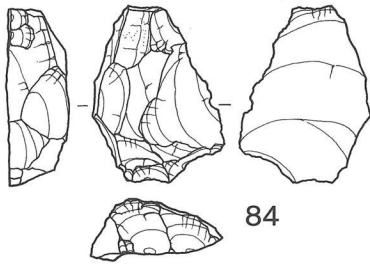
81



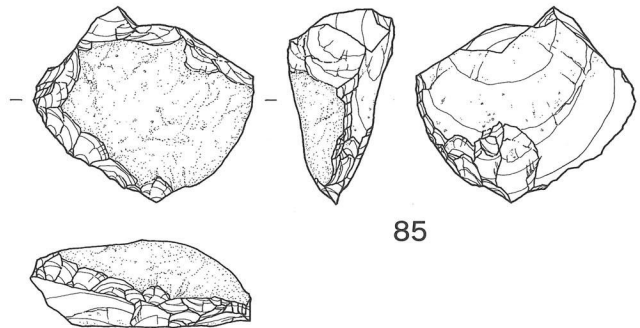
82



83

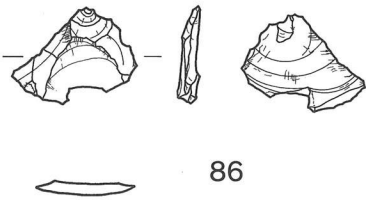


84

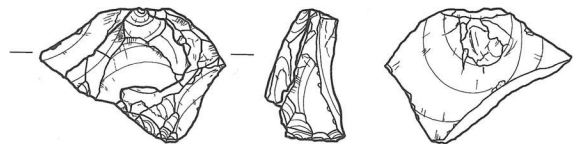


85

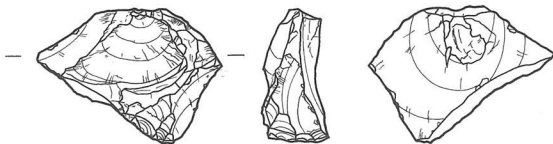
接合22



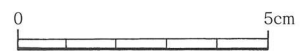
86



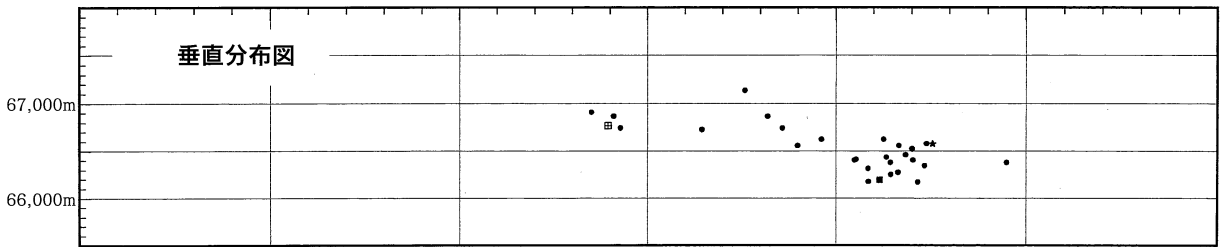
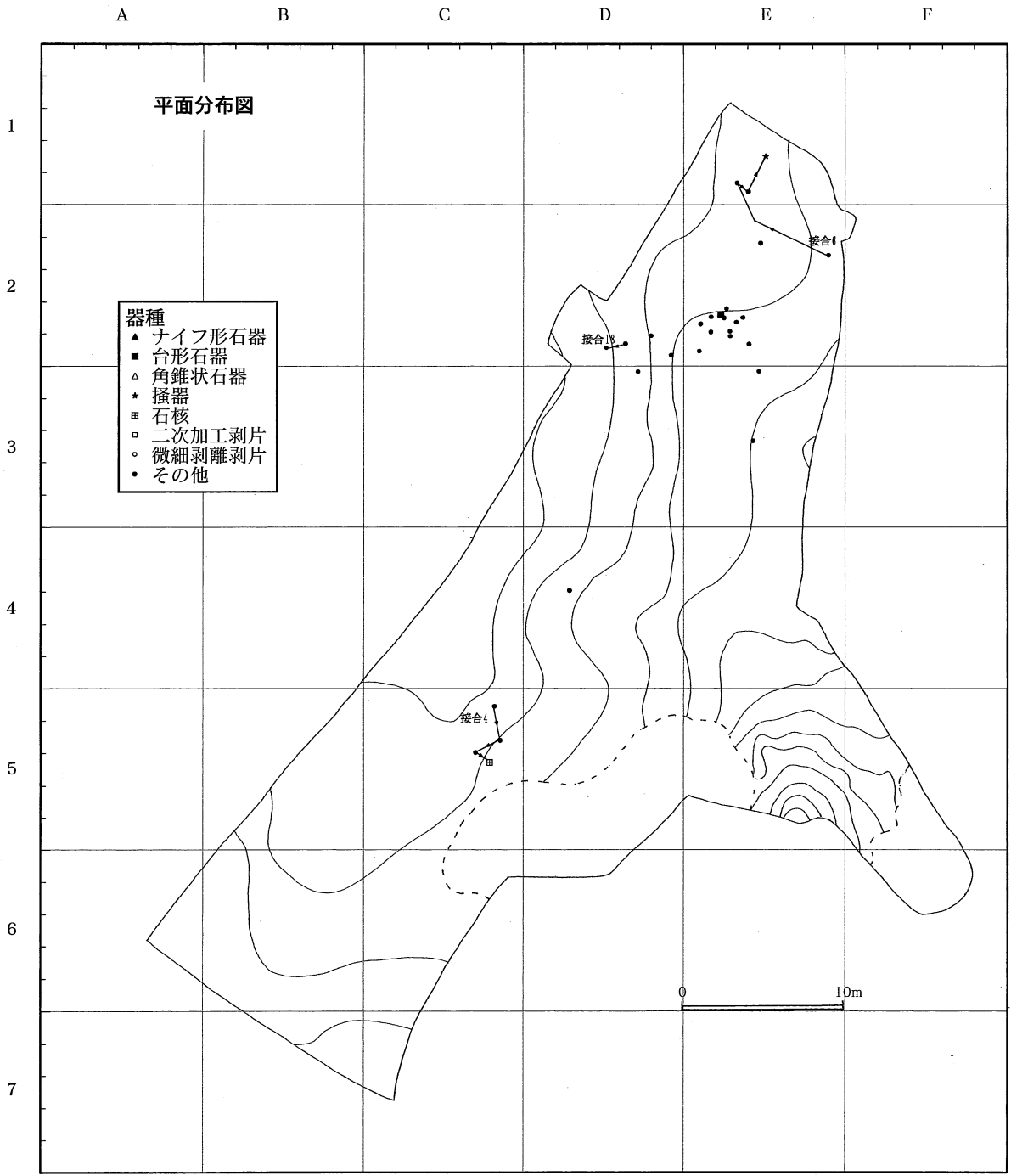
86+87



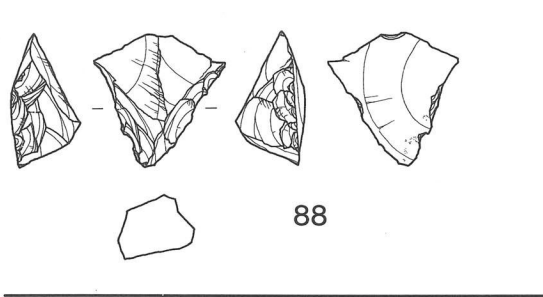
87



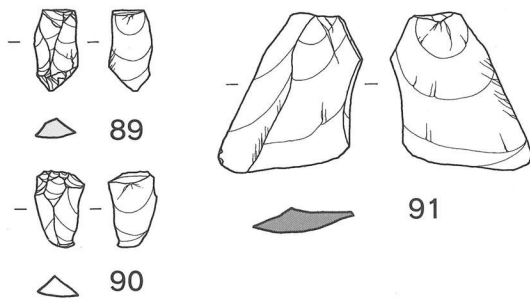
第27図 上ノ迫遺跡石器実測図12 (流紋岩 a)



第28図 上ノ迫遺跡石器分布図7 (流紋岩 b)



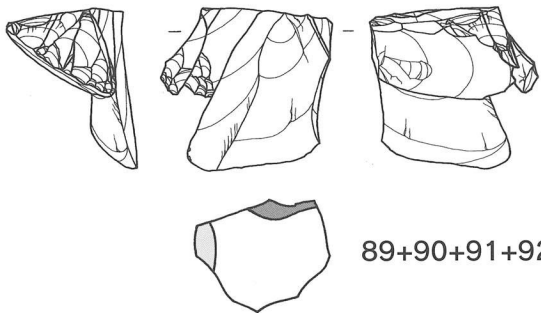
88



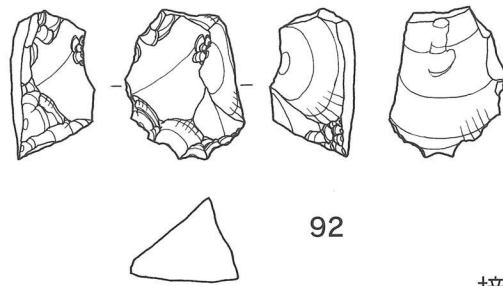
89

91

90

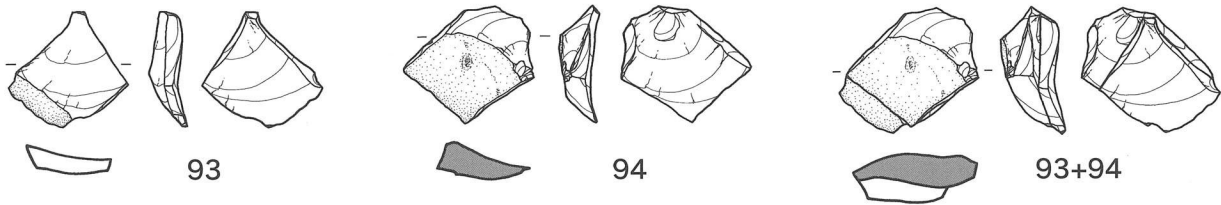


89+90+91+92



92

接合6



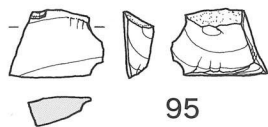
93

94

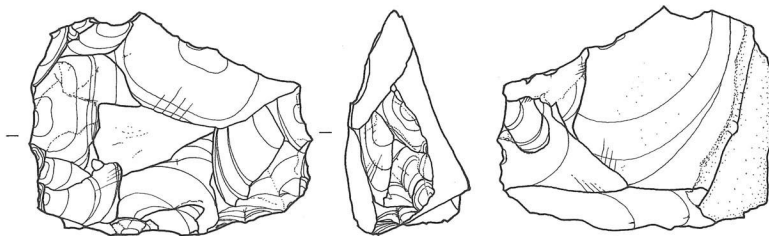
93+94

接合18

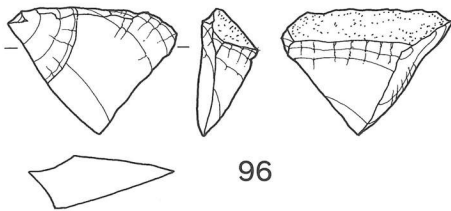
接合4



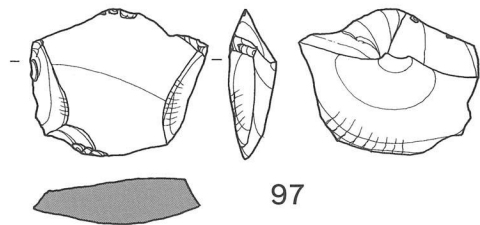
95



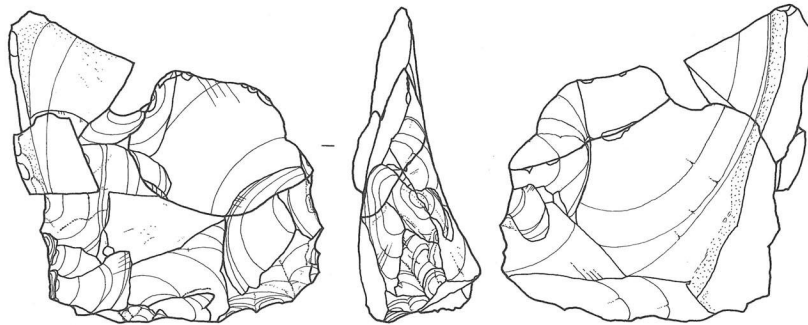
98



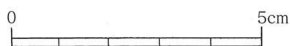
96



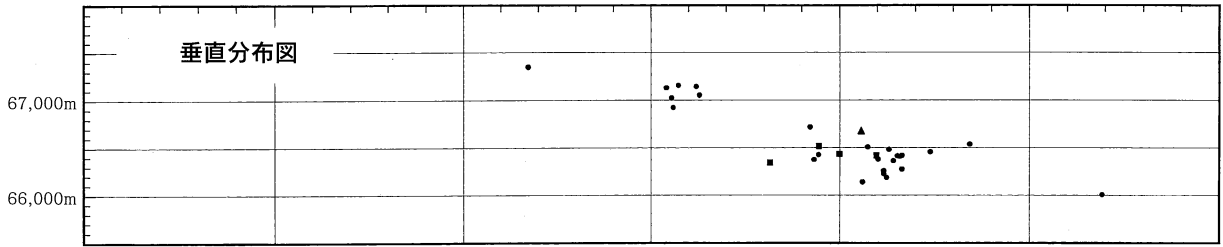
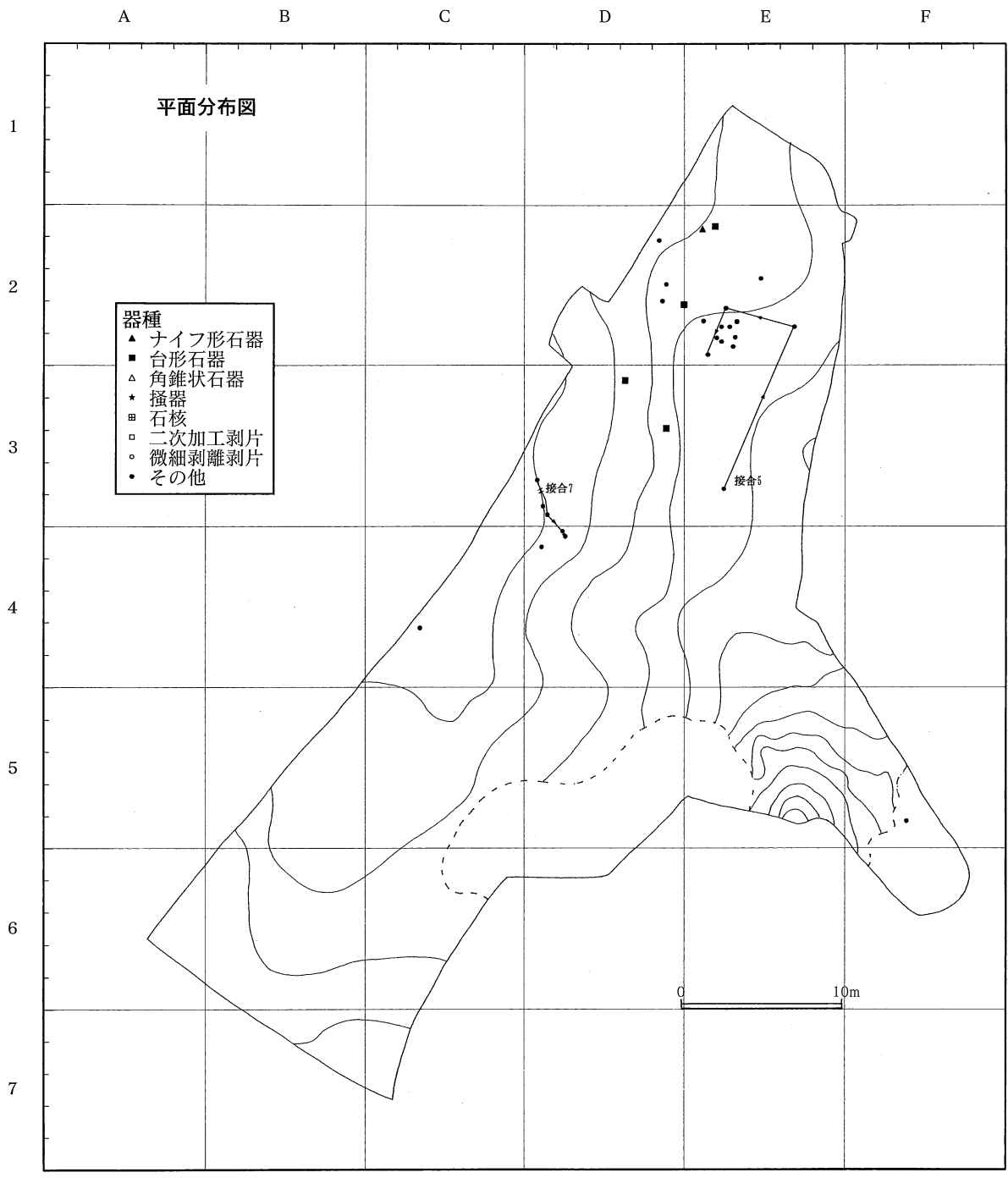
97



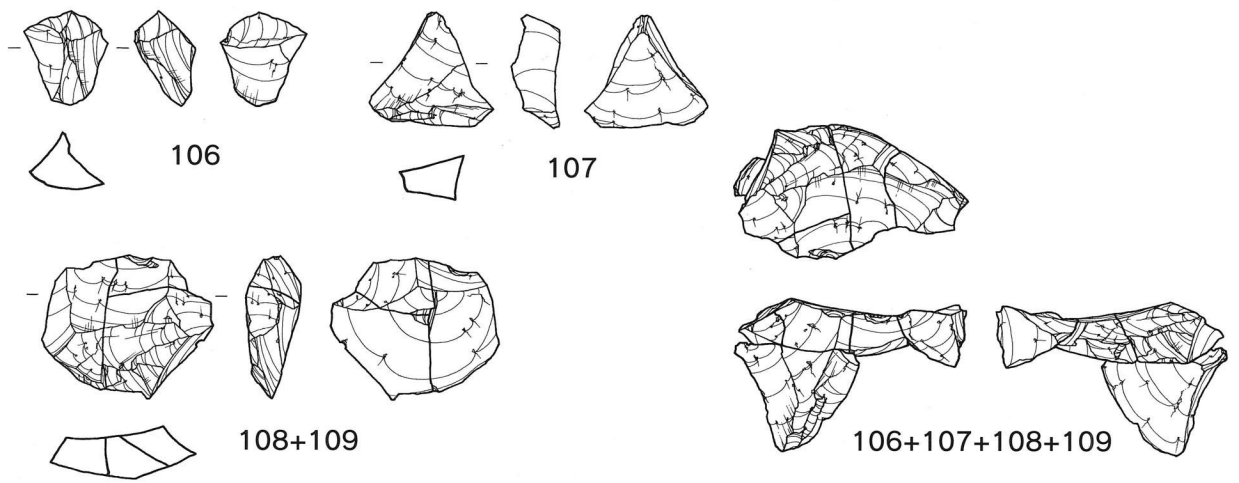
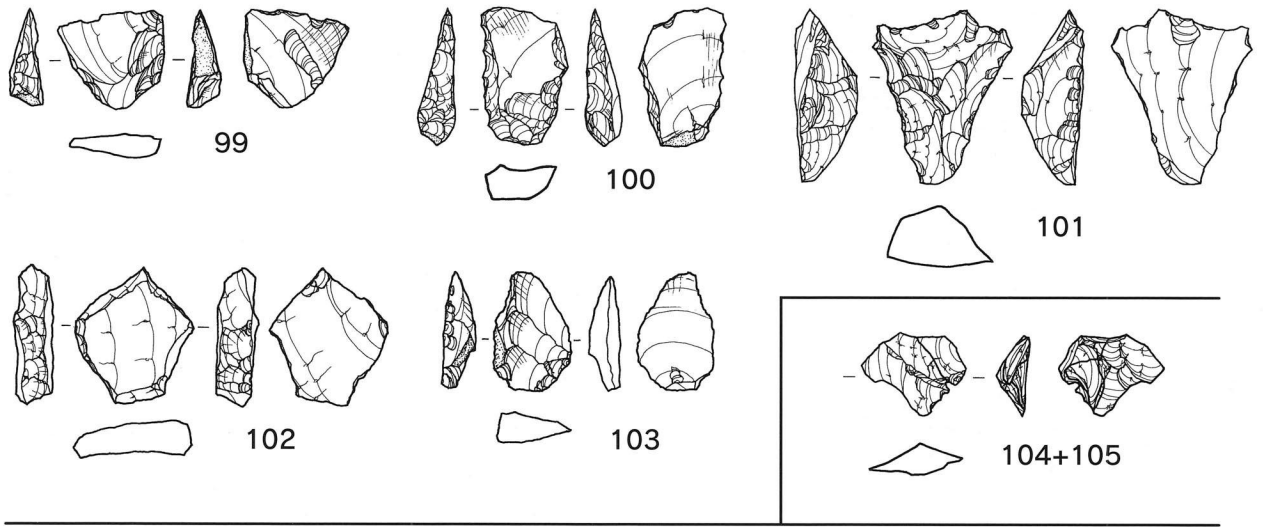
95+96+97+98



第29図 上ノ迫遺跡石器実測図13 (流紋岩 b)

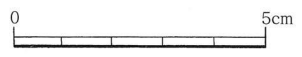
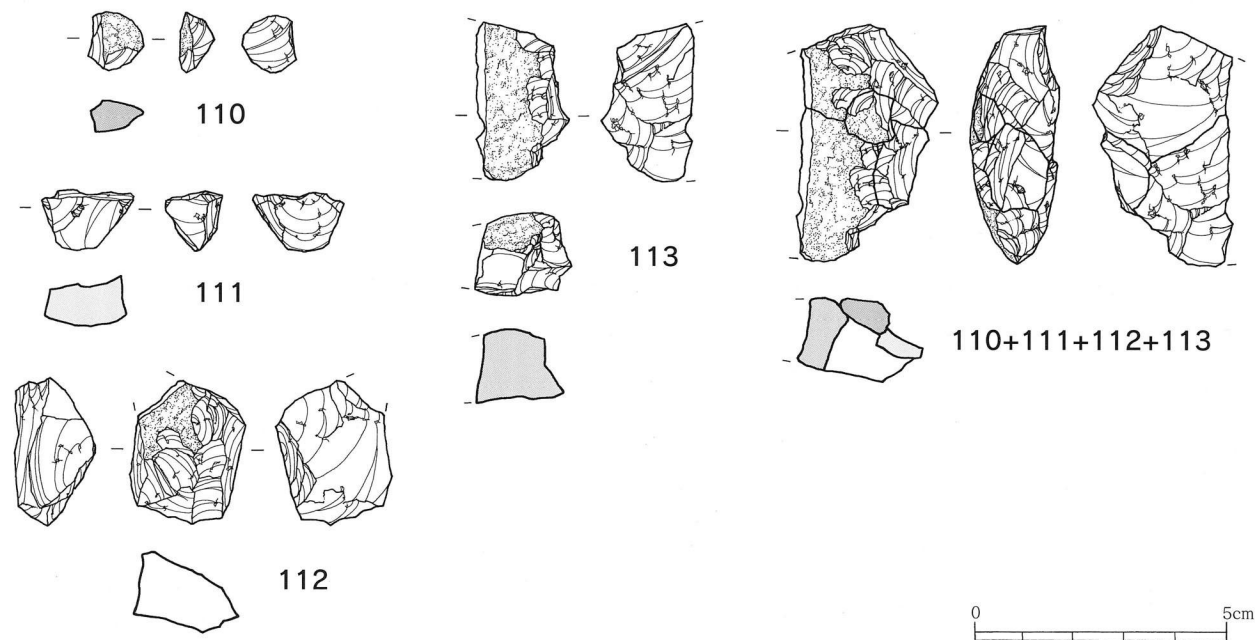


第30図 上ノ迫遺跡石器分布図8(黒曜石)

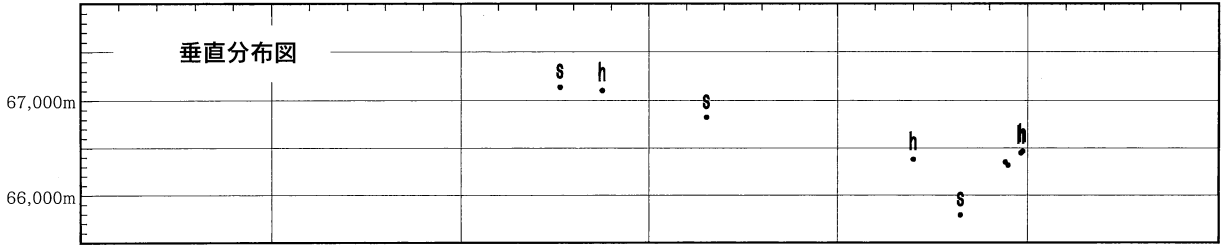
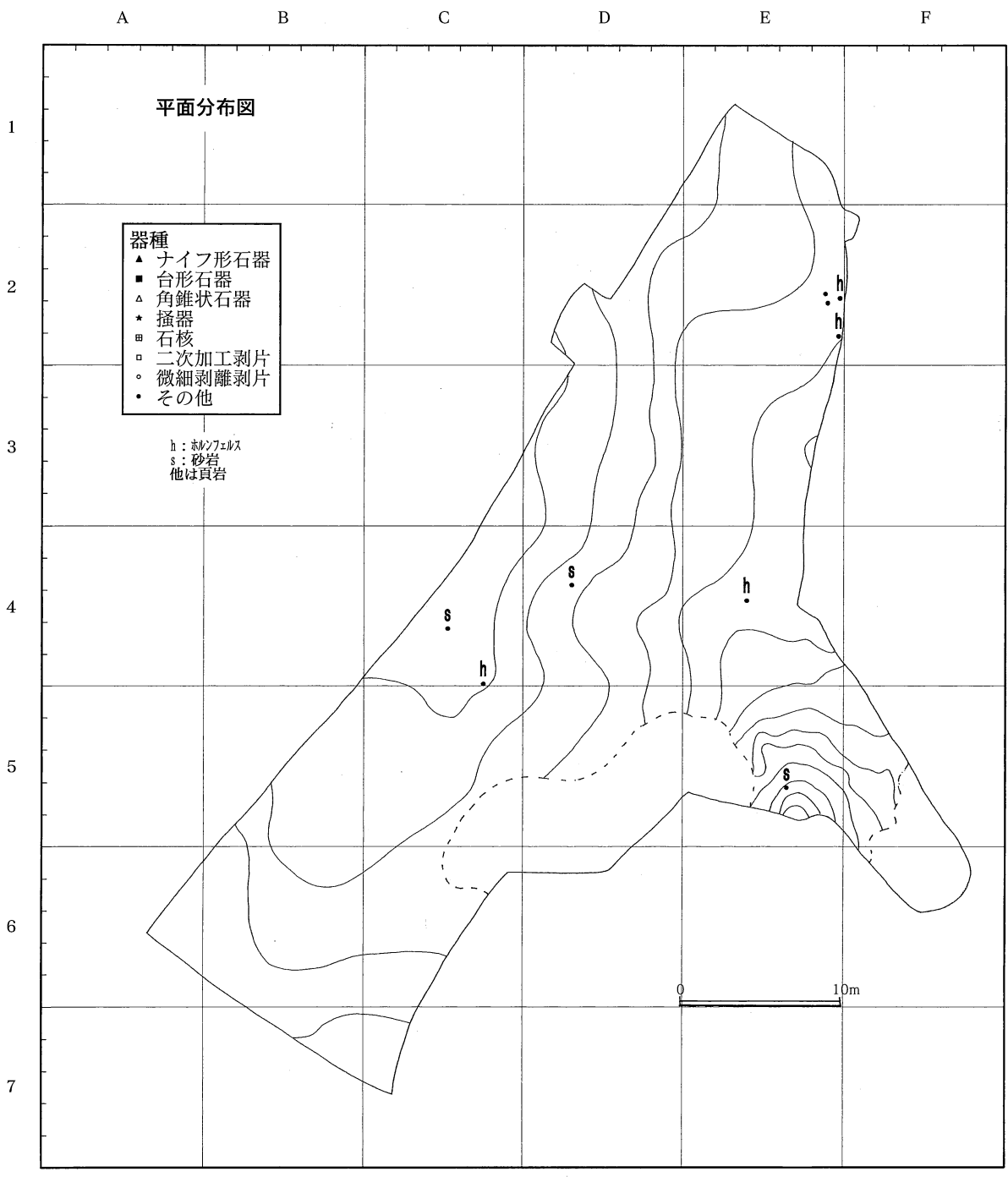


接合7

接合5



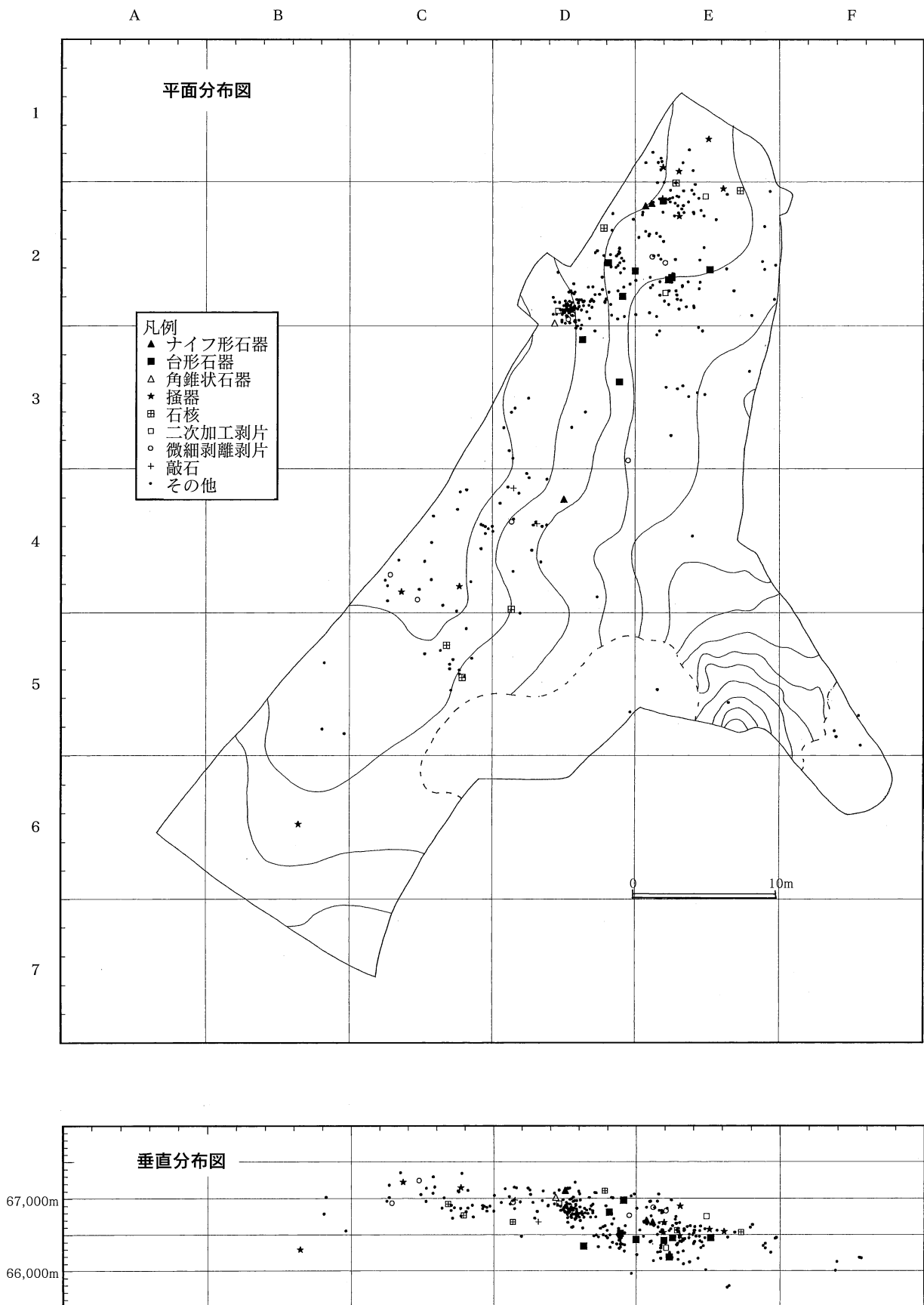
第31图 上ノ迫遺跡石器実測図14 (黒曜石)



第32図 上ノ迫遺跡石器分布図9 (ホルンフェルス、頁岩、砂岩)



第33図 上ノ迫遺跡石器分布図10 (石材別)



第34図 上ノ迫遺跡石器分布図11 (器種別)

第三章 上ノ迫遺跡の自然科学分析

上ノ迫遺跡の調査中に、土層の層序とテフラの層相の記録、2号集石中に含まれていた炭化物を用いた年代測定を実施した。分析は、(株)古環境研究所に依頼し、以下の結果報告を受けた。この掲載にあたって、原文を一部改変しているが、内容の変更は一切ない。

第1節 上ノ迫遺跡の土層とテフラ

佐土原町上ノ迫遺跡の発掘調査では、遺跡の位置する台地上に形成されたいわゆる火山灰土とテフラの良好な土層断面が認められた。そこで本遺跡において地質調査を行ない、土層の層序とテフラの層相を記載することになった。調査分析の対象とした地点は、T-1およびT-6の2地点である。

(1) T-1

上ノ迫遺跡の基本的な土層断面を観察できたこの地点では、下位より黒褐色土（層厚11cm以上）、成層したテフラ層（層厚67cm、5層）、灰色がかった暗褐色砂質土（層厚24cm、4層）、褐色土（層厚33cm、3b層）、黄色軽石混じり黒褐色土（層厚21cm、軽石の最大径6mm、3a層）、褐色土（層厚9cm、2層）、褐色土（層厚86cm、1層）が認められる。

このうち、成層したテフラ層は、下位より淘汰の良い黄色粗粒火山灰層（層厚7cm）、黄橙色粗粒火山灰層（層厚6cm）、橙色軽石層（層厚10cm、軽石の最大径5mm）、粗粒火山灰を多く含む橙色軽石層（層厚6cm）、黄橙色軽石層（層厚3cm、軽石の最大径5mm）、灰白色粗粒火山灰層（層厚1cm）、比較的淘汰の良くない黄橙色粗粒火山灰層（層厚34cm）の連続からなる。これらのうち、最上部の黄橙色火山灰層中には、径数cmのパイプ構造が認められる。したがって、このユニットについては火砕流堆積物と考えられる。この火砕流堆積物は、層相から約2.4～2.5万年前に始良カルデラから噴出した始良入戸火砕流堆積物（A-Ito、荒巻、1968、町田・新井、1976、1992）に同定される。

また3a層中に含まれる黄色軽石は、その層位と岩相から約1.4～1.6万年前に霧島火山から噴出した霧島小林軽石（Kr-Kb、伊田ほか、1956、早田、未公表資料）に由来すると考えられる。

(2) T-6

この地点では、T-1においてA-Itoに同定されたユニットのさらに上位に、黄色軽石を含み淘汰の良くない橙色火山灰層（層厚72cm、軽石の最大径8mm）が認められる。この中には、褐色の火山豆石（最大径7mm）が含まれている。ここではパイプ構造は認められない。このユニットについては、A-Itoの別のフロー・ユニットである可能性と、A-Itoのco-ignimbrite ash（コーイグニブライト・アッシュ）である始良T_n火山灰（AT、町田・新井、1976）の可能性が考えられる。co-ignimbrite ashとは、火砕流の灰かぐらなど火砕流に伴って発生する降下テフラを指す。厳密にはATとその一連のテフラの噴出・堆積様式について多くの不明な点が残されていることから、さらに多くの地点で調査記載を行なってこれらのユニットの形成要因について考える必要がある。

(3) 小結

上ノ迫遺跡において地質調査を行ない、土層とテフラの記載を行なった。本遺跡の火山灰土には、下位より始良入戸火砕流堆積物（A-Ito、約2.4～2.5万年前）とその一連のテフラおよび霧島小林軽石（Kr-Kb、約1.4～1.6万年前）起源の軽石が認められた。

文献

- 荒牧重雄（1969）鹿児島県国分地域の地質と火砕流堆積物。地質雑誌、75、p.425-442。
新井房夫（1972）斜方輝石・角閃石によるテフラの同定—テフロクロロジーの基礎的研究。第四紀研究、11、p.254-269。
伊田一善・本島公司・安国 昇（1956）宮崎県小林市付近の天然ガス調査報告。地調報告、168、p.1-44。
町田 洋・新井房夫（1976）広域に分布するテフラ—始良T n火山灰の発見とその意義。科学、46、p.339-347。
町田 洋・新井房夫（1992）火山灰アトラス。東京大学出版会、276p。

第2節 上ノ迫遺跡2号集石の¹⁴C年代測定

1. 試料と方法

試料名	地点・層準	種類	前処理・調整	測定法
No.1	N区No.2集石	炭化物	石墨調整	加速器質量分析(AMS)法

2. 測定結果

試料名	¹⁴ C年代 (年BP)	δ13C (‰)	補正 ¹⁴ C年代 (年BP)	暦年代交点 (1σ)	測定No. (Beta-)
No.1	810±40	-27.3	770±40	AD1270 (AD1245~1285)	103419

1) ¹⁴C年代測定値

試料の¹⁴C/¹²C比から、単純に現在（1950年AD）から何年前（BP）かを計算した値。Cの半減期は5,568年を用いた。

2) δ13C測定値

試料の測定¹⁴C/¹²C比を補正するための炭素安定同位体比（¹³C/¹²C）。この値は標準物質（PDB）の同位体比からの千分偏差（‰）で表す。

3) 補正¹⁴C年代値

δ¹³C測定値から試料の炭素の同位体分別を知り、¹⁴C/¹²Cの測定値に補正値を加えた上で算出した年代。

4) 暦年代

過去の宇宙線強度の変動による大気中¹⁴C濃度の変動を補正することにより算出した年代（西暦）。補正には年代既知の樹木年輪の¹⁴Cの詳細な測定値を使用した。この補正は10,000年BPより古い試料には適用できない。暦年代の交点とは、補正¹⁴C年代値と暦年代補正曲線との交点の暦年代値を意味する。1σは補正¹⁴C年代値の偏差の幅を補正曲線に投影した暦年代の幅を示す。したがって、複数の交点が表記される場合や、複数の1σ値が表記される場合もある。

第Ⅳ章 まとめ

1. 上ノ迫遺跡の縄文～古墳時代について

1号土坑埋土、および土坑周辺から5C末頃の土師器甕が出土した。1号土坑は、二次アカホヤ層の良好に堆積する丘陵落ち際に占地する。包含層の削平や土師器片の出土状況から、本来は住居などの遺構が存在したものの、削平されてわずかに残存するのみであった可能性が高い。また、丘陵の平坦面であるD3グリッドからも土師器片が1点出土しており、削平を受けた丘陵平坦面上にも何らかの遺構・包含層の展開が推測される。また、弥生時代終末期から古墳時代初頭、縄文時代早期の土器片もいくつか確認され、該期に上ノ迫遺跡周辺で人々の営みがあったことは間違いない。今回の調査では、その具体像に迫るすべを持たないが、比較的小規模な集落などが存在した可能性を考えておきたい。

2. 上ノ迫遺跡の2号集石の時期について

2号集石は、1号集石とともに、小林軽石層直下で検出された。2号集石中からは、炭化物を採取し、その14C年代測定を行った結果、AD1245～1285年のものと判明した(第三章)。この分析結果を見ると、2号集石は小林軽石層直下で検出されたにもかかわらず、帰属時期がずっと新しい、13C後半まで上がることになる。

中・近世における集石の類例を探すと、宮崎県内では東臼杵郡東郷町鶴野内中水流遺跡⁽¹⁾(19C前後)、都城市上牧第2遺跡⁽²⁾(15C後半以降)、県外では佐賀県佐賀郡大和町西山田二本松遺跡⁽³⁾(15C代か)などが挙げられる。これらは、明確な掘り込みを持つ点、礫が比較的密集する点で共通する。また、遺構の年代決定の根拠に注目すると、出土遺物、切り合った遺構埋土中の火山灰の年代とわかる。

本遺跡2号集石に目を戻すと、掘り込みは持たず、礫はあまり密集しない点で、中・近世の集石のあり方とは異なる。さらに、旧石器時代石器群と検出面が近いこと、小林軽石層直下で検出したこと、掘り込みを持たず、礫はあまり密集しない特徴がある。したがって、2号集石は、ナイフ形石器段階のものと判断でき、炭化物についてはサンプルエラーである可能性が高い。

3. 上ノ迫遺跡の旧石器時代石器群について

本遺跡からは、旧石器時代のナイフ形石器段階の良好な一括資料を得ることができた。器種別組成表を見ると、搔器・台形石器の占める割合の高さに特徴が見出せる。

表2 上ノ迫遺跡出土石器群組成表

器種	ナイフ形石器	台形石器	搔器	剥片	石核	敲石	磨石
点数	3	8	11	350	7	2	1

本遺跡出土の搔器は、2つのグループに分離可能である。1つは、剥片端部に刃部を設定し、平面形を台形とするもの、いま1つは、不定形剥片の縁片を打ち欠き、平面形を円形に仕上げるものである。後者には、長径10cmを超えるものもあり、別用途の可能性もある。

次に、本遺跡出土の台形石器は、黒曜石製のものが大半を占める。一方で、非黒曜石製になると、比較的分厚い、断面三角形の剥片を用いる場合が多く、刃部角は急角度となる。それらの刃部からは、少なくとも「刺突」でない、むしろ搔器に近い機能性を感じさせる。

搔器については、堤隆氏⁽⁴⁾によると、使用痕分析の結果から、搔器は生皮や乾燥皮の鞣し作業に強い機能的特定性をみせるという。さらに、搔器の時期的・空間的分布状況を検討し、「寒冷適応としての皮革利用システム」を想定している。

本遺跡出土石器に関しては、今回、使用痕分析などを行っていないため、それらの機能・用途について、具体的に言及できない。報告の中では、搔器がいくつかの用途で分離できそうなこと、台形石器の一部に搔器に近い機能性を看取できること、搔器の保有量の多さとナイフ形石器の保有量の少なさなどから、本遺跡では、皮の鞣し作業やそれに関連する作業のなされた可能性の高いことを指摘しておきたい。

【註】

- (1) 宮崎県埋蔵文化財センター編「鶴野内中水流遺跡」『宮崎県埋蔵文化財センター発掘調査報告書』第16集 1999
- (2) 宮崎県埋蔵文化財センター編「上牧第2遺跡 母智丘原第2遺跡」『宮崎県埋蔵文化財センター発掘調査報告書』第18集 1999
- (3) 佐賀県教育委員会編「西山田二本松遺跡」『九州横断自動車道関係埋蔵文化財発掘調査報告書』(19) 1996
- (4) 堤 隆「搔器の機能と寒冷適応としての皮革加工システム」『考古学研究』47-2 考古学研究会 2000

表3 石器石材分類表 (流紋岩系)

六戸章氏作成に加筆 1999.9.20

分類	肉眼的手法による特色					実体顕微鏡による特色	備考	
	色		表面の様様	手ざわり				その他
	表面	割れ口		表面	割れ口			
流紋岩 a	褐灰 7.5YR6/1	新鮮部黒 7.5YR2/1 割れ口も風化が進み表面と同じ色の場合が多い	汚れた感じの斑点状～雲状～縞	風化の度合いによるがなめらかなものが多い	なめらか	割れ口の断口には鋭さがありフィッシャーが多めに入る フィッシャーが珪質に見える場合あり	祖母系とみられる無斑晶流紋岩ホルンフェルス化(熱変成)を受けている 表面の風化の度合いで流紋岩 a～g のなかで最も白っぽい	
	鈍い黄橙 10YR7/3～7/4	新鮮部黒褐	濃淡の雲状の様様があることがある	ややざらつく	ややざらつく	鏡下で微妙な凹凸風化褐色の風化鉱物が多い 黒の鉱物やガラスが少量見られる	鏡下では堆積岩のように見えることもあるが黒や白の鉱物やガラスを含んでいる	
	橙褐 7.5YR6/4～5/4		灰白部(7.5YR8/2)が雲状に見られることあり	なめらかなものが多い	なめらか	円礫表面は褐色(7.5YR5/6～5/7)に風化	円礫表面はガスが抜けたような小穴が見られる場合もある	
	褐灰 10YR6/1～4/1	新鮮部黒(ホルンフェルス様)	濃淡(褐灰～灰白)縞～白斑状	なめらか	なめらか	粗粒子(白～キラキラ)が見えるものあり	左の粗粒子は鏡下では堆積岩の粒子のような見かけ	
流紋岩 b	暗赤褐～極暗赤褐 5YR3/2～2.5YR2/2		明褐灰色部が雲状～縞状をなすものあり黒褐色斑点状(ミミズ状)の様様	河床円礫の場合表面はきわめてなめらか	なめらか		アメ色がかかった石基 やや緻密 晶洞状斑あり	流紋岩 a の一部と類似、ホルンフェルス化の程度の差 まだら模様で茶色系統
流紋岩 c	褐灰～黒褐 10YR4/1～3/1	割れた面に艶がない(シルト岩類似)	黒褐色斑点を持つものもあり暗青灰色(5PB4/1)が雲状に混ざった色の部分あり	円礫表面はなめらか	流紋岩 b に比べるとややざらつきあり	流紋岩 a～g の中で最も粗粒に見える粗粒子(白～キラキラ)が見えるものあり	晶洞状斑があるものが多い	流紋岩 b と同一岩体の別部分か?(冷却速度の違い?) 茶色系統で表面が粗い
流紋岩 d	灰 7.5Y4/1～10Y4/1	割れた面に珪質の白っぽい部分が見える	片状岩石(片理?)	なめらか	なめらか?		白黒のゴマシオ状ガラス質石基	サンプル数が少ない
流紋岩 e	暗オリーブ灰 2.5～5GY 4/1～3/1	表面と同じ色が多い 割れた面に珪質の白っぽい部分が見える	濃淡(オリーブ灰～暗オリーブ灰)縞状	なめらか	なめらか	緻密でちりめんじわ状断口 珪質でフィッシャーが多い フィッシャーは白っぽいものが多い	珪質でチャートに似ている 小さい黒色や白色、透明の鉱物・ガラス粒を少量含む	珪質頁岩に似る
流紋岩 f	暗灰 N3/0	割れた面に艶がない	灰白色部が雲状をなすものがある 汚れた感じの濃淡(黒白)模様がある場合がある 黄褐色の汚れ付着	円礫表面はきわめてなめらか	ややざらつく	一見頁岩に似る	白色円形斑(特に晶洞様)がある	流紋岩 c と類似するが色が黒に近い 頁岩のホルンフェルスがまざれている可能性あり まだら模様で黒色系統
流紋岩 g	暗灰 N3/0	新鮮な面は黒い	雲状に灰白色部を持つものあり 表面に艶がなく黄褐～赤褐色(5YR5/8～4/8)の汚れ状あり (黄鉄鉱の風化物)	円礫表面はきわめてなめらか 爪形穴	なめらか	雲状の灰白色風化が目立つ	白色円形斑(特に晶洞様)があるものが多い 黒色のガラス質石基に白っぽい風化部が混ざり全体として暗灰色鉱物粒やその風化物が見られる	無斑晶安山岩とすべきものかも? 雲状の灰白色部に特徴づけられる 最も黒っぽい
	黒 N2/0	真っ黒に見える	表面に艶がなく黄褐～赤褐色(5YR5/8～4/8)の汚れ状あり (黄鉄鉱の風化物)	円礫表面はきわめてなめらか	なめらか	最も頁岩に似るが黒色緻密 断面は曲面で稜も曲線	黒色のガラス質石基の中に白色の鉱物粒が見られる	

表4 上ノ迫遺跡出土遺物計測表

No	区	Gr	層	注記	器種	石材	X座標	Y座標	Z座標	最大長	最大幅	最大厚	重量
1	N	E2	Ⅲ-b	178	台形石器	流紋岩 f	16.675	42.550	66.458	3.68	2.60	9.00	5.3
2	S	C4	Ⅲ-a	3	搔器	流紋岩 f	38.520	23.630	67.225	4.08	3.95	1.70	27.4
3	N	E2	Ⅲ-b	161	ナイフ形石器	流紋岩 f	11.650	40.725	66.702	3.90	2.35	0.70	4.9
4	N	D3	Ⅲ-b	198	微細剥離ある剥片	流紋岩 f	29.410	39.520	66.764	4.50	2.30	0.66	7.1
5	N	D2	Ⅲ-b	342	微細剥離ある剥片	流紋岩 f	18.850	35.370	66.774	4.40	2.40	1.00	7.2
6			Ⅲ-b	イ	搔器	流紋岩 f				4.24	3.85	2.05	32.0
7	S	C4	Ⅳ	70	剥片	流紋岩 f	39.490	26.540	67.005	4.20	5.05	1.30	23.3
8	N	D4	Ⅲ-a	110	ナイフ形石器	流紋岩 f	32.100	35.030	67.111	4.90	2.10	0.95	8.3
9	S	D4	Ⅳ	68	剥片	流紋岩 f	32.400	30.565	66.941	0.82	2.32	0.30	0.4
10	N	D2	Ⅲ-b	221	角錐状石器	流紋岩 f	19.790	34.370	67.018	4.90	2.15	1.80	12.1
11	N	D2	Ⅲ-b	88	剥片	流紋岩 f	17.700	35.375	66.982	1.90	1.92	0.38	1.3
12	N	D2	Ⅲ-a	94	剥片	流紋岩 f	18.720	36.990	66.918	2.35	2.07	0.45	1.9
13	N	D2	Ⅲ-b	358	剥片	流紋岩 f	19.950	36.270	66.592	1.75	1.76	0.50	1.2
14	N	D2	Ⅲ-b	357	剥片	流紋岩 f	19.625	35.815	66.765	2.34	1.92	6.50	1.7
15	N	D2	Ⅲ-b	261	剥片	流紋岩 f	18.200	35.925	66.755	2.44	1.88	6.20	2.2
16	N	D2	Ⅲ-b	350	剥片	流紋岩 f	18.900	34.920	66.846	1.73	1.81	5.80	1.3
17	N	D2	Ⅲ-b	251	剥片	流紋岩 f	18.770	35.820	66.854	1.92	2.22	6.30	2.4
18	N	E2	Ⅲ-b	170	剥片	流紋岩 f	12.200	44.110	66.557	4.40	3.30	0.96	10.1
19	N	E2	Ⅳ	171	剥片	流紋岩 f	14.150	41.975	66.510	3.60	2.12	0.84	7.1
20	N	D2	Ⅲ-b	87	剥片	流紋岩 f	17.120	35.710	66.968	3.25	3.41	0.92	8.5
21	N	D2	Ⅲ-b	264	剥片	流紋岩 f	18.605	36.780	66.848	3.60	3.40	0.88	8.6
22	N	E2	Ⅳ	287	剥片	流紋岩 f	12.285	40.525	66.477	3.16	1.80	0.50	1.8
23	N	E2	Ⅲ-b	166	剥片	流紋岩 f	12.375	42.750	66.707	3.06	3.28	0.72	8.2
24	S	C5	Ⅳ	56	剥片	流紋岩 f	44.320	27.720	66.754	3.10	1.55	0.60	1.9
25	S	C5	Ⅳ	52	剥片	流紋岩 f	45.475	27.120	66.725	2.20	1.92	0.73	2.5
25	S	C5	Ⅳ	60	剥片	流紋岩 f	44.500	28.070	66.816	1.98	2.00	0.70	2.2
26	S	C5	Ⅳ	53	剥片	流紋岩 f	43.650	27.025	66.831	6.15	7.30	2.35	72.0
27	S	C5	Ⅳ	59	石核	流紋岩 f	42.280	26.800	66.926	5.28	6.12	2.75	66.4
28	N	D2	Ⅲ-b	341	微細剥離ある剥片	流紋岩 f	19.220	35.620	66.755	2.05	4.44	1.32	8.1
29	N	D2	Ⅲ-b	224	微細剥離ある剥片	流紋岩 f	19.540	35.340	66.901	3.10	3.96	1.46	11.0
32	N	E2	Ⅴ	288	剥片	流紋岩 f	13.820	41.745	66.350	4.20	2.72	1.28	12.3
33	N	E2	Ⅲ-b	145	剥片	流紋岩 f	10.050	42.850	66.562	3.64	2.60	0.75	4.4
34	N	E2	Ⅲ-a	76	二次加工ある剥片	流紋岩 f	11.000	44.905	66.758	5.40	3.04	1.55	21.8
35	N	E2	Ⅲ-b	175	剥片	流紋岩 f	15.475	44.500	66.615	3.32	4.80	1.15	10.7
36	N	E2	Ⅲ-b	145	石核	流紋岩 f	10.050	42.850	66.562	4.76	4.20	4.55	84.1
30	S	C5	Ⅳ	54	剥片	流紋岩 f	43.300	27.260	66.870	4.90	2.10	0.95	8.3
31	S	C5	Ⅳ	46	剥片	流紋岩 f	44.050	27.705	66.863	4.74	3.56	1.95	23.3
37	N	E2	Ⅳ	275	微細剥離ある剥片	流紋岩 f	15.225	41.200	66.873	3.16	7.68	3.80	49.5
38	N	D2	Ⅲ-b	216	剥片	流紋岩 f	18.500	35.180	66.927	2.68	3.00	0.55	4.0
39	N	E2	Ⅳ	277	剥片	流紋岩 f	15.130	41.630	66.832	3.60	4.84	1.35	17.8
40	N	D2	Ⅲ-b	334	剥片	流紋岩 f	17.600	35.495	66.735	3.50	1.68	0.65	2.5
41	N	D2	Ⅲ-b	250	剥片	流紋岩 f	19.040	35.470	66.875	2.20	3.76	1.05	10.9
42	N	D2	Ⅲ-a	100	剥片	流紋岩 f	18.855	36.000	67.096	2.68	3.00	5.50	4.0
43	N	D3	Ⅲ-b	226	剥片	流紋岩 f	20.180	36.210	66.817	2.50	1.86	0.58	2.1
44	N	D3	Ⅲ-b	225	剥片	流紋岩 f	20.175	35.860	66.969	4.20	1.90	0.85	6.1
45	N	E2	Ⅳ	279	微細剥離ある剥片	流紋岩 f	15.650	42.100	66.830	4.60	1.72	0.84	6.2
46	N	D2	Ⅲ-b	240	剥片	流紋岩 f	18.910	35.045	66.896	4.10	6.60	2.38	56.9
47	N	D2	Ⅲ-b	257	剥片	流紋岩 f	18.650	35.790	66.901	2.90	5.96	1.22	23.5
48	N	D2	Ⅲ-b	218	二次加工ある剥片	流紋岩 f	18.950	34.610	66.930	5.80	1.28	2.68	13.6
49	N	D2	Ⅳ	379	剥片	流紋岩 f	18.655	35.195	66.777	4.84	4.00	1.70	31.4
50	N	D2	Ⅲ-b	355	剥片	流紋岩 f	19.375	35.230	66.816	3.48	2.90	0.70	3.6
51	N	D2	Ⅲ-b	254	剥片	流紋岩 f	19.050	36.625	66.788	2.28	2.80	0.68	3.2
52	N	D2	Ⅲ-b	267	剥片	流紋岩 f	18.545	38.300	66.783	2.80	3.08	0.60	5.8
53	N	D2	Ⅳ	236	剥片	流紋岩 f	19.045	34.970	66.880	7.00	5.00	3.10	73.8
54	N	D2	Ⅲ-a	112	剥片	流紋岩 f	18.225	36.100	66.977	2.50	1.64	0.32	1.6
55	N	D2	Ⅲ-b	231	剥片	流紋岩 f	19.620	36.075	66.877	4.20	2.48	0.78	7.1
56	N	D2	Ⅲ-b	347	微細剥離ある剥片	流紋岩 f	18.480	35.395	66.815	5.32	4.36	2.26	32.3
57	N	E2	Ⅳ	276	剥片	流紋岩 f	15.180	41.300	66.870	4.20	1.36	3.28	15.4
58	N	D2	Ⅲ-b	340	剥片	流紋岩 f	18.995	35.605	66.835	2.20	3.32	0.48	2.8

No	区	Gr	層	注記	器種	石材	X座標	Y座標	Z座標	最大長	最大幅	最大厚	重量
59	N	D2	Ⅲ-b	215	剥片	流紋岩 f	18.310	35.130	66.941	1.90	2.92	0.65	2.6
60	N	D2	Ⅲ-b	248	剥片	流紋岩 f	18.930	35.670	66.865	2.12	2.90	0.60	2.6
61	S	B6	Ⅳ	49	搔器	流紋岩 g	54.745	16.430	66.296	3.44	4.80	1.50	23.9
62	S	C4	Ⅲ-a	19	搔器	流紋岩 g	38.140	27.700	67.148	4.65	5.00	1.00	26.2
63	S	C4	Ⅲ-a	4	微細剥離ある剥片	流紋岩 g	39.080	24.775	67.243	4.30	4.52	1.70	36.3
64	S	C4	Ⅲ-b	22	微細剥離ある剥片	流紋岩 g	37.355	22.870	66.935	4.70	4.30	1.96	39.0
65	N	E2	Ⅲ-b	154	剥片	流紋岩 g	10.625	43.375	66.565	2.04	2.68	0.60	2.3
66	N		Ⅳ	308	剥片	流紋岩 g			66.436	2.40	2.95	0.70	3.8
67	N	E2	Ⅲ-b	374	搔器	流紋岩 g	11.150	41.900	66.534	5.88	6.80	2.20	118.2
68	N	E2	Ⅲ-a	80	剥片	流紋岩 g	13.645	41.005	66.958	3.32	1.46	0.98	4.6
69	N	E2	Ⅲ-a	74	剥片	流紋岩 g	10.580	42.470	66.976	5.25	6.64	2.40	69.1
70	N	D2	Ⅲ-a	84	石核	流紋岩 g	13.200	37.810	67.107	5.92	6.68	3.48	122.7
71	S	D5	Ⅳ	69	剥片	流紋岩 g	40.045	31.970	66.476	3.75	5.24	2.20	35.7
72	S	D4	Ⅳ	44	石核	流紋岩 g	39.770	31.355	66.678	6.70	5.50	3.25	139.0
73	S	C4	Ⅳ	33	剥片	流紋岩 c	35.555	29.230	66.900	4.05	3.04	1.56	15.6
74	S	C4	Ⅳ	32	剥片	流紋岩 c	34.180	29.745	66.892	5.75	3.24	1.27	17.6
75	N	E2	Ⅲ-a	75	搔器	チャート	12.375	43.070	66.898	2.80	2.30	0.85	4.3
76		T1		イ	石核	チャート				5.52	5.44	2.45	61.0
77	S	D4	Ⅲ-b	39	敲石	チャート	33.800	33.145	66.678	7.25	5.71	3.51	213.3
78	S	D4	Ⅳ	36	敲石	ホルンフェルス	31.330	31.505	66.981	8.12	3.33	2.63	80.9
79		一括			磨石	尾鈴山酸性岩				10.83	10.34	5.39	784.5
80	N	E2	Ⅲ-b	174	台形石器	流紋岩 a	16.125	45.200	66.460	3.30	2.20	1.75	9.1
81	N	D2	Ⅲ-b	86	台形石器	流紋岩 a	15.620	38.115	66.813	4.45	2.50	1.05	9.2
82	N	D2	Ⅲ-a	102	搔器	流紋岩 a	17.950	39.125	66.978	2.84	2.45	0.95	6.4
83	N	E2	Ⅲ-b	143	搔器	流紋岩 a	10.450	46.125	66.545	3.04	2.50	0.90	7.6
84	N	E2	Ⅳ	292	搔器	流紋岩 a	17.725	42.100	66.320	3.48	2.53	1.20	8.6
85	N	E1	Ⅳ	385	搔器	流紋岩 a	9.230	43.050	66.491	3.84	4.30	1.65	26.1
86	N	D2	Ⅲ-b	239	剥片	流紋岩 a	19.000	35.115	66.908	1.90	2.45	2.80	0.9
87	N	E2	Ⅳ	281	剥片	流紋岩 a	16.670	41.060	66.754	2.65	3.70	1.00	6.7
88	N	E2	Ⅳ	289	台形石器	流紋岩 b	16.820	42.320	66.195	2.62	2.55	1.35	4.8
89	N	E1	Ⅳ	137	剥片	流紋岩 b	9.205	44.035	66.520	1.68	0.84	0.42	0.4
90	N	E1	Ⅳ	138	剥片	流紋岩 b	8.650	43.345	66.552	1.48	0.96	0.45	0.5
91	N	E2	Ⅲ-b	147	剥片	流紋岩 b	13.125	49.000	66.378	3.10	2.52	0.48	3.5
92	N	E1	攪乱	134	搔器	流紋岩 b	6.970	45.110	66.575	1.76	2.86	2.10	10.5
93	N	D2	Ⅲ-a	99	剥片	流紋岩 b	18.890	35.205	67.137	2.32	2.40	0.40	2.2
94	N	D2	Ⅲ-b	255	剥片	流紋岩 b	18.625	36.400	66.862	2.36	2.59	0.68	3.5
95	S	C5	Ⅳ	47	剥片	流紋岩 b	41.120	28.200	66.865	1.35	1.72	0.52	1.2
96	S	C5	Ⅳ	57	剥片	流紋岩 b	43.220	28.575	66.742	2.44	3.20	1.10	4.7
97	S	C5	Ⅳ	13	剥片	流紋岩 b	43.960	27.030	66.906	2.84	3.40	0.88	8.4
98	S	C5	Ⅳ	55	石核	流紋岩 b	44.550	27.895	66.770	2.82	2.32	0.30	0.4
99	N	D2	Ⅳ	192	台形石器	黒曜石	16.200	40.000	66.435	1.95	2.10	0.52	2.1
100	N	E2	Ⅳ	286	台形石器	黒曜石	11.300	41.950	66.421	2.70	1.75	0.70	2.5
101	N	D3	Ⅳ	282	台形石器	黒曜石	20.930	36.325	66.344	3.40	2.75	1.20	6.9
102	N	D3	Ⅳ	305	台形石器	黒曜石	23.895	38.900	66.518	2.68	2.36	0.84	4.4
103	N	E2	Ⅲ-b	160	ナイフ形石器	黒曜石	11.475	41.150	66.677	2.30	1.52	6.20	1.8
104	N	E2	Ⅳ	296	剥片	黒曜石	17.300	43.300	66.272	1.68	2.10	0.82	1.0
106	N	E2	Ⅳ	307	剥片	黒曜石	27.675	42.510	66.180	1.80	1.60	1.12	1.9
107	N	E2	Ⅲ-b	189	剥片	黒曜石	19.360	41.500	66.502	2.34	2.44	0.92	3.4
108	N	E2	Ⅲ-b	176	剥片	黒曜石	16.425	42.625	66.476	2.68	1.44	0.84	2.7
109	N	E2	Ⅲ-b	106	剥片	黒曜石	17.600	46.870	66.532	3.70	3.10	1.05	5.8
110	N	D3	Ⅲ-b	204	剥片	黒曜石	28.740	31.200	66.919	1.24	1.08	0.68	0.7
111	N	D4	Ⅲ-b	202	剥片	黒曜石	30.325	32.430	67.138	1.24	1.80	0.86	2.0
112	N	D3	Ⅲ-b	203	剥片	黒曜石	29.275	31.470	67.150	2.64	2.08	1.00	8.8
113	N	D4	Ⅲ-b	201	剥片	黒曜石	30.625	32.600	67.051	3.10	1.80	1.68	9.0
	S	D4	Ⅳ	61	微細剥離ある剥片	流紋岩 f	33.690	31.380	66.941	3.45	4.62	1.63	17.4
	S	B5	Ⅲ-a	1	剥片	流紋岩 f	43.550	18.250	67.015	2.12	2.95	1.10	5.0
	S	C4	Ⅲ-b	2	剥片	流紋岩 f	38.130	22.680	67.181	3.40	2.20	0.80	5.2
	S	C4	Ⅲ-a	5	剥片	流紋岩 f	35.140	25.760	67.293	2.65	2.30	0.80	5.3

No	区	Gr	層	注記	器種	石材	X座標	Y座標	Z座標	最大長	最大幅	最大厚	重量
S	C4	Ⅲ-a	6		剥片	流紋岩 f	31.620	27.780	67.340	3.20	2.30	1.00	4.9
S	D4	Ⅱ	8		剥片	流紋岩 f	34.000	33.510	67.097	3.15	1.88	0.70	3.4
S	D4	Ⅲ-a	9		剥片	流紋岩 f	33.930	33.840	66.890	3.00	4.55	1.45	15.6
S	D4	Ⅲ-a	10		剥片	流紋岩 c	35.660	32.790	66.941	2.45	2.10	1.00	3.8
S	D4	Ⅲ-a	11		剥片	流紋岩 f	37.130	31.490	66.985	1.80	2.40	1.00	3.7
S	C4	Ⅲ-b	12		剥片	ホルンフェルス	39.890	27.520	67.100	5.30	7.39	1.00	41.2
S	E5	Ⅱ	14		剥片	チャート	45.420	41.580	67.055	3.40	2.80	2.10	16.5
S	D5	Ⅱ	15		剥片	チャート	46.990	39.680	65.959	3.52	3.45	2.15	24.6
S	C4	Ⅲ-a	16		剥片	黒曜石	36.350	23.460	67.347	1.30	1.50	0.50	0.7
S	D4	Ⅲ-a	17		剥片	チャート	36.460	33.440	66.967	4.38	3.15	1.55	13.1
S	D4	Ⅲ-a	18		剥片	流紋岩 f	34.370	30.070	67.040	1.80	2.40	0.50	1.8
S	C4	Ⅲ-b	20		剥片	流紋岩 f	39.180	22.670	67.010	3.85	2.65	0.95	8.3
S	C4	Ⅲ-b	21		剥片	流紋岩 f	37.740	22.505	66.958	3.70	5.35	1.70	33.7
S	C4	Ⅲ-b	23		剥片	流紋岩 f	38.380	24.890	67.050	5.30	3.85	2.35	38.1
S	C4	Ⅲ-b	25		剥片	砂岩	36.420	25.285	67.136	3.80	7.10	1.00	31.7
S	C4	Ⅲ-b	26		剥片	流紋岩 f	37.690	25.745	67.067	3.09	1.89	0.85	3.7
S	C4	Ⅲ-b	28		剥片	流紋岩 f	33.290	25.885	67.155	4.45	3.80	0.65	8.3
S	C4	Ⅳ	29		剥片	流紋岩 f	32.825	27.575	67.092	6.60	4.30	1.60	47.4
S	C4	Ⅲ-b	30		剥片	流紋岩 f	31.465	28.210	67.105	4.60	4.30	1.55	29.2
S	D4	Ⅳ	34		剥片	流紋岩 f	33.500	31.495	66.856	2.15	3.90	1.40	8.4
S	D4	Ⅳ	35		剥片	黒曜石	31.280	31.120	67.022	1.55	1.90	0.40	1.1
S	D4	Ⅳ	37		剥片	流紋岩 f	31.700	31.895	66.952	5.75	3.70	1.45	27.7
S	D4	Ⅲ-b	38		剥片	砂岩	33.705	33.070	66.820	4.20	4.05	1.70	18.9
S	D4	Ⅲ-b	40		剥片	流紋岩 b	33.925	32.900	66.725	4.85	6.40	1.40	29.5
S	D4	Ⅳ	45		剥片	流紋岩 c	38.900	37.380	66.466	5.94	4.80	2.70	69.7
S	C4	Ⅳ	48		剥片	流紋岩 c	37.850	28.520	66.905	4.70	6.70	1.20	28.4
S	B5	Ⅲ-b	50		剥片	流紋岩 f	48.170	18.110	66.787	3.70	5.10	1.10	18.9
S	B5	Ⅳ	51		剥片	流紋岩 f	48.500	19.640	66.552	3.05	2.53	1.05	8.3
S	C5	Ⅳ	52		剥片	流紋岩 f	45.475	27.120	66.725	5.35	2.88	0.95	12.1
S	C5	Ⅳ	52		剥片	流紋岩 f	45.475	27.120	66.725	2.20	1.30	0.50	1.4
S	C5	Ⅳ	58		剥片	流紋岩 f	42.680	26.380	66.864	5.40	4.30	2.05	35.9
S	C5	Ⅳ	60		剥片	流紋岩 f	44.500	28.070	66.816	2.22	2.55	0.30	1.4
S	D4	Ⅳ	62		剥片	流紋岩 f	34.005	30.030	66.825	3.50	2.09	1.20	9.1
S	C4	Ⅳ	63		剥片	流紋岩 f	33.875	29.245	66.855	6.85	4.82	2.25	118.5
S	C4	Ⅳ	64		剥片	流紋岩 f	33.950	29.370	66.885	9.20	4.80	3.35	185.7
S	C4	Ⅳ	65		剥片	流紋岩 f	34.040	29.525	66.823	2.39	3.20	1.55	12.8
S	C4	Ⅳ	66		剥片	流紋岩 f	34.520	29.540	66.872	7.75	4.45	3.25	142.2
S	C5	Ⅳ	71		剥片	流紋岩 f	42.900	25.270	66.960	2.70	1.85	0.40	1.8
N	E1	Ⅲ-a	72		剥片	流紋岩 f	8.560	41.880	66.806	2.74	3.40	0.65	4.1
N	E1	Ⅲ-a	73		剥片	チャート	9.130	41.800	66.797	2.12	2.60	1.05	5.8
N	D2	Ⅲ-a	78		剥片	流紋岩 f	12.610	39.885	67.055	7.05	3.75	2.80	100.2
N	E2	Ⅲ-a	79		剥片	流紋岩 f	13.455	40.740	66.874	2.30	5.80	1.75	12.5
N	E2	Ⅲ-a	81		剥片	流紋岩 f	13.775	40.965	66.956	3.95	2.33	1.00	7.8
N	E2	Ⅲ-a	82		剥片	流紋岩 f	13.575	41.500	66.960	2.20	2.84	0.70	4.3
N	D2	Ⅲ-a	83		剥片	流紋岩 f	13.380	38.390	67.007	6.90	5.76	4.50	199.5
N	D2	Ⅲ-a	85		剥片	流紋岩 f	15.095	38.280	67.008	2.40	3.72	1.20	8.3
N	D2	Ⅲ-b	89		剥片	流紋岩 f	17.790	35.745	67.215	2.00	1.30	0.50	1.0
N	D2	Ⅲ-b	90		剥片	流紋岩 f	17.360	36.730	67.009	1.22	2.15	0.65	1.7
N	D2	Ⅲ-b	91		剥片	流紋岩 f	17.865	37.200	67.072	1.21	2.90	0.60	1.8
N	D2	Ⅲ-b	92		剥片	流紋岩 f	18.320	37.120	67.077	2.71	1.70	1.10	3.7
N	D2	Ⅲ-b	93		剥片	流紋岩 f	18.320	36.870	66.897	2.00	3.05	0.60	3.9
N	D2	Ⅲ-a	95		剥片	流紋岩 f	18.310	36.055	67.062	2.01	2.60	0.40	2.1
N	D2	Ⅲ-a	96		剥片	流紋岩 f	18.490	35.260	67.127	1.35	2.30	0.50	1.6
N	D2	Ⅲ-a	97		剥片	流紋岩 f	18.800	35.490	66.991	2.30	2.04	0.50	2.0
N	D2	Ⅲ-b	98		剥片	流紋岩 f	18.880	35.370	67.137	1.40	1.15	0.30	0.3
N	D2	Ⅲ-a	101		剥片	流紋岩 f	19.280	35.605	67.016	3.25	3.27	1.70	17.9
N	D2	Ⅲ-a	103		剥片	流紋岩 f	17.130	39.655	67.030	5.70	4.78	2.20	81.6
N	E2	Ⅲ-a	104		剥片	流紋岩 f	16.890	40.050	66.861	1.50	2.10	0.40	1.3
N	E2	Ⅲ-a	105		剥片	流紋岩 b	17.010	42.550	66.620	4.93	3.22	1.35	12.5
N	E2	Ⅲ-b	107		剥片	ホルンフェルス	15.830	49.750	66.460	5.20	8.70	2.40	84.6
N	E2	Ⅲ-b	108		剥片	ホルンフェルス	18.205	49.670	66.445	5.61	2.00	1.80	20.5

No	区	Gr	層	注記	器種	石材	X座標	Y座標	Z座標	最大長	最大幅	最大厚	重量
	N	E3	Ⅲ-a	109	剥片	チャート	24.300	42.180	66.861	2.60	5.25	1.70	24.2
	N	D4	Ⅲ-a	110	剥片	流紋岩 f	32.100	35.030	67.111	1.41	0.81	0.20	測定不能
	NE	F5	Ⅱ	118	剥片	チャート	49.300	55.640	66.174	1.90	1.54	0.60	4.3
	NE	F5	Ⅱ	118	剥片	チャート	49.300	55.640	66.174	2.70	1.75	1.10	1.3
	NE	F5	Ⅱ	119	剥片	流紋岩 c	48.700	53.955	66.124	5.34	3.50	0.95	18.8
	NE	F5	Ⅱ	120	剥片	流紋岩 c	47.250	55.510	66.185	3.08	2.50	2.15	17.4
	NE	F5	Ⅱ	122	剥片	黒曜石	48.300	53.845	66.002	2.15	1.70	0.60	1.7
	NE	E5	Ⅱ	124			47.855	45.280	66.047				
	N	E1	攪乱	135	剥片	流紋岩 a	7.745	43.780	66.620	1.70	1.48	0.50	1.2
	N	E2	Ⅳ	136	剥片	流紋岩 f	10.655	49.375	66.257	4.70	4.96	1.80	34.4
	N	E1	Ⅳ	139	削器	チャート	8.950	41.950	66.670	4.55	4.35	2.00	42.4
	N	E1	Ⅳ	140	剥片	流紋岩 a	8.625	41.625	66.662	1.30	2.80	0.50	1.5
	N	E2	Ⅲ-b	141	石核	チャート	10.600	47.300	66.537	6.50	3.20	3.30	39.5
	N	E2	Ⅲ-b	142	剥片	流紋岩 a	10.875	46.400	66.465	2.15	1.55	0.55	2.0
	N	E2	Ⅳ	144	剥片	チャート	10.180	44.180	66.475	3.14	3.30	1.20	10.9
	N	E1	Ⅳ	146	剥片	流紋岩 a	8.650	40.750	66.645	1.82	1.40	0.55	1.0
	N	E2	Ⅲ-b	148	剥片	頁岩	15.575	48.850	66.348	1.10	1.59	0.35	0.5
	N	E2	Ⅳ	149	碎片	頁岩	16.125	49.000	66.315	0.92	0.72	0.23	測定不能
	N	E2	Ⅲ-b	150	剥片	流紋岩 f	12.625	45.650	66.555	2.40	1.30	0.60	1.6
	N	E2	Ⅲ-b	151	剥片	流紋岩 b	12.375	44.800	66.575	1.95	2.20	0.35	1.7
	N	E2	Ⅳ	152	剥片	流紋岩 f	11.150	44.440	66.550	1.20	0.95	0.35	0.3
	N	E2	Ⅲ-b	153	剥片	流紋岩 f	10.850	44.100	66.608	1.40	1.02	0.50	0.7
	N	E2	Ⅲ-b	155	剥片	流紋岩 f	11.050	43.050	66.662	1.80	1.83	1.00	1.7
	N	E2	Ⅳ	156	剥片	流紋岩 a	11.000	42.925	66.585	1.20	1.33	0.50	0.5
	N	E2	Ⅲ-b	157	剥片	流紋岩 f	10.080	42.825	66.655	1.13	1.70	0.90	1.1
	N	E2	Ⅳ	158	剥片	流紋岩 f	10.050	41.550	66.604	1.63	1.20	0.29	0.5
	N	E2	Ⅲ-b	159	剥片	チャート	11.425	41.275	66.627	1.92	2.18	0.30	1.4
	N	E2	Ⅲ-b	162	剥片	チャート	12.125	40.550	66.680	4.70	2.71	1.35	12.0
	N	E2	Ⅲ-b	163	剥片	流紋岩 f	13.875	40.275	66.560	2.20	2.12	0.85	4.0
	N	E2	Ⅳ	164	剥片	流紋岩 a	11.500	42.790	66.652	1.48	2.16	0.70	1.6
	N	E2	Ⅲ-b	165	剥片	流紋岩 f	10.025	42.025	66.650	3.10	3.15	0.75	5.9
	N	E2	Ⅳ	168	剥片	チャート	11.650	43.355	66.577	1.48	0.98	0.50	0.6
	N	E2	Ⅲ-b	169	剥片	流紋岩 f	12.125	44.050	66.557	2.90	1.90	0.60	2.7
	N	E2	Ⅳ	172	剥片	黒曜石	14.600	44.800	66.452	2.55	1.60	0.90	2.0
	N	E2	Ⅳ	173	剥片	流紋岩 e	16.075	46.375	65.770	3.05	5.40	2.55	59.3
	N	E2	Ⅳ	177	剥片	流紋岩 b	16.440	42.700	66.430	1.54	2.28	0.05	1.3
	N	E2	Ⅲ-b	179	剥片	流紋岩 b	17.000	43.700	66.456	1.13	1.90	0.40	0.7
	N	E2	Ⅳ	180	碎片	黒曜石	17.250	43.300	66.416	0.98	0.95	0.20	0.1
	N	E2	Ⅳ	181	剥片	流紋岩 f	17.450	44.460	66.412	2.46	2.30	0.55	2.3
	N	E2	Ⅲ-b	182	剥片	流紋岩 b	18.650	44.080	66.400	1.50	2.90	0.85	2.6
	N	E2	Ⅲ-b	183	剥片		18.740	44.100	66.403				
	N	E2	Ⅲ-b	184	剥片	黒曜石	18.250	43.200	66.405	3.02	2.75	1.10	9.2
	N	E2	Ⅲ-b	185	剥片	黒曜石	18.850	43.060	66.409	2.00	2.88	0.70	4.3
	N	E2	Ⅳ	186	剥片	流紋岩 b	17.875	42.910	66.378	1.23	1.30	0.20	0.1
	N	E2	Ⅳ	187	碎片	黒曜石	17.600	42.850	66.358	0.58	0.76	0.10	0.1
	N	E2	Ⅳ	188	剥片	黒曜石	18.300	42.050	66.377	1.60	0.95	0.48	0.5
	N	E2	Ⅲ-b	190	剥片	流紋岩 b	19.100	41.000	66.400	1.90	1.52	0.80	1.6
	N	E2	Ⅲ-b	191	剥片	流紋岩 b	17.400	41.075	66.408	1.30	1.39	0.20	0.4
	N	E3	Ⅲ-b	193	碎片	流紋岩 c	20.125	44.425	66.477	0.96	0.70	0.30	測定不能
	N	E3	Ⅳ	194	剥片	流紋岩 b	20.350	44.700	66.344	1.80	2.27	0.75	2.3
	NE	E5	Ⅱ	196	剥片	砂岩	46.330	46.505	65.789	3.10	2.70	1.10	9.6
	N	E4	Ⅲ-b	197	剥片	ホルンフェルス	34.680	44.020	66.376	2.43	2.80	0.45	4.0
	N	D4	Ⅲ-b	200	剥片	流紋岩 c	30.725	33.860	66.902	2.98	1.35	0.80	1.8
	N	D3	Ⅲ-b	205	剥片	黒曜石	27.120	30.830	67.126	1.40	1.00	0.40	0.4
	N	D3	Ⅳ	206	剥片	流紋岩 f	26.060	31.350	66.967	3.57	1.90	1.20	5.5
	N	D3	Ⅲ-b	207	剥片	流紋岩 f	25.750	31.620	67.141	2.18	1.95	0.90	3.0
	N	D3	Ⅲ-b	208	剥片	流紋岩 a	25.050	32.575	67.110	3.15	4.00	0.90	10.2
	N	D3	Ⅲ-b	209	剥片	チャート	26.025	36.540	66.836				
	N	D2	Ⅲ-a	210	剥片	流紋岩 f	16.310	34.620	67.112	2.18	2.32	0.70	3.2

No	区	Gr	層	注記	器種	石材	X座標	Y座標	Z座標	最大長	最大幅	最大厚	重量
N	D2	Ⅲ-b	211		剥片	流紋岩 f	18.060	34.290	67.068	1.40	2.00	0.50	1.2
N	D2	Ⅲ-b	212		剥片	流紋岩 f	18.375	34.400	65.380	1.62	1.54	0.40	0.9
N	D2	Ⅲ-b	213		剥片	流紋岩 f	18.410	34.720	66.892	2.40	1.79	0.40	1.1
N	D2	Ⅲ-b	214		剥片	流紋岩 f	18.380	37.890	66.895	1.30	1.20	0.50	0.6
N	D2	Ⅲ-b	217		剥片	流紋岩 f	18.625	35.030	66.870	1.68	1.80	0.68	1.5
N	D2	Ⅲ-b	219		剥片	流紋岩 f	19.210	34.285	66.920	2.20	1.60	0.80	1.6
N	D2	Ⅲ-b	220		剥片	流紋岩 f	19.225	34.515	66.913	1.10	1.50	0.35	0.6
N	D2	Ⅲ-b	222		剥片	流紋岩 f	19.620	34.890	66.980	1.80	1.70	0.35	0.9
N	D2	Ⅲ-b	223		剥片	流紋岩 f	19.830	35.125	66.895	2.20	1.75	0.55	1.5
N	D3	Ⅳ	227		剥片	流紋岩 f	20.025	35.970	66.788	1.09	0.80	0.20	0.1
N	D3	Ⅲ-b	228		剥片	流紋岩 b	20.365	37.190	66.742	1.12	0.70	0.35	0.4
N	D2	Ⅳ	229		剥片	流紋岩 f	19.480	36.820	66.737	1.70	2.45	0.60	2.2
N	D2	Ⅲ-b	230		剥片	流紋岩 f	19.745	34.895	66.844	1.30	1.80	0.65	0.9
N	D2	Ⅲ-b	232		剥片	流紋岩 f	19.760	35.850	66.834	1.60	1.90	0.30	1.0
N	D2	Ⅲ-b	233		剥片	流紋岩 f	19.695	35.775	66.917	1.39	3.38	0.72	2.3
N	D2	Ⅲ-b	234		剥片	流紋岩 f	19.310	35.200	66.861	1.45	1.09	0.40	0.4
N	D2	Ⅳ	235		剥片	流紋岩 f	19.205	34.920	66.859	1.65	2.30	0.55	1.9
N	D2	Ⅲ-b	237		剥片	流紋岩 f	19.080	35.075	66.906	1.40	0.98	0.35	0.5
N	D2	Ⅲ-b	238		剥片	流紋岩 f	19.100	35.355	66.921	2.80	2.90	1.15	5.9
N	D2	Ⅲ-b	241		剥片	流紋岩 f	18.920	35.175	66.889	1.21	1.91	0.65	1.1
N	D2	Ⅲ-b	242		剥片	流紋岩 f	18.845	35.200	66.867	1.40	1.80	0.50	0.9
N	D2	Ⅳ	243		剥片	流紋岩 f	18.965	35.355	66.850	2.10	1.49	0.35	1.0
N	D2	Ⅲ-b	244		剥片	流紋岩 f	18.960	35.295	66.846	1.25	1.78	0.30	0.3
N	D2	Ⅳ	245		剥片	流紋岩 f	18.875	35.430	66.836	2.10	3.70	1.50	9.7
N	D2	Ⅲ-b	246		剥片	流紋岩 f	18.770	35.540	66.865	1.52	2.02	0.30	0.7
N	D2	Ⅳ	247				19.020	35.585	66.839				
N	D2	Ⅲ-b	249		剥片	流紋岩 f	19.005	35.505	66.845	1.30	1.50	0.70	1.2
N	D2	Ⅳ	252		剥片	流紋岩 f	18.730	36.060	66.795	1.84	2.10	0.65	2.5
N	D2	Ⅳ	253		剥片	流紋岩 f	18.910	36.245	66.771	1.51	1.28	0.20	0.4
N	D2	Ⅲ-b	256		剥片	流紋岩 f	18.725	35.680	66.866	2.77	2.45	0.65	2.4
N	D2	Ⅲ-b	258		剥片	流紋岩 f	18.625	35.450	66.880	2.48	1.50	0.90	2.1
N	D2	Ⅲ-b	259		剥片	流紋岩 f	18.405	35.595	66.955	1.90	3.55	0.90	6.1
N	D2	Ⅳ	260		剥片	流紋岩 f	17.750	35.620	66.783	2.91	3.50	0.95	5.9
N	D2	Ⅲ-b	262		剥片	流紋岩 f	18.220	36.245	66.784	1.61	2.10	0.35	1.3
N	D2	Ⅲ-b	263		剥片	流紋岩 f	18.310	36.430	66.797	2.95	2.80	0.60	4.5
N	D2	Ⅲ-b	265		剥片	流紋岩 f	18.230	36.980	66.798	1.72	3.00	0.55	2.7
N	D2	Ⅲ-b	266		剥片	流紋岩 f	18.190	36.960	66.826	2.10	1.70	0.40	1.1
N	D2	Ⅲ-b	268		剥片	流紋岩 a	19.530	38.780	66.580	3.00	3.60	0.95	9.1
N	D2	Ⅲ-b	269		剥片	流紋岩 b	19.350	39.260	66.620	3.88	3.40	1.70	16.9
N	D2	Ⅲ-b	270		剥片	流紋岩 a	17.350	39.220	66.523	1.41	2.60	0.70	1.9
N	D2	Ⅲ-b	271		剥片	流紋岩 a	15.925	38.320	66.646	0.90	1.23	0.30	0.3
N	D2	Ⅳ	272		剥片	流紋岩 a	15.160	37.830	66.618	1.85	1.98	0.68	2.9
N	D2	Ⅲ-b	273		剥片	黑曜石	12.200	38.450	66.716	2.30	1.65	1.00	3.8
N	E2	Ⅳ	278		碎片	流紋岩 f	15.400	41.805	66.833				
N	E2	Ⅳ	280		剥片	流紋岩 f	15.420	42.800	66.745	1.30	2.70	0.50	1.2
N	E2	Ⅲ-b	283		剥片	流紋岩 a	18.705	43.570	66.606	0.91	1.61	0.40	0.5
N	E2	Ⅳ	284		剥片	流紋岩 a	19.310	48.100	66.638	2.91	2.10	0.80	3.0
N	E3	Ⅲ-b	285		剥片	流紋岩 f	23.165	47.965	66.596	1.00	2.95	0.45	1.3
N	E2	Ⅳ	290		剥片	流紋岩 b	16.960	41.730	66.172	2.05	2.35	0.60	3.1
N	E2	Ⅳ	291		剥片	黑曜石	17.600	42.360	66.225	2.12	1.30	0.50	1.4
N	E2	Ⅳ	293		剥片	流紋岩 b	17.900	41.725	66.315	0.50	1.95	0.40	0.3
N	E2	Ⅳ	294		剥片	黑曜石	18.530	42.350	66.253	0.74	1.40	0.50	0.4
N	E2	Ⅳ	295		剥片	流紋岩 b	18.170	42.930	66.251	1.70	2.40	0.40	1.5
N	E2	Ⅳ	296		剥片	流紋岩 b	17.300	43.300	66.272	1.55	1.08	0.50	0.6
N	E2	Ⅳ	297		剥片	流紋岩 f	17.055	44.530	66.319	2.45	3.22	0.50	3.4
N	E3	Ⅳ	298		剥片	流紋岩 a	20.360	41.720	66.265	0.80	1.34	0.70	0.5
N	E3	Ⅳ	299		剥片	流紋岩 a	20.630	41.520	66.255	1.30	1.85	0.30	0.7
N	E3	Ⅳ	300		剥片	流紋岩 f	24.410	42.950	66.154	0.60	1.30	0.30	0.2
N	E3	Ⅳ	301		剥片	流紋岩 b	24.680	44.345	66.170	1.15	1.30	0.30	0.2

No	区	Gr	層	注記	器種	石材	X座標	Y座標	Z座標	最大長	最大幅	最大厚	重量
N	E3	IV	302		剥片	流紋岩 f	24.200	43.330	66.095	1.64	1.40	0.45	1.0
N	E3	IV	303		剥片	流紋岩 f	24.950	43.740	66.122	1.21	1.02	0.40	0.3
N	E3	IV	304		剥片	流紋岩 f	24.800	44.870	66.010	1.80	2.35	0.50	2.2
N	E2	IV	306		剥片	流紋岩 f	19.240	40.050	66.223	5.40	1.85	0.80	7.1
N	D2	IV	309		剥片	流紋岩 a	14.655	38.910	66.363				
N	D2	IV	310		剥片	流紋岩 a	14.880	38.880	66.542	1.25	1.14	0.40	0.4
N	D2	IV	311		剥片	流紋岩 a	14.935	37.220	66.493	0.89	2.25	0.45	0.7
N	D2	IV	312		剥片	流紋岩 a	16.645	37.700	66.607	1.50	2.40	0.40	1.1
N	D2	IV	313		剥片	流紋岩 a	15.165	38.700	66.497	0.91	1.43	0.20	0.1
N	D2	IV	314		剥片	黒曜石	14.955	38.905	66.422	0.85	1.30	0.55	0.5
N	D2	V	315		剥片	流紋岩 a	15.050	38.825	66.312	1.91	3.10	0.80	5.0
N	D2	V	316		剥片	流紋岩 a	15.605	38.190	66.321	1.00	1.30	0.20	0.2
N	D2	IV	317		剥片	流紋岩 a	15.350	39.060	66.366	0.90	1.42	0.20	0.3
N	D2	IV	318		碎片	流紋岩 a	15.530	39.200	66.273	0.52	0.78	0.15	0.1
N	D2	IV	319		碎片	流紋岩 a	15.655	38.945	66.382	0.80	0.81	0.10	測定不能
N	D2	IV	320		剥片	流紋岩 a	15.840	38.810	66.421	4.70	3.40	1.40	19.9
N	D2	IV	321		剥片	黒曜石	15.980	38.660	66.371	0.90	1.95	0.40	0.6
N	D2	IV	322		剥片	流紋岩 a	16.065	39.225	66.357	1.39	1.88	0.25	0.7
N	D2	IV	323		剥片	流紋岩 a	16.360	38.980	66.456	1.60	1.36	0.50	1.0
N	D2	IV	324		剥片	流紋岩 a	17.610	38.815	66.460	2.10	3.75	0.80	4.6
N	D2	IV	325		剥片	流紋岩 a	17.680	38.180	66.490	1.40	1.80	0.35	0.8
N	D2	IV	326		剥片	流紋岩 a	17.520	37.720	66.498	1.12	1.32	0.18	0.2
N	D2	IV	327		剥片	流紋岩 c	17.330	37.055	66.479	0.19	1.20	0.31	測定不能
N	D2	IV	328		剥片	流紋岩 a	17.850	37.510	66.585	1.49	1.10	0.45	0.5
N	D2	IV	329		剥片	流紋岩 b	18.150	37.990	66.554	3.60	2.05	0.30	7.7
N	D2	IV	330		剥片	流紋岩 a	18.195	38.000	66.456	1.18	1.48	0.20	0.3
N	D2	IV	331		剥片	流紋岩 a	18.325	37.895	66.480	2.35	2.99	0.87	4.5
N	D2	IV	332		剥片	流紋岩 a	19.285	38.365	66.390	2.10	1.23	0.35	0.7
N	D2	III-b	333		剥片	流紋岩 f	18.365	36.365	66.739	0.88	1.05	0.25	0.3
N	D2	III-b	333		剥片	流紋岩 f	18.365	36.365	66.739	1.50	0.94	0.18	0.2
N	D2	III-b	335		剥片	流紋岩 f	17.690	35.800	66.723	1.15	1.51	0.15	0.3
N	D2	III-b	336		剥片	流紋岩 f	18.425	36.030	66.736	3.52	4.68	1.50	18.7
N	D2	III-b	337		剥片	流紋岩 f	18.675	36.090	66.692	0.82	1.21	0.30	0.2
N	D2	III-b	338		剥片	流紋岩 f	18.800	35.840	66.817	1.44	1.10	0.25	0.4
N	D2	III-b	339		剥片	流紋岩 f	18.790	35.735	66.785	1.25	1.50	0.25	0.4
N	D2	III-b	343		剥片	流紋岩 f	18.625	35.260	66.804	1.39	1.61	0.45	0.9
N	D2	III-b	344		剥片	流紋岩 f	18.530	35.200	66.791	1.81	1.90	0.40	1.3
N	D2	III-b	345		剥片	流紋岩 f	18.505	35.225	66.728	1.70	1.59	0.30	0.6
N	D2	III-b	346		剥片	流紋岩 f	18.510	35.290	66.806	1.75	2.60	0.50	2.3
N	D2	III-b	348		剥片	流紋岩 f	18.330	35.420	66.827	1.30	1.80	0.40	1.0
N	D2	III-b	349		剥片		18.380	34.720	66.830				
N	D2	III-b	350		剥片	流紋岩 f	18.900	34.920	66.846	0.80	1.24	0.20	0.1
N	D2	III-b	351		剥片	流紋岩 f	18.900	34.780	66.835	1.50	0.99	0.30	0.5
N	D2	III-b	352		剥片	流紋岩 f	18.900	35.120	66.801	1.95	2.15	0.65	1.8
N	D2	III-b	353		剥片	流紋岩 f	19.110	34.995	66.822	1.78	1.60	0.75	2.0
N	D2	III-b	354		剥片	流紋岩 f	19.360	35.270	66.823	1.31	1.32	0.55	0.6
N	D2	III-b	356		剥片	流紋岩 f	19.805	35.445	66.759	1.50	1.70	0.40	0.8
N	D2	III-b	359		剥片	流紋岩 a	14.625	38.925	66.325	1.15	1.70	0.30	0.5
N	D2	III-b	360		剥片	流紋岩 f	14.805	37.360	66.332	1.00	0.75	0.25	0.3
N	D2	III-b	362		剥片	流紋岩 f	19.110	35.015	66.812	1.03	1.28	0.32	0.4
N	E2	IV	363		剥片	流紋岩 f	11.995	44.590	66.395	1.37	2.69	0.55	1.7
N	E2	V	364		剥片	黒曜石	17.225	41.225	66.137	1.21	1.32	0.70	1.3
N	E2	IV	365		剥片	流紋岩 f	12.150	43.400	66.443	0.90	1.60	0.30	0.4
N	E2	IV	366		剥片	流紋岩 f	11.405	43.730	66.500	2.71	1.80	0.70	2.4
N	E2	IV	367		剥片	流紋岩 f	10.580	43.960	66.495	4.05	5.08	1.00	14.7
N	E2	IV	368		剥片	流紋岩 a	11.895	43.250	66.439	1.13	1.99	0.40	0.8
N	E2	IV	369		剥片	流紋岩 f	12.170	43.025	66.452	3.00	2.55	0.65	4.9
N	E2	IV	370		剥片	流紋岩 f	11.650	42.975	66.542	2.69	2.10	0.85	3.7
N	E2	IV	371		剥片	流紋岩 f	11.400	42.455	66.442	2.30	1.99	0.80	3.8

No	区	Gr	層	注記	器種	石材	X座標	Y座標	Z座標	最大長	最大幅	最大厚	重量
	N	E2	IV	372	剥片	流紋岩 a	11.170	42.430	66.576	0.80	1.00	0.25	0.2
	N	E2	IV	373	碎片	流紋岩 f	11.240	42.330	66.550	0.90	0.90	0.10	0.1
	N	E2	IV	375	剥片	流紋岩 f	11.200	41.700	66.535	1.80	1.73	0.35	1.2
	N	E2	IV	376	剥片	流紋岩 f	27.100	35.600	66.606	4.45	2.60	0.50	5.9
	N	D2	IV	377	剥片	流紋岩 f	18.905	35.740	66.709	1.70	2.40	0.60	1.9
	N	D2	IV	378	剥片	流紋岩 f	18.820	35.230	66.664	0.80	1.21	0.20	0.2
	N	D2	IV	380	碎片	流紋岩 f	18.570	35.505	66.599	0.91	0.58	0.10	測定不能
	N	E1	V	381	剥片	流紋岩 c	8.330	41.820	66.565	3.80	1.21	0.51	0.3
	N	E1	IV	382	剥片	流紋岩 a	7.910	41.240	66.625	0.92	1.70	0.20	0.3
	N	E2	IV	383	剥片	流紋岩 f	11.105	42.625	66.468	1.60	1.45	0.40	1.0
	N	E2	IV	384	剥片	チャート	12.125	41.950	66.408	3.88	3.48	1.10	14.8
	N	一括	IV	イ	剥片	流紋岩 f				1.23	1.90	0.40	0.9
	N	一括	IV	イ	剥片	流紋岩 f				0.80	1.20	0.25	0.1
	N	一括	IV	イ	碎片	流紋岩 a				0.80	0.80	0.10	0.1
	N	一括	耕作土	イ	剥片	流紋岩 c				3.31	4.80	1.10	11.6
	T1			イ	剥片	チャート				5.95	5.93	1.30	47.2
	T2			イ	剥片	流紋岩 f				3.80	4.00	1.05	14.8
	T5			イ	剥片	黒曜石				1.45	1.68	1.00	1.8
	N	一括		イ	剥片	流紋岩 f				4.01	2.79	1.25	18.2

計測値の単位は、長・幅・厚=cm、重量=g となる
 石材は、穴戸分類 (p46) をもとに、松田が行った。

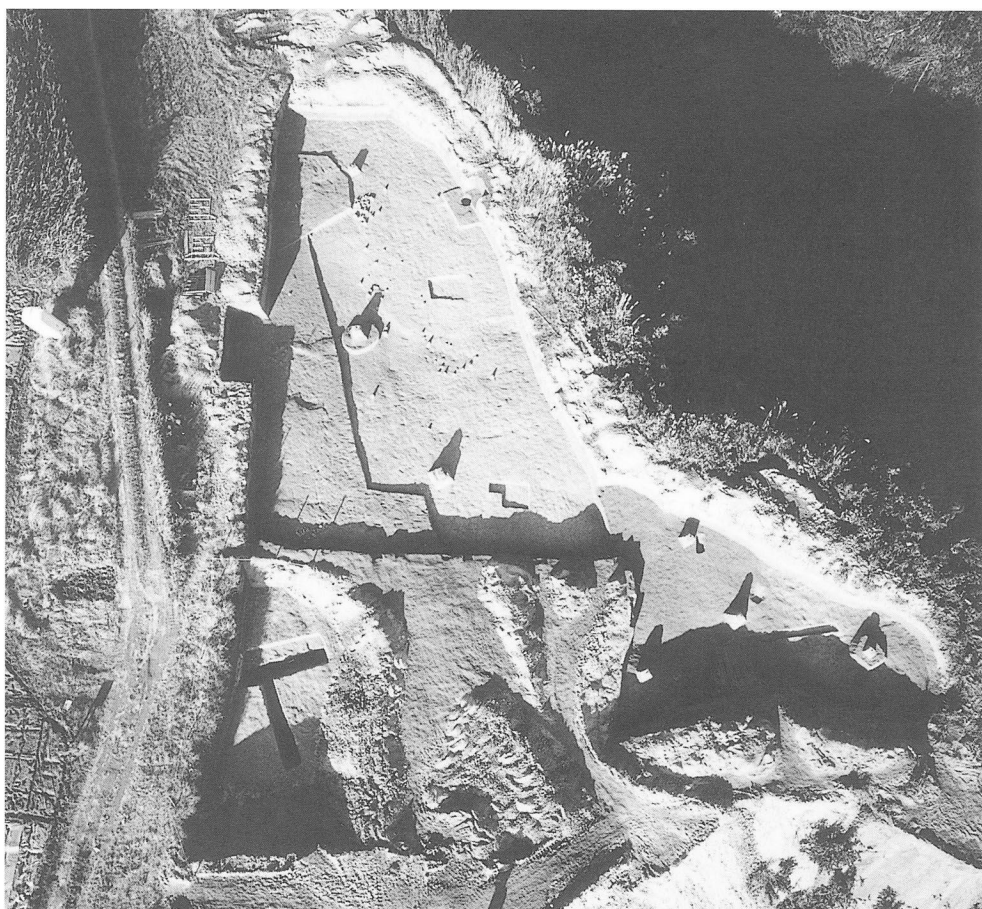
土器

No	区	Gr	層	注記	器種	X座標	Y座標	Z座標
	N	D3	III-a	111	土師器	25.220	37.330	67.113
	N	F5	II	113	土師器	48.400	50.875	65.947
	N	F5	II	114	土師器	48.020	50.550	65.942
	N	E5	II	115	土師器	47.350	45.850	66.103
3	N	F6	II	116	弥生土器	50.125	53.350	66.070
4	N	F6	II	116	弥生土器	50.125	53.350	66.070
	N	F6	II	117	土師器	50.350	53.870	66.116
	N			120	土師器			
	N	F5	II	121	土師器	49.480	52.290	65.915
	N			124	土師器			
5	N	E5	II	125	土師器	44.360	45.445	66.262
	N	E5	II	126	土師器	44.870	45.690	66.202
	N	E5	II	127	土師器	44.470	45.700	66.116
	N	E5	II	128	土師器	44.500	45.800	66.156
	N	E5	II	129	土師器	44.700	45.910	66.242
	N	E5	II	129	土師器	44.700	45.910	66.242
	N	E5	II	129	土師器	44.700	45.910	66.242
5	N	E5	II	130	土師器	44.680	46.165	66.138
	N	E5	II	131	土師器	44.475	46.250	66.156
	N	E5	II	132	土師器	44.425	46.175	66.202
	N	E5	II	133	土師器	44.800	46.065	66.182
2	N	E5	II	195	縄文土器	46.700	47.725	65.833
1	N			Kイ	縄文土器			
	N			Kイ	縄文土器			
	N			Kイ	縄文土器			
	N			Kイ	縄文土器			
	NE			Kイ	土師器			
	NE		SC1	1	土師器			
5	NE		SC1	1	土師器			
5	NE		SC1	2	土師器			
	NE		SC1	3	土師器			
	NE		SC1	4	土師器			

	NE	SC1	5	土師器
	NE	SC1	6	土師器
	NE	SC1	7	土師器
	NE	SC1	8	土師器
	NE	SC1	9	土師器
	NE	SC1	10	土師器
	NE	SC1	11	土師器
	NE	SC1	12	土師器
5	NE	SC1	13	土師器



上ノ迫遺跡遠景（南より。▽が遺跡）



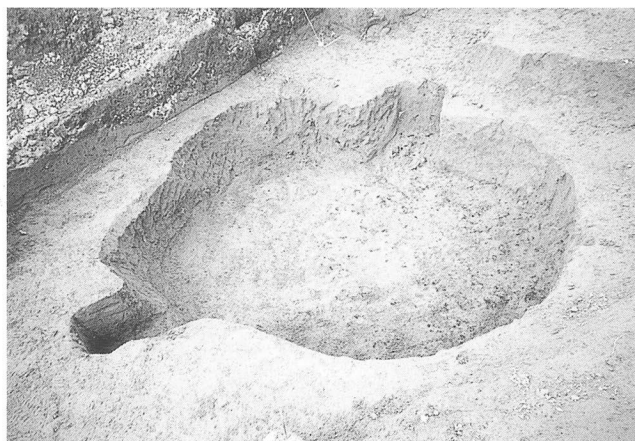
上ノ迫遺跡調査区（写真上が北）



遺跡近景 (東より)



SC2 半截



SC1 完掘



SC4 完掘



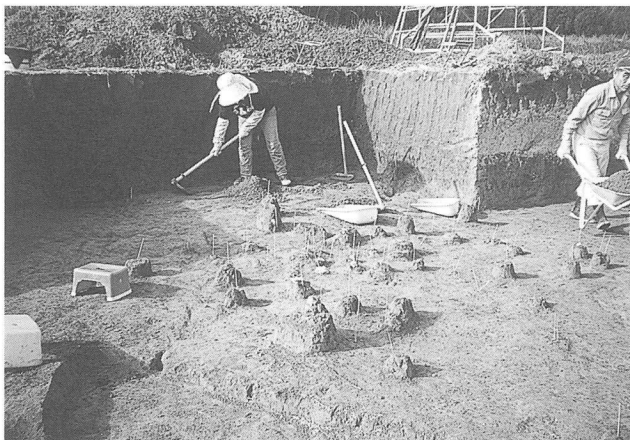
SC3 検出



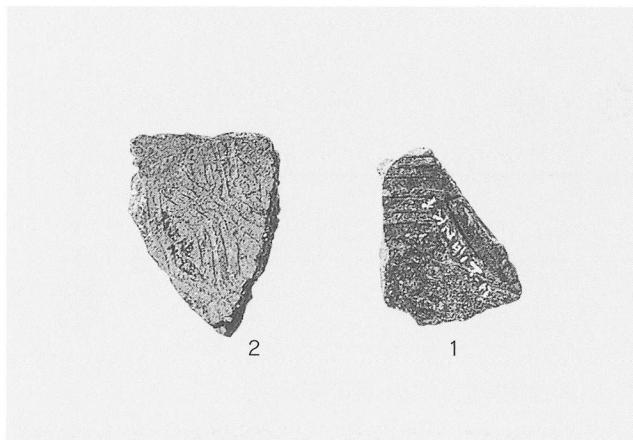
SC6 完掘



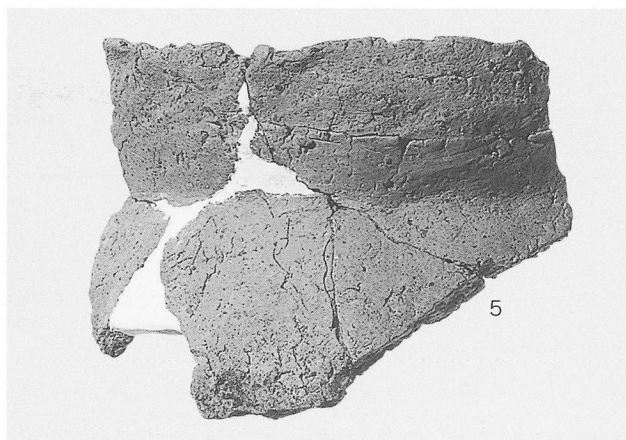
SI2 検出



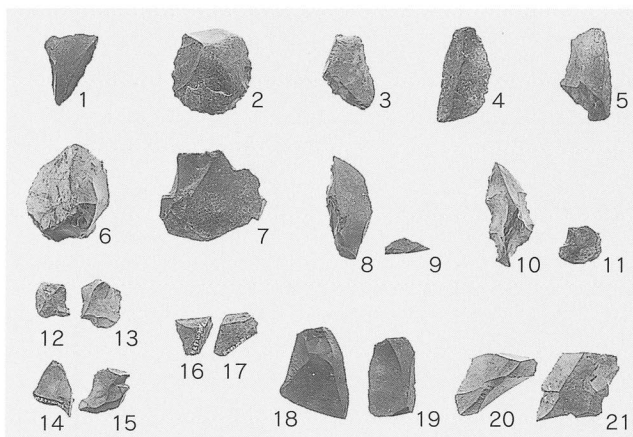
IIIb層中の遺物出土状況



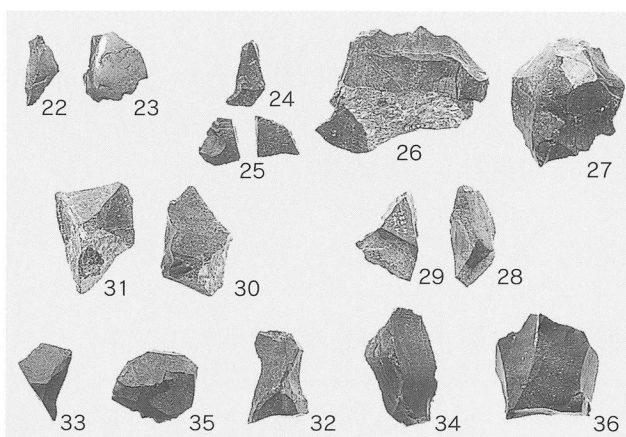
縄文土器



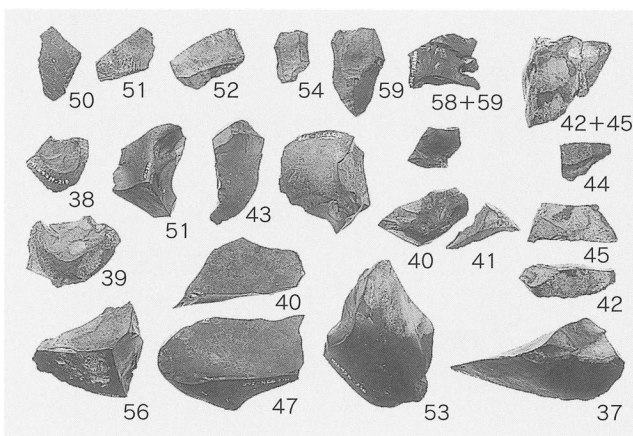
土師器甕



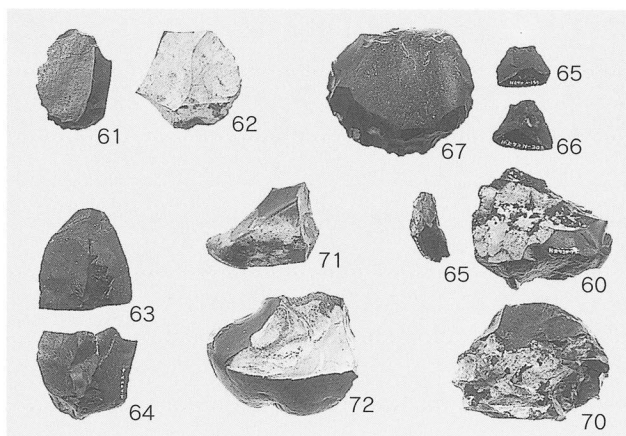
流紋岩 f 製石器 (1)



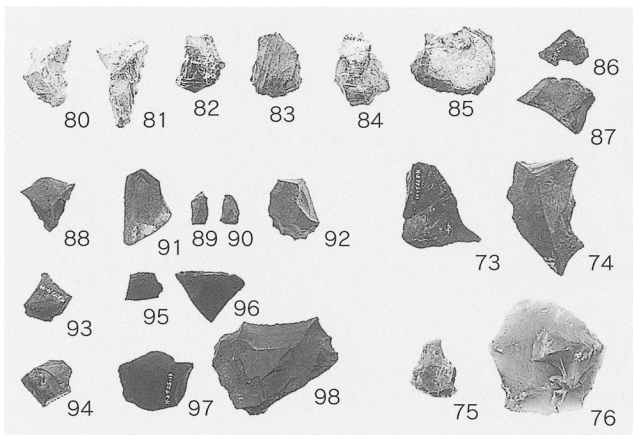
流紋岩 f 製石器 (2)



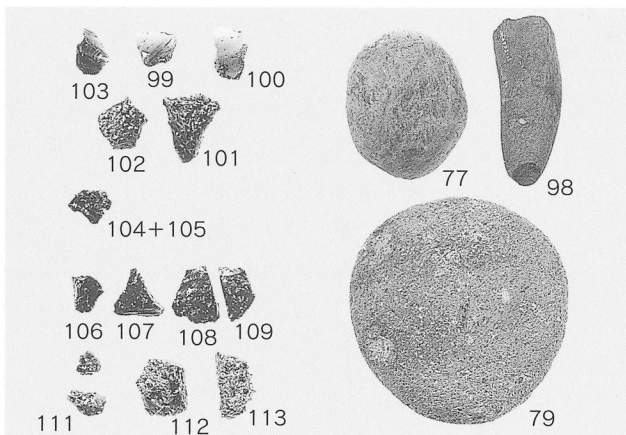
流紋岩 f 製石器 (3)



流紋岩 g 製石器



流紋岩 a・b・c・e、チャート製石器



黒曜石製石器、敲石類

報 告 書 抄 録

ふりがな	かみのさこいせき					
書名	上ノ迫遺跡					
副書名	東九州自動車道建設（西都～清武間）に伴う埋蔵文化財調査報告書					
巻次	VI					
シリーズ名	宮崎県埋蔵文化財センター発掘調査報告書					
シリーズ番号	第40集					
編集者名	山田洋一郎・藤木 聡					
発行機関	宮崎県埋蔵文化財センター					
所在地	宮崎県宮崎郡佐土原町大字下那珂4019					
発行年月日	2001年3月					
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
かみのさこい せき 上ノ迫遺跡	宮崎県宮崎郡佐土原町 大字西上那珂字上ノ迫 2666-1・2666-2・ 2667-3	32°1'00"	131°23'20"	平成8年 8月9日 ～ 平成8年 11月29日	3,225㎡	東九州自 動車道(西 都～清武 間)に伴 う発掘調 査
種別	主な時代	主な遺構		主な遺物		特記事項
遺物散布地	旧石器時代 縄文時代早期 弥生時代終末 古墳時代	集石遺構 陥穴状遺構		旧石器 縄文早期土器 弥生土器 土師器		

宮崎県埋蔵文化財センター発掘調査報告書 第40集

上ノ迫遺跡

東九州自動車道建設（西都～清武間）に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書VI

2001年3月

発行 宮崎県埋蔵文化財センター
〒880-0212 宮崎県佐土原町大字下那珂4019番地
TEL0985(36)1171 FAX0985(76)0660

印刷 北一 株式会社
〒880-0903 宮崎市太田3丁目1-31
TEL0985(51)5100 FAX0985(53)5640
